管第５号

旧田沢湖保健センター等解体工事

図面リスト

図番	図面名	図番	図面名	図番	図面名	図番	図面名
Ａ－００	表紙・図面リスト		開発センター		保健センター		保健センター
全Ａ－０１	建築物解体工事特記仕様書	開Ｓ－０１	解体　基礎伏図	保Ａ－０１	解体　仕上表	保Ｓ－０１	解体　基礎伏図・梁伏図
全Ａ－０２	全体配置図	開Ｓ－０２	解体　1階柱2階床梁伏図	保Ａ－０２	解体　1・2階平面図	保Ｓ－０２	解体　柱リスト
全Ａ－０３	解体後外構図	開Ｓ－０３	解体　1・2階柱R階伏図	保Ａ－０３	解体　3階平面図	保Ｓ－０３	解体　梁リスト
全Ａ－０４	解体　外構図	開Ｓ－０４	解体　地中梁リスト雑配筋図	保Ａ－０４	解体　立面図	保Ｓ－０４	解体　床版リスト・基礎詳細図
		開Ｓ－０５	解体　大梁・小梁・柱リスト	保Ａ－０５	解体　平面・断面詳細図	保Ｓ－０５	解体　配筋図
	開発センター	開Ｓ－０６	解体　床配筋詳細図	保Ａ－０６	解体　便所詳細図	保Ｓ－０６	解体　小屋伏図・軸組図・鉄骨架構図
開Ａ－０１	解体　仕上表	開Ｓ－０７	解体　壁リスト・階段詳細図	保Ａ－０７	解体　B通り平面詳細図・矩計図	保Ｓ－０７	解体　鉄骨架構図
開Ａ－０２	解体　1階平面図	開Ｓ－０８	解体　2通り配筋詳細図	保Ａ－０８	解体　1・E通り矩計図		
開Ａ－０３	解体　2階平面図	開Ｓ－０９	解体　E通り配筋詳細図	保Ａ－０９	解体　階段詳細図	保Ｅ－０１	解体　電気設備　仕様書
開Ａ－０４	解体　立面図1	開Ｓ－１０	解体　玄関庇鉄骨詳細図	保Ａ－１０	解体　渡り廊下A　平面・断面詳細図	保Ｅ－０２	解体　電気設備　配置図
開Ａ－０５	解体　立面図2			保Ａ－１１	解体　平面詳細図・断面詳細図	保Ｅ－０３	解体　盤 結線図
開Ａ－０６	解体　断面図	開Ｅ－０１	解体　電気設備　特記仕様書	保Ａ－１２	解体　B通り廊下・玄関ﾎﾞｰﾁ平面・断面図	保Ｅ－０４	解体　機械室詳細図・盤 結線図
開Ａ－０７	解体　断面詳細図	開Ｅ－０２	解体　照明器具・姿図・凡例	保Ａ－１３	解体　1・2階　壁種別図	保Ｅ－０５	解体　1･2階幹線動力・弱電設備工事
開Ａ－０８	解体　階段詳細図1	開Ｅ－０３	解体　1階電灯コンセント設備図	保Ａ－１４	解体　解体　2・3階　壁種別図	保Ｅ－０６	解体　3階幹線動力・弱電設備工事
開Ａ－０９	解体　階段詳細図2	開Ｅ－０４	解体　2階電灯コンセント設備図	保Ａ－１５	解体　1・2階　天井伏図	保Ｅ－０７	解体　電灯設備工事
開Ａ－１０	解体　玄関断面詳細図	開Ｅ－０５	解体　1階幹線動力・弱電設備図	保Ａ－１６	解体　3階天井伏図・R階屋根伏図	保Ｅ－０８	解体　電灯設備　照明器具姿図
開Ａ－１１	解体　ステージ断面詳細図	開Ｅ－０６	解体　2階幹線動力・弱電設備図	保Ａ－１７	解体　1・2階建具配置図	保Ｅ－０９	解体　1･2階火災報知設備
開Ａ－１２	解体　ＷＣ詳細図	開Ｅ－０７	解体　1階自動火災報知設備図	保Ａ－１８	解体　3階建具配置図	保Ｅ－１０	解体　3階火災報知設備・系統図
開Ａ－１３	解体　展開図1	開Ｅ－０８	解体　2階自動火災報知設備図	保Ａ－１９	解体　鋼製建具表1		
開Ａ－１４	解体　展開図2	開Ｅ－０９	解体　火災報知設備　系統図・凡例	保Ａ－２０	解体　鋼製建具表2	保Ｍ－０１	解体　機械設備　仕様書
開Ａ－１５	解体　展開図3			保Ａ－２１	解体　木製建具表1	保Ｍ－０２	解体　機械設備　配置図・凡例
開Ａ－１６	解体　展開図4	開Ｍ－０１	解体　機械設備　特記仕様書	保Ａ－２２	解体　木製建具表2	保Ｍ－０３	解体　機械設備　1・2階平面図
開Ａ－１７	解体　展開図5	開Ｍ－０２	解体　暖房設備配管図	保Ａ－２３	解体　展開図1	保Ｍ－０４	解体　機械設備　3階平面図
開Ａ－１８	解体　天井伏図1	開Ｍ－０３	解体　暖房設備配管図	保Ａ－２４	解体　展開図2	保Ｍ－０５	解体　機械設備　詳細図
開Ａ－１９	解体　天井伏図2	開Ｍ－０４	解体　衛生設備配管図	保Ａ－２５	解体　展開図3	保Ｍ－０６	解体　浄化槽設備図
開Ａ－２０	解体　建具表1階平面図	開Ｍ－０５	解体　衛生設備配管図	保Ａ－２６	解体　展開図4	保Ｍ－０７	解体　浄化槽設備図
開Ａ－２１	解体　建具表2階平面図	開Ｍ－０６	解体　浄化槽詳細図	保Ａ－２７	解体　展開図5	保Ｍ－０８	解体　機械設備　1・2階平面図
開Ａ－２２	解体　建具表1			保Ａ－２８	解体　展開図6	保Ｍ－０９	解体　機械設備　3階平面図
開Ａ－２３	解体　建具表2			保Ａ－２９	解体　展開図7	保Ｍ－１０	解体　機械設備　詳細図・機器表
開Ａ－２４	解体　詳細図1			保Ａ－３０	解体　風除室・各詳細図		
開Ａ－２５	解体　詳細図2			保Ａ－３１	解体　機械室・断面詳細図・立面図		
開Ａ－２６	求積図・求積表			保Ａ－３２	渡り廊下改修図		
				保Ａ－３３	求積図・求積表		

建築物解体工事特記仕様書

（令和７年改訂版）　　令和8年2月1日以降適用

Ⅰ　工事概要

1　工事名　　田沢湖総合開発センター等解体工事

2　工事場所　　仙北市田沢湖生保内字宮ノ後28

3　敷地面積　　3,622.00 ㎡

4　用途地域等

5　解体規模

	棟　No	1	2	3
建築物	棟名称	開発センター	保健センター	保健センター(増減室)
	構造	RC造	RC造	S造
	階数	2階建て	3階建て	平屋建て
	建築面積			
	延べ面積	1,439.25㎡	767.81㎡	25.20㎡
	建築年			
その他	・　単管パイプ車庫撤去再設置（開発センター北側）			
	・　倉庫解体処分、オイルタンク移動			
	・　渡り廊下改修			

Ⅱ　解体工事仕様

1　共通仕様

図面及び本仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定「建築物解体工事共通仕様書令和 4年版・同解説(以下「解体共通仕様書」という。)」、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 4年版」（以下、「標準仕様書」という。）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和 4年版（以下、「改修標準仕様書」という。）」、「建築工事安全施工技術指針」、「建築工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編」、「建設副産物適正処理推進要綱」による。

2　特記仕様書の適用等

(1)　項目は、番号に○印のけいたものを適用する。

(2)　特記事項は、○印のけいたものを適用する。　○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　○印と　※印がけいた場合は、共に適用する。

(3)　特記事項に記載の（ ）内表示番号は解体共通仕様書、＜　＞内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図面又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	①　一般事項	工事にあたっては、近隣住民や通行人に対する安全の確保に努めること。 工事にあたっては、構造物の状況や工事現場周辺の環境状況を検討した上で、騒音規制法、振動規制法等の関係諸法令を遵守し、必要な措置を講じること。工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従い適正な処理を行うこと。 工事に伴う官公庁への届け出等の手続き（その費用を含む。）及び工事用電気・水道等の使用に係る費用は、受注者の負担とする。 工事により発生材は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下、「建設リサイクル法」という。）等の関係諸法令を遵守し、監督職員の承認を得て適正に処分すること。 受注者は、監督職員と随時打ち合わせを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗を図ること。
	②　工事実績情報ｼｽﾃﾑ（CORINS）の登録	登録する　(1,1,4)
	3　建設ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ ｼｽﾃﾑ（ＣＣＵＳ）の活用	※受注者は、本工事において建設キャリアアップシステム（以下「ＣＣＵＳ」）を活用し、「秋田県建設キャリアアップシステム活用に関する実施要綱」及び「秋田県建設キャリアアップシステムに関する営繕課運用」に基づいて実施するものとする。 ※本工事はＣＣＵＳ活用にかかる費用として、共通仮設費にカードリーダー設置費用及び現場利用料（カードタッチ費用）を以下のとおり当初数量で計上している。 工期（　　）ヶ月 × 1,000 円（税抜）/月 ＝（　　）円（税抜）
	4　工事の余裕期間	・発注者指定方式　・任意着手方式 適用する場合は別に定める「余裕期間に係る特記事項」によること。
	⑤　技術者の専任	※契約締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、契約締結後、監督職員と打合せにおいて定める。 ・契約締結後、　年　月　日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ※工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、完成検査確認通知書の日付けとする。
	⑥　工事の記録等	工事中、完成時ともカラー写真とする。　(1,2,3) （分類／規格／撮影箇所／提出部数） 着工前／サービス版／営繕工事写真撮影要領　令和 5 年版　「工事写真撮影ガイドブック」建築工事編及び解体工事編による／1　部 工事中／サービス版／1　部 完成時／サービス版／1　部 この表のほか監督職員が必要と認め、指示した箇所及び部数。また、上記の写真はデジタル写真もとし、その仕様等は監督職員の指示による。
	7　女性技術者活躍モデル工事の対象	・発注者指定型 (1)モデル工事の実施については、「秋田県女性技術者活躍モデル工事実施要綱」に基づいて実施するものとする。 (2)快適トイレ(女性専用)の設置に要する費用は、共通仮設費に計上しているが、「快適トイレ実施要領」に基づき、設計変更の対象とする。 (3)女性が現場で働くための環境改善に資する施設等に要した費用については、それを証明できる書類の写し（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用については設計変更の対象とする。 ※受注者希望型 (1)本工事は、秋田県女性技術者活躍モデル工事（受注者希望型）であるため、女性技術者登用を希望する場合、発注者と協議を行い、実施について発注者が認めて指示した場合は、本工事をモデル工事として扱うものとする。 (2)モデル工事の実施については、「秋田県女性技術者活躍モデル工事実施要綱」に基づいて実施するものとする。 (3)快適トイレの設置に要する費用は、「快適トイレ実施要領」に基づき設計変更の対象とする。 (4)女性が現場で働くための環境改善に資する施設等に要した費用については、それを証明できる書類の写し（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用については設計変更の対象とする。
	8　電気保安技術者	配置する　(1,3,3)
	9　週休２日制工事の対象	本工事は、「秋田県週休２日制工事実施要綱」及び「秋田県週休２日制工事に関する営繕課運用」に基づいて実施する。 ・完全週休２日（土日）工事 ・月単位の週休２日工事
	⑩　施工条件	関連工事による施工時期の調整　・有（内容：　　）　(1,3,5) ○無 施工時期・時間の制限　※指定しない　・ 部位別施工順序　※指定しない　・図示による 工事用車両の駐車場所　○有（協議による）　・無 資機材置場所　○有（協議による）　・無 関係機関等との協議の未成立事項　・有（内容：　　） ○無 関係機関等との協議結果　・有（内容：　　） ○無
	⑪　施工計画書等	工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約締結後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。　(1,2,2) 建築物の解体工事の施工計画書の作成にあたっては、建設副産物リサイクル広報推進会議が発刊した「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」などを参考に有害物質等の事前調査をすること。また、事故防止（特に外壁等の崩落による公衆災害の防止）を図るため関係する法令、指針等を遵守する他か、特に以下に留意しなければならない。 『建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン（平成１５年７月３日付国土交通省住宅局長通達）』参照。 ガイドラインの抜粋（なお、次にある「請負者」は「受注者」に、「監督員」は「監督職員」にそれぞれ読み替えること。） １　施工計画等の作成に当たっては、解体対象物の構造、立地条件等を事前に充分調査、把握し、事故防止に十分配慮した解体工法・解体手順等を決定すること ２　請負者は、設計図書等を充分把握するとともに、実況が設計図書と異なることを想定し、各構造部分の充分な目視確認するとともに、特殊構造の建築物の解体にあっては、必要に応じて構造の専門家と十分協議し、安全性を考慮した工法を選択すること。 ３　請負者は、解体工事途中段階で想定外の構造、鉄骨の腐食、設備等が判明した場合は、工事を一旦中止し、監督員に報告した上で、施工計画の修正を検討すること。 ４　請負者は、公衆災害を防止する観点から、特に下請建物の外周部が張り出している構造の建築物、②カーテンウォール等、外壁が構造的に自立していない工法の建築物の解体工事の施工にあたっては、工事の各段階において構造的な安定性を保つよう、工法の選択等を適切に行うこと。 ５　請負者は、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、プレキャストコンクリート造等の異種構造の接合部、増改築部分と従前部分の接合部等の解体については、特に接合部の強度等に十分配慮した施工計画を作成、工事の実施を行うこと。
	⑫　施工中の安全確保及び環境保全等	「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成9年建設省告示第1537号）に基づき、指定された建設機械を使用する。　(1,3,6) 「建設機械に関する技術指針（平成3年建設省通知第247号）」に基づき、指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。　(1,3,6) 地下埋設物等による有出ガス（炭酸ガス、一酸化炭素、及びメタンガス等）の発生への対処、地下構造物の撤去時における周壁崩落事故及び転落事故防止の安全対策に十分注意すること。 作業に必要な酸素、アセチレン、及び軽油等の危険物は所定の位置に施錠の上保管、若しくは現場外に搬出する等管理を徹底すること。労働災害及びその他の事故発生等を防止するための注意と、常時の点検を作業員に徹底させること。 作業開始前に当日の工事打ち合わせを実施し、公害及び第３者に対する事故防止及び周辺環境の保全に努めること。　(1,3,9)

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	⑬　交通安全管理	関係機関との協議　(1,3,7) ・必要（関係機関：　　）　・必要なし 交通誘導員 ○配置する（・警備業法第１８条に規定する特定の種別の警備業務　・任意　） （延べ 180 人・日） ・配置しない 特定の種別の警備業務は、警備員等の検定等に関する規則（平成17年国家公安委員会規則第20号）及び秋田県公安委員会告示第94号（令和2年9月29日）による。
	14　発生材の処理	引き渡しを要するもの　(1,3,10) ・ポリ塩化ビフェニル（PCB）含有物 ・ 現場再利用発生材 ・
	15　事前調査	施工数量調査　(1,5,2) （調査項目／調査範囲／調査方法／成果品） ・／・／・／・
	⑯　近隣との折衝等	工事着手前に近隣住民等へ工事内容を周知するとともに、着手後は週間の作業内容を掲示等により知らせること。 住民説明会の開催　（　※　実施する　○　実施しない　）
	⑰　解体作業中の騒音及び振動調査	解体作業中の騒音、振動調査 実施する（・常時測定　・測定回数　回）
	⑱　近隣調査等	受注者は、必要に応じて付近の地盤沈下の状況、近隣建物の壁、建具の建て入れ状況、内外装・土間等クラック状況を調査・記録・写真撮影し事後に備えること。さらに、工事の施工により、近隣施設等に損傷を与えた場合には、現状に復旧すること。 近隣事前調査の実施（内容は図面による） ※　本工事で行う　○　本工事で行わない。（別途　　）
	⑲　完成図書等	完成検査後に、次の完成図等を速やかに監督職員へ提出する。 完成図書　製本1部 製本形式　チューブファイル 完成図書に順じこれもの ◎地現況図　記入事項　○　敷地境界線 ○　道路境界線、道路幅員、排水溝等 ○　方位 ○　敷地内残存工作物、立木、電柱、電話柱等 ○　敷地内設備位置（給水引き込み位置、下水桝位置） ○　整地後レベル（　　mグリッド） ○その他監督職員の指示するもの 添付するもの（記録として保存すべき施設で、建設時の図面が無い場合に限る。） Ａ３版　縮小原図（配置図、平面図、立面図、仕上表、一般断面図）とする。
	20　電子納品等	電子媒体（監督職員提出用）　（　　部） 電子媒体に格納するもの ※　敷地現況図　（ＣＡＤ　ＰＤＦ）　※　監督職員が指示した図面等 ※　工事概要ファイル 受注者は、次により電子納品を行うものとする。 ただし、監督職員の承諾があった場合はこの限りでない。 (1)　完成図等は、「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（営繕工事編）」、営繕工事電子納品要領（令和４年改定）」及び「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン等（国の秋田県運用）（以下、「要領等」という。）に基づいて作成すること。 「要領等」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。 (2)　電子データは、「要領等」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成すること。 (3)　設計監理業務として行う営繕年報作成のため、工事請元情報の提供に協力すること。
	㉑　技術検査	(1,7,2) （回数／中間検査の時期） 第１回／ 第２回／ 完成検査　(1,7,1) ○　解体・発生材処分後は、マニフェスト等の整理を行い、施工管理資料として速やかに監督職員に提出のこと。 ・　完成検査時には、地中工作物撤去確認のための掘削機械（バックホー　立米）を準備すること。
	22　快適トイレ導入対象	(1)設置に要する費用は、当初は計上していない。 (2)受注者は、快適トイレの設置にあたっては、「快適トイレ実施要領」に基づき、監督職員と協議の上、規格、基数等の詳細について決定するとともに、精算変更時において、支出実態のわかる資料により、設計変更の対象とする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ2基/工事までとする。 また、運搬費は共通仮設費(率)に含むものとし、２基より多く設置する場合や、積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。
	㉓　法定外の労災保険	本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
	24　地下埋設物の損傷事故防止について	・本工事は、「地下埋設物・架空線等上空施設の損傷事故防止マニュアル（営繕工事）（令和7年2月）秋田県建設部営繕課」により、公衆災害等の事故防止対策を実施するものとする。 ・本工事と近接する地下埋設物は以下の通りである。 （地下埋設物の種類／管理者／条件等／貸与する資料） ・／・／・／・
	25　架空線等上空施設の損傷事故防止について	・架空線等上空施設が工事現場内等にある場合は、「地下埋設物・架空線等上空施設の損傷事故防止マニュアル（営繕工事）（令和7年2月）秋田県建設部営繕課」により、公衆災害等の事故防止対策を実施するものとする。 ・本工事範囲内にある架空線等上空施設は以下のとおりである。 （施設の種類／所有者／条件等／貸与する資料） ・／・／・／・
	26　情報共有システムの活用	※　本工事は、「秋田県営繕工事情報共有システム試行要領」に基づき実施する。 ・発注者指定型 (1)本工事は、情報共有システム活用の対象として発注者が指定する工事である。 (2)情報共有システムの活用に要する費用は共通仮設費に計上している。 ※　受注者希望型 (1)本工事は、情報共有システムの活用を前提とした積算は行っていない。 (2)情報共有システムの活用を希望する場合は、契約後速やかに、活用の可否について監督職員と協議すること。 (3)情報共有システムを活用する場合は、その費用について設計変更の対象とする。
②仮設工事	1　騒音・粉じん等の対策（仮囲い等）	仮囲い　(2,2,1) ・　設ける（範囲、位置、延長等は図示） ・　万能鋼板（Ｈ＝　　）　・　波形鉄板（Ｈ＝　　） ・　単管シート（Ｈ＝　　） ・　枠組足場シート（Ｈ＝　　） ・　防音パネル（Ｈ＝　　）　・　防音シート（Ｈ＝　　） ・　パネルゲート（Ｗ＝　　Ｈ＝　　）×　　カ所 ・　シートゲート（Ｗ＝　　Ｈ＝　　）×　　カ所 仮設鉄板 ・　設ける（範囲、位置、㎡数等は図示）
	2　監督職員事務所等	(2,3,1) 規模　：　・　10㎡程度　・　20㎡程度　・　35㎡程度　・　65㎡程度　・　100㎡程度 ・受注者事務所の中に監督職員用スペース（　　）㎡程度確保する。 備品　：　机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨合羽、保安帽、安全帯、冷暖房機器 その他監督職員の指示するもの。縮小製本図を備える場合は（　　）部
	③　工事表示板の設置等	監督職員が指定する箇所に一箇所設置する。 表示時期は、工事着工時から完成時までとする。 表示板の形式 解体工事の表示 工事名称／田沢湖総合開発センター等解体工事 構造・規模／開発センターRC造2階建て延べ1,439.25㎡　他 工事期間／令和　年　月　日　～　令和　年　月　日 建築主／仙北市長　田口　知明 設計者／株式会社エムシーエー建築設計 工事監理者／（外注委託の場合に記入） 工事監督者／ 工事施工者／ 注１　表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。 ２　地色は、マンセル記号１ＧＹ７．５/８とし黒文字（角ゴシック）で表現する。 ３　建築主は、契約担当者名とすること。 ４　表示板の大きさ ※１号（横180cm×縦90cm）　・２号（横240cm×縦120cm） ・３号（横360cm×縦180cm）　・その他（　　） ※建設リサイクル法遵守指導としての「届出（通知）済シール」を建設業許可標識に貼り付けること。

章	項　目	特　記　事　項
②仮設工事	④　工事用水及び電力	工事用水　構内既存の施設　・利用できる　（※　有償　・　無償） ○利用できない ・利用できる　（※　有償　・　無償） 工事用電力　構内既存の施設　○利用できない
	⑤　工事概要の表示	表示する ・図示による
	⑥　足場等	外部足場　※　枠組足場（※　手すり先行工法　・　その他）　(2,2,4) ○　くさび緊結式足場（※　手すり先行工法　・　その他） 設置範囲（・図示による　・　） 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月24日）」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場によるものとする。 内部足場　※　脚立、足場板等　・　枠組棚足場　・　その他（　　）
	7　山留めの撤去	鋼矢板等の抜き後の処理　(2,4,3) ・　※直ちに砂等で充填する
③解体施工	①　解体方法	解体内容　(3,3,1)　(3,4,1)　(3,5,1)　(3,6,1)　(3,6,2)　(3,7,1)　(3,8,1)　(3,8,2)　(3,9,1)　(3,9,2)　(3,10,1)　(3,11,1)　(3,12,1) （部位／内容） 解体建築物／・木造　・ＣＢ造　○Ｓ造　○ＲＣ造　・ＳＲＣ造 建築設備／電気設備　○内部　外部引込柱 機械設備　○内部　○埋設 内・外装材／・手作業　○手作業及び機械による作業 屋根葺き材／葺き材種類（　機械室：折板製　） 屋根防水／防水仕様（　開発センター：アスファルト露出防水　） 躯体／・手作業及び機械による解体作業　○機械解体作業 基礎等／・杭基礎　・独立基礎　○布基礎　・べた基礎 杭の解体／・有り　・残置 杭解体方法　・引抜き工法（　　）　・粉砕による解体 構内舗装等／舗装材種類　アスファルト 樹木／・伐採　※　行う（　本、図示による）　・残す ・抜根　※　行う（　箇所、図示による）　・残す ・移植木（・有り（移植先：　　、図示による） 地下埋設物／・有り（埋設物　　） 解体施工は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定に心がけ、解体材等の破片や粉じんの飛散を防止するため、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉じんの防止に努めること。 ※石綿の存在が想定される建築物の解体にあっては、労働安全衛生法、同施行令及び石綿障害予防規則に従い、建築物等の解体等の作業における石綿ばく露防止対策等を実施し、健康障害の予防対策の一環の推進を図ること。 石綿等の除去は、６章による。
	②　解体後の整地等	埋戻し、盛土及び地均し等　(3,13,1) ○解体撤去後は、次により設計ＧＬに整地すること。 埋の戻し土　・　現場発生土利用　山砂利用（　立米） 他現場の建設発生土（埋積場所　　） ○　整地表面は、~~荷揚で発生した~~ 再生砕石で敷きならすこと。 ・　解体後の敷地境界には、松杭及びビニロープ等による囲障を設置すること。 ・　整地後、解体済建築物位置に縄張りを行うこと。 建設発生土の処理 本工事より発生する建設発生土は、次の場所に搬出するものと想定している。 工事発注後に明らかになった事情で、予定した条件により難い場合は、別途協議する。 建設発生土量　（　　㎥） 発生場所　（　　） 搬出先、距離　（　　ｋｍ） 受入条件　（　　） ・構内指示の場所に搬出する。 ・構内指示の場所にたい積する。 ・構内指示の場所に敷きならす。
④建設廃棄物の処理	①　再資源化等	特定建設資材廃棄物の再資源化が必要な発生材　(4,4,1) （種　類／再資源化等をする施設名（住所）、搬出距離（km）） ○　コンクリート塊／（有）ムトウ　＜大仙市横堀字川戸貿ヶ、34km ・　アスファルト塊／ ○　建設木くず／（有）ムトウ　＜大仙市横堀字川戸貿ヶ、34km ○　金属類／（有）ムトウ　＜大仙市横堀字川戸貿ヶ、34km ・　小型二次電池／ ・　／ 建設資材の廃棄物の再資源化　(4,4,1) （種　類／再資源化をする施設名（住所）、搬出距離（km）） ・　蛍光ランプ／ ・　ＨＩＤランプ／ ・　硬質塩化ビニール管類／ ・　ガラス／ ・　／ 指定建設資材廃棄物（木材）として縮減　(4,4,1) （理由　・　50km以内に再資源化施設が無い　・　再資源化に経済面での制約あり　） 再資源化された建設廃棄物の現場での利用　(4,4,1) ・　有り（種類：　　） 建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）の利用 ※適用する　○適用しない 搬入する建設資材　(4,4,1) 本工事では、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等で次表の建設資材を工事現場に搬入する場合には、「再生資源利用計画書」を建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）により作成し、施工計画書に含めて監督職員に提出すること。また、その内容を説明のうえ、工事現場の見えやすい場所に掲示すること。 加えて、建設発生土を「再生資源利用計画」に記載した搬入元から搬入したときは、所定の様式（秋田県技術管理課ＨＰ「建設発生土の適正利用について：土砂受領書」）により速やかに搬入元に受領書を交付するものとする。 次の各号の一に該当する建設資材を搬入する工事 1　体積が500m³以上である土砂 2　重量が500t以上である砕石 3　重量が200t以上である加熱アスファルト混合物 4　重量が50t以上であるコンクリート 5　重量が50t以上であるコンクリート及び鉄から成る建設資材 6　重量が10t以上であるれ木材 7　重量が0.1t以上である塩化ビニール管・継手 8　重量が0.1t以上である石膏ボード 搬出する建設発生材　(4,4,1) 本工事では、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等で次表の建設発生材を工事現場から搬出する場合には、「再生資源利用促進計画書」を建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）により作成し、施工計画書に含めて監督職員に提出する。また、その内容を説明のうえ、工事現場の見えやすい場所へ掲示する。 加えて、建設発生土を搬出する工事において「再生資源利用促進計画」を作成する場合は、以下の各項目に関しても実施するものとする。 （１）500m³以上の建設発生土を搬出する工事においては、「土壌汚染対策法の手続き状況」及び「建設発生土の搬出における土壌汚染対策について（土壌制度などの各種法令に関する許可状況等）」を事前に確認し、その結果を「再生資源利用促進計画」の添付資料として監督職員に提出し、その内容を説明のうえ、工事現場の見えやすい場所へ掲示しなければならない。確認結果表作成に当たっての解説及び様式については、秋田県技術管理課HP「建設発生土の適正利用について」によるものとする。 （２）50m³以上の建設発生土を搬出する工事においては、建設発生土を搬出する者に対し、搬出先の名称・所在地及び搬出量並びに（１）に関する内容を所定の様式（秋田県技術管理課ＨＰ「建設発生土の適正利用について：土砂搬出に関する通知書」）により通知しなければならない。なお、内容に変更があった場合も同様とする。 （３）建設発生土を計画に記載した搬出先へ搬出したときは、所定の様式（秋田県技術管理課ＨＰ「建設発生土の適正利用について：土砂受領書」）により速やかに搬出先に受領書の交付を求め、搬出先が計画とー致することを確認するとともに、受領書の写しを工事完成後５年間保存するものとする。 次の各号の一に該当する建設資材を搬入する工事 1　体積が500m³以上である建設発生土 2　コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊または建設発生木材で あって、これらの重量の合計が200t以上であるもの 3　重量が0.1t以上である建設汚泥 4　重量が1t以上である建設混合廃棄物 5　重量が0.1t以上である金属くず 6　重量が0.1t以上である廃塩化ビニール管・継手 7　重量が0.1t以上である廃プラスチック 8　重量が0.1t以上である紙くず 9　重量が0.1t以上である廃石膏ボード 10　重量が0.1t以上である石材 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成した工事　(4,4,1) 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員へ提出する。 また、計画及び実施状況の記録を工事完成後５年間保存するものとする。
	②　産業廃棄物広域認定制度の適用	産業廃棄物広域認定制度の適用　・有り　※　無し　(4,4,2) （適用廃棄物種類／使用部位） ・／・
	③　最終処分	最終処分する建設廃棄物及び最終処分場　(4,4,3) （種　類／最終処分をする施設名（住所）、搬出距離（km）） ○　がれき類、廃プラ、廃石膏ボード／秋田県環境保全センター　＜大仙市協和上淀川＞、50km ○　ガラス、陶器類、繊維、紙／秋田県環境保全センター　＜大仙市協和上淀川＞、50km ○　石膏含有建材等／秋田県環境保全センター　＜大仙市協和上淀川＞、50km ・／ ・／ 本工事で発生する建設副産物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設副産物については、秋田県産業廃棄物税が課税されるので、適正に処理すること。

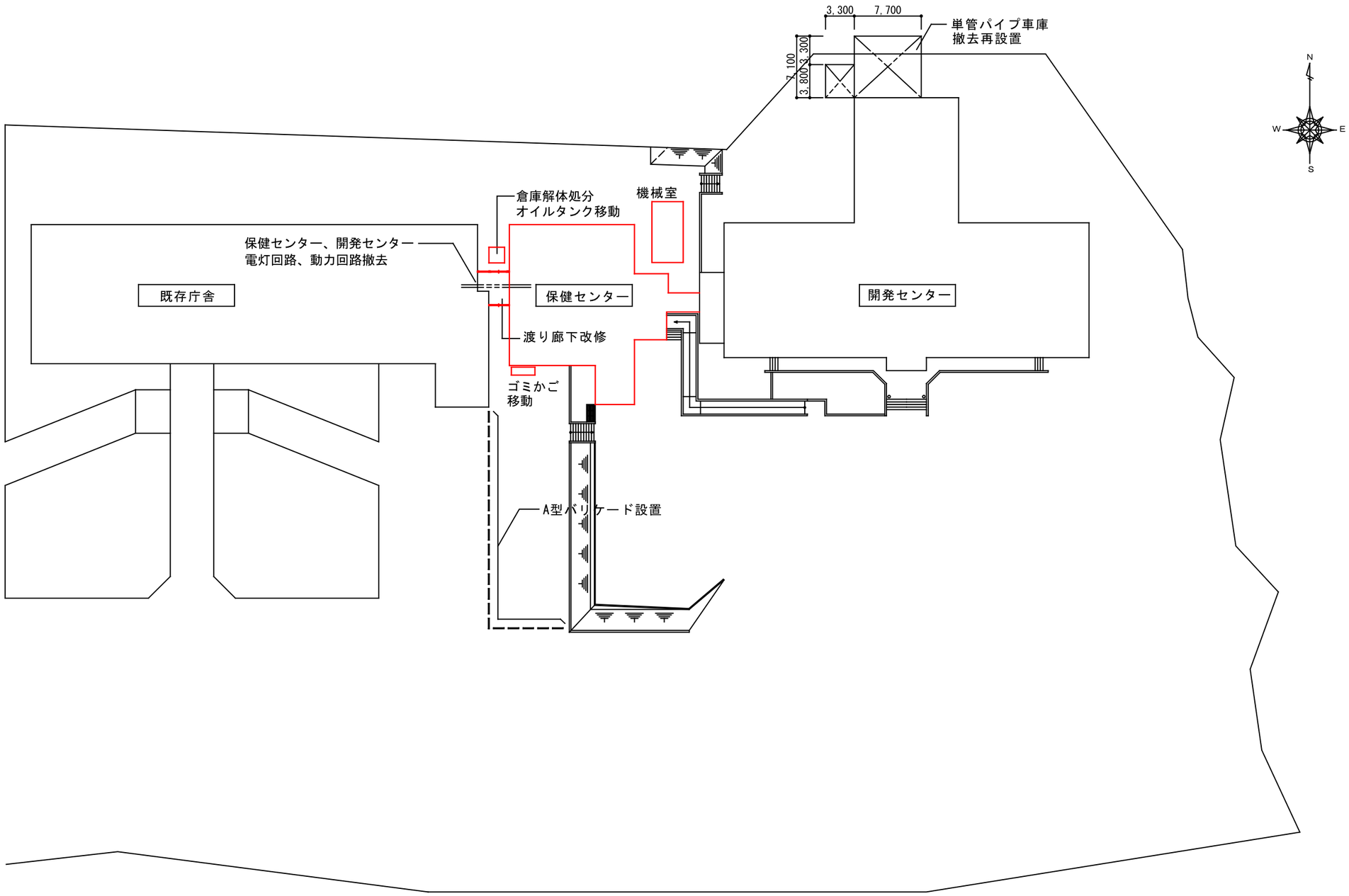
章	項　目	特　記　事　項
4建設廃棄物の処理	4　処理に注意を要する建設廃棄物	処理に注意する建設廃棄物の処理　(4,5,1) （種　類／処分をする施設名（住所）、搬出距離（km）） ・　ＣＣＡ処理木材／ ・　ひ素混入石膏ボード（小名浜吉野石膏㈱いわき工場 昭和４８年３月～平成９年４月に製造）／※管理型最終処分場で埋立処分すること ・秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川）、　km ・　カドミウム含有石膏ボード（日東石膏ボード㈱八戸工場 平成４年１０月～平成９年４月に製造）／※管理型最終処分場で埋立処分すること ・秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川）、　km 参考：廃石膏ボード現場分別解体マニュアル（案）（平成２４年３月国土交通省）
⑤特別管理産業廃棄物の処理等	①　特別管理産業廃棄物の処理等	特別管理産業廃棄物の処理　(5,4,1) （種類／分析調査／処理先） ○　廃石綿／・行う／秋田県環境保全センター ○　ＰＣＢを含む機器類／○行う／トランス（上野庁舎解体廃棄物）：ﾆﾊﾟｰｸﾘｰﾝ東北㈱ｶﾝﾊﾟﾆｰ TEL:0197-71-2512(代)　担当：阿部氏 ・　ＰＣＢ含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材／・行う／ ・　廃油／・行う／ ・　廃酸・廃アルカリ／・行う／ ・　ダイオキシン類／・行う／
⑥石綿含有建材の除去等	①　石綿含有建材の調査	発注者による事前調査 ※調査済　・未実施（　　） 受注者による事前調査　(1,4,1) 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行うものとし、調査結果を監督職員に提出するとともに、官公署へ報告する。 貸与資料　・石綿関係材料調査票　・既存図面 調査範囲　・図示による　・ 分析調査　(6,1,3) ・行う　※行わない 分析による石綿建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、及びトレモライト 分析方法 （材料名／定性分析（JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2）／定量分析（JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5）） ・／・箇所数（　）／・箇所数（　） ・／・箇所数（　）／・箇所数（　） ・／・箇所数（　）／・箇所数（　） サンプル数　１箇所あたり３サンプル 採取箇所　・図示による 調査報告書 ・提出部数（・２部　・　）
	②　一般事項	石綿粉塵濃度測定　※　行う　・　行わない　(6,1,4) 測定時期、場所及び測定点 （適用／測定名称／測定時期／測定場所／測定箇所点（各施工箇所ごと）） ・／測定１／処理作業前／処理作業室内／○2点×２棟 計４点 ・／測定２／／調査対象室外部の付近／○2点×２棟 計４点 ・／測定３／処理作業中／処理作業室内／○2点×２棟 計４点 ・／測定４／／セキリティゾーン入口／・計　点 ・／測定５／／集じん・排気装置の排出口／出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点 ・／測定６／／処理作業室外／○2点×２棟 計４点 ・施工区画周辺 ・敷地境界 ・／測定７／処理作業後（シート養生中）／処理作業室内／・計　点 ・／測定８／処理作業後／処理作業室内／○2点×２棟 計４点 ・／測定９／シート撤去後１週間以降／調査対象室外部の付近／○2点×２棟 計４点 測定方法 ・自動測定器による測定 （測定名称／測定方法） ・測定４／粉じん相対濃度計(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計)ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、繊維状粒子自動測定器 ・測定５／(ｼﾘｶﾍﾞｰﾑﾌｨﾙﾀｰﾓﾆﾀｰ等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS A 3850-1に基づいた測定 （測定名称／ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀ直径(mm)／試料の吸引流量(L/min)／試料の吸引時間(min)） ・測定４／25／5／30 ・測定５／ ・測定／25／10／120 ・測定／47／10／240 ・測定／ ・／ ※石綿含有建材の除去に当たっては、石綿作業主任者（石綿作業主任者技能講習修了者）の選任をすること。また、除去に従事する除去作業者は石綿則に基づく特別の教育を受けたものとすること。　(6,2,2～3)
	3　建築設備に使用されている石綿含有材の処理	建築設備に使用されている石綿含有材の処理等 （使用の有無／使用設備の種類／処理方法） ・有り／・／ ・無し／・／
	④　石綿含有吹付け材の除去	石綿含有吹付け材の処理等　(6,3,2、3) （建材の種類／除去対象範囲／除去工法／除去後の飛散防止措置） ○　石綿含有吹付材／・図示による／※6,3,2(1)による／※湿潤化 ・／・／・固形化 処分　※管理型最終処分場に埋立処分 秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川、　km） ・中間処理　（　　）
	⑤　石綿含有保温材等の除去	石綿含有保温材の処理等　(6,4,1～3) （使用材料名／除去対象範囲／除去工法／除去後の飛散防止措置） ○　配管エルボのみ／・図示による／・破砕して除去／※湿潤化 ・原型のまま、手ばらし／・固形化 処分　※管理型最終処分場に埋立処分 秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川、　km） ・中間処理　（　　）
	⑥　石綿含有成形板の除去	石綿含有成形板の処理等　(6,5,1、3) （使用材料名／除去対象範囲） ・／・図示による ・／ ・／ 処分　石綿含有せっこうボード ※管理型最終処分場に埋立処分 秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川、　km） 石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ○埋立処分（・　秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川、50　km）） ・中間処理（　　）
	⑦　石綿含有仕上塗材の除去	石綿含有仕上塗材の処理等　(6,6,1～4) （使用材料名／除去対象範囲／除去工法） ○　仕上塗材／○図示による／・集じん装置付き超高圧水洗工法（100Mpa以上） ○　その他／・湿式集じん装置付きｸﾞｲﾝﾀﾞｰ工法 ○乾式集じん装置付きｸﾞｲﾝﾀﾞｰ工法 ・剥離剤（薬品）工法 ・超音波ケレン工法 処分　※管理型最終処分場に埋立処分 秋田県環境保全センター（大仙市協和上淀川、　km） 中間処理　（　　）
7特殊な建設副産物の処理	1　特殊な建設副産物の処理	特殊な建設副産物の処理　(7,3,1) （種類／回収及び処理等／処理先等） ・　冷媒フロン／※　登録を受けた回収業者に回収委託 ・　建材用断熱フロン／※　焼却による処理 ・　ハロン／※　ハロン設置業者に回収委託 ・　イオン化式感知器／※　購入元か製造所等に処理委託 ・　六ふっ化硫黄ガス／※　機器製造所に処理委託 ・　ＰＦＯＳ／※　処理業者に処理委託 ・　特定化学物質／※　処理業者に処理委託
⑧その他	①　その他の一般事項	処分先の変更等 4章1～4、5章1、6章3～7、7章1の各処分する施設の明示については、拘束するものではない。 処分先を変更した場合は、明示した設計上の処分先と比較検討し、安価になっている場合は減額することもある。

MCA　株式会社　エムシーエー建築設計

一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号

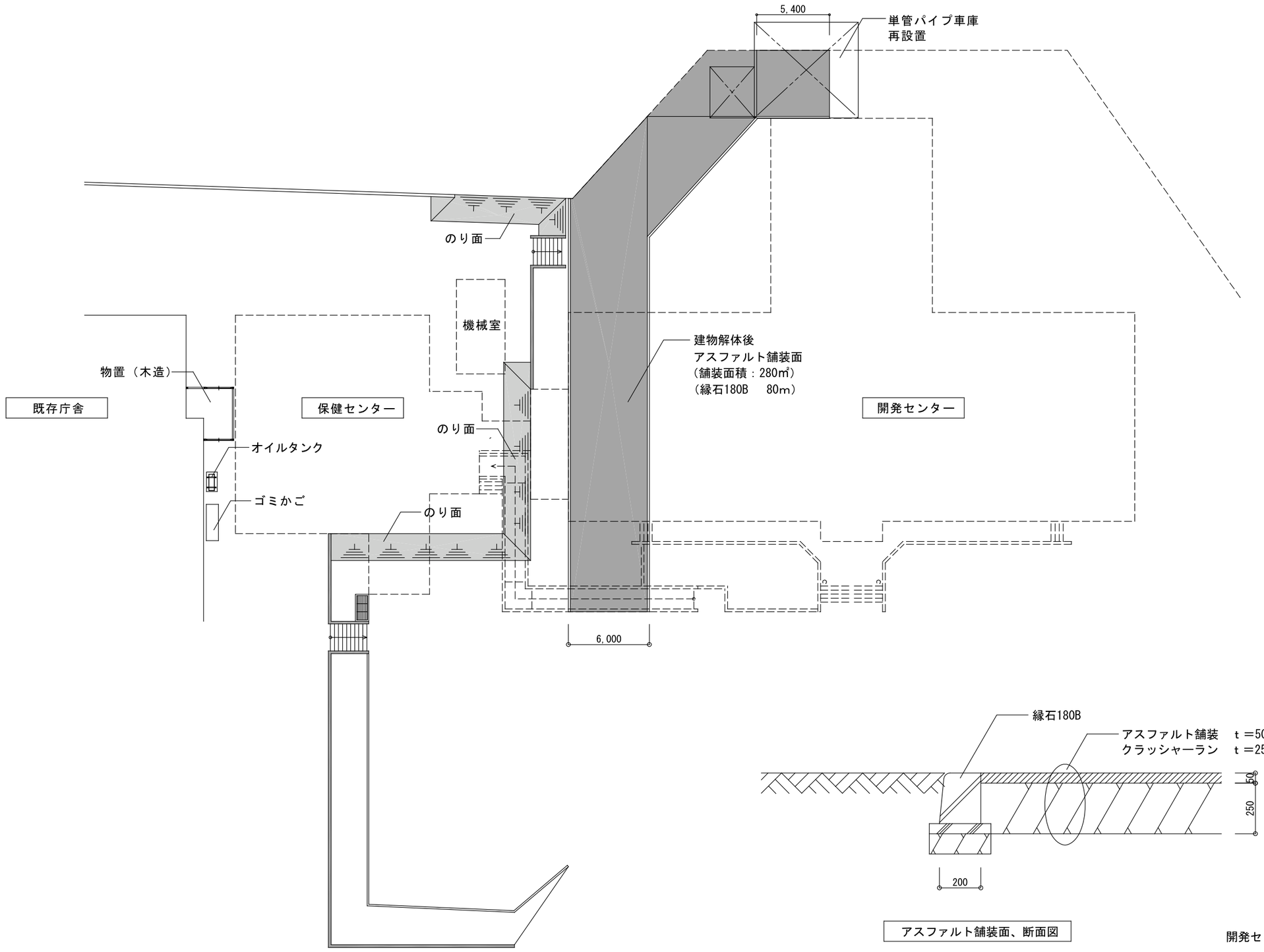
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 建築物解体工事特記仕様書
			図番 全Ａ－01



今回発注物件：保健センター

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 全体配置図	図番 全Ａ－02



アスファルト舗装面、断面図

開発センター解体後外構図

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 開発センター解体後外構図	図番 全Ａ－03

イ　埋戻シ後 黒土@50% 敷込

ロ　既存土羽ニ黒土@50%敷込後 マキ芝トスル。

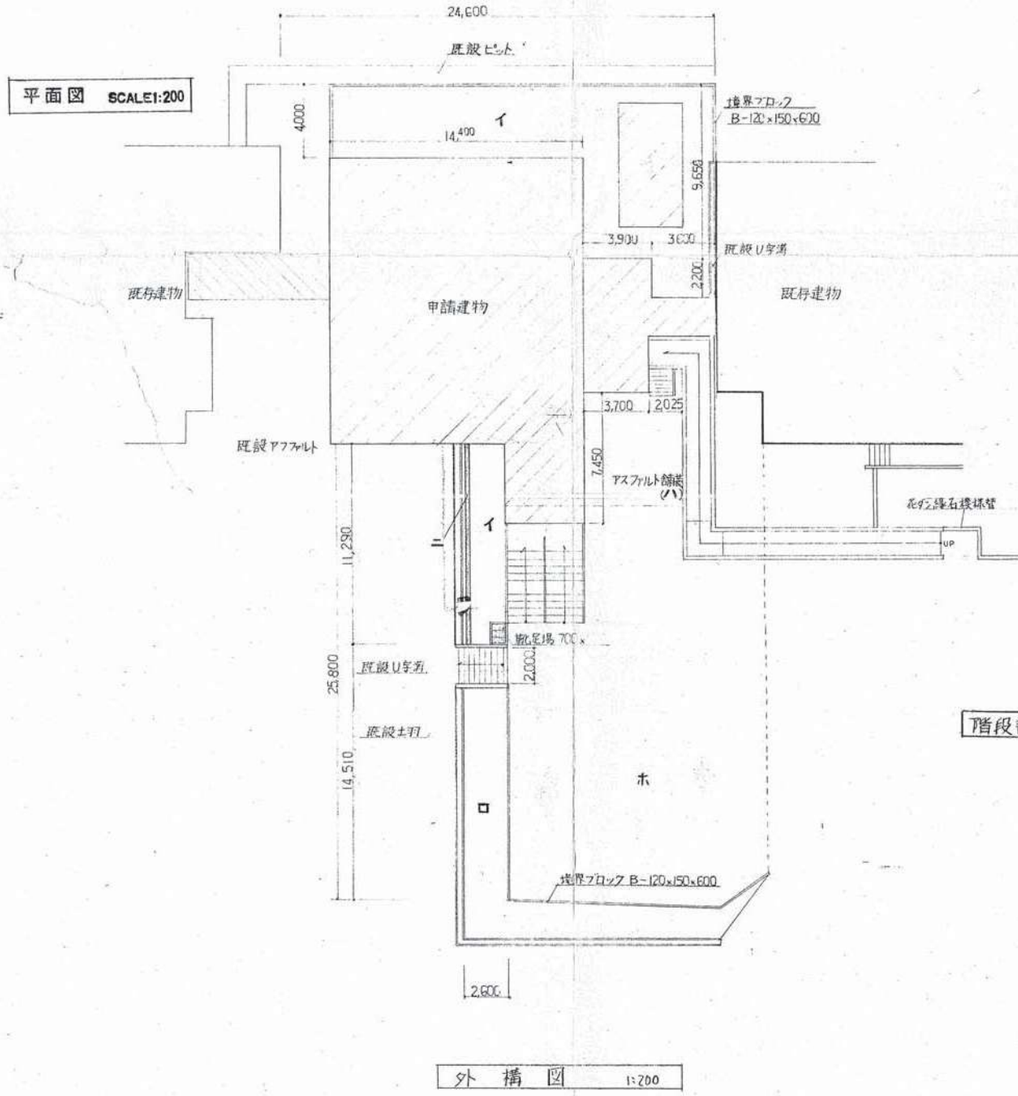
ハ　根切良質土ヲ埋戻シ後 アスファルト舗装

ニ　擁壁 新設後 埋戻シコト

ホ　既存緑地 撤去後 敷均シ 既設アスファルト道路ニ合セ アスファルト舗装トス。

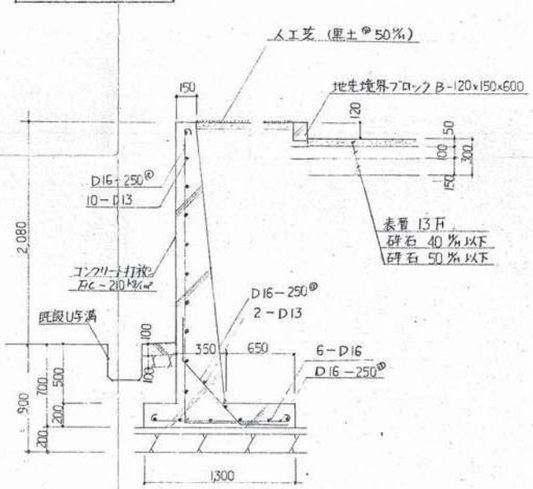
※ 本工事ニ於テ 既設物ノ破損等ハ全テ 復元、補修ノコト

平面図 SCALE1:200

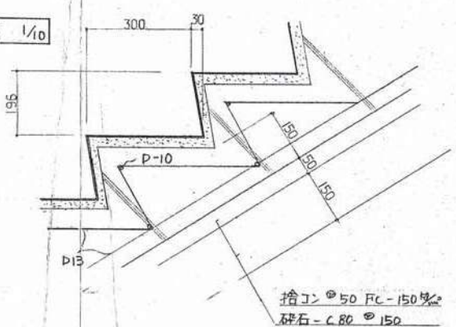


外構図 1:200

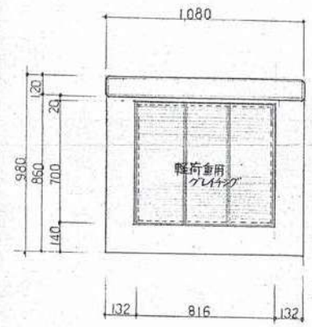
詳細図 SCALE1:30

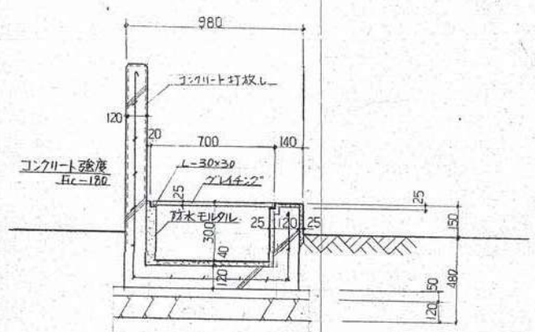


階段詳細図 1/10



※ 階段ノ両壁ハ擁壁高サマデ 立上ゲルコト





足洗場詳細図 1/20

※ 自在栓 2ケ取付ノコト

※ ホウキ掛金具 取付ノコト

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　既存外構図	図番 全Ａ－04

外部仕上表

窓　枠	アルミ製木 No.8 赤褐ノコト。
屋　根	モルタル下地、雑色雑形(ダイフレックス DDネーエ法)
外　壁	打放しコンクリート 部位タイル貼は 一部シルバーアルマイトパネル貼
サ　ッシ	シルバー 最地 70ミリ 240-2-35 (NS-T2M) 同等品
目　地	水密目地 材料は No.8 赤褐、打放目地はバタアレンノコト。
基礎廻り	コンクリート打放

特記事項

ビニールクロスは 合セ2種 準不燃材使用ノコト 重量 400g/㎡	機械コーキングは 変性ポリオルファイド系コーキング下ミル
石膏ボードは 全てジョイントボードトスル。	機械タイル貼りは 接着モルタル張下ミル
パーライト等（　）記ミスは 商品名記入の 上下同等品トスル。	構造材は 全て防腐処理トスル
断熱材 造作材は 造林社上小節 指定トスル。	断熱材は ポリウレタンフォーム 厚25㎜ 2ケ所トスル
上記以外ノ 造作材で特記ミキ場合は ラワン材 1等トスル	甲板孔 直径 ～ 4ケ所 大径 ～ 8ケ所 報告ノコト。
各室仕上下地ハ 展開図ニ示ス。	
EXPハ アルミ製トス。 クリヤラッカー 50% 程 (リケンセルジョン) 同等品トスル。	電線ハ 耐火被 覆装ノコト。
天井コーナーハ 全てPタビ使用ノコト。	人工芝ハ 三菱ユニトーフ 6号 相当トスル。
石膏吸音板ハ ダイアンアコーン 同等品トスル。	流し台 予算額：ガステーブルハ、タクラ下型 相当トスル。
ロックウール吸音板 厚12ミリハ 同品ロゴン相トスル。	建具（リヒファイン）ハ 150型 ㎡ 当トスル
ラワンOPハ 日本大建 合成樹脂 JIS K 5516 5種相当トスル。	建物番地文字 250㎜ ステンレス浮き出し文字（田沢湖町保健センター）10文字

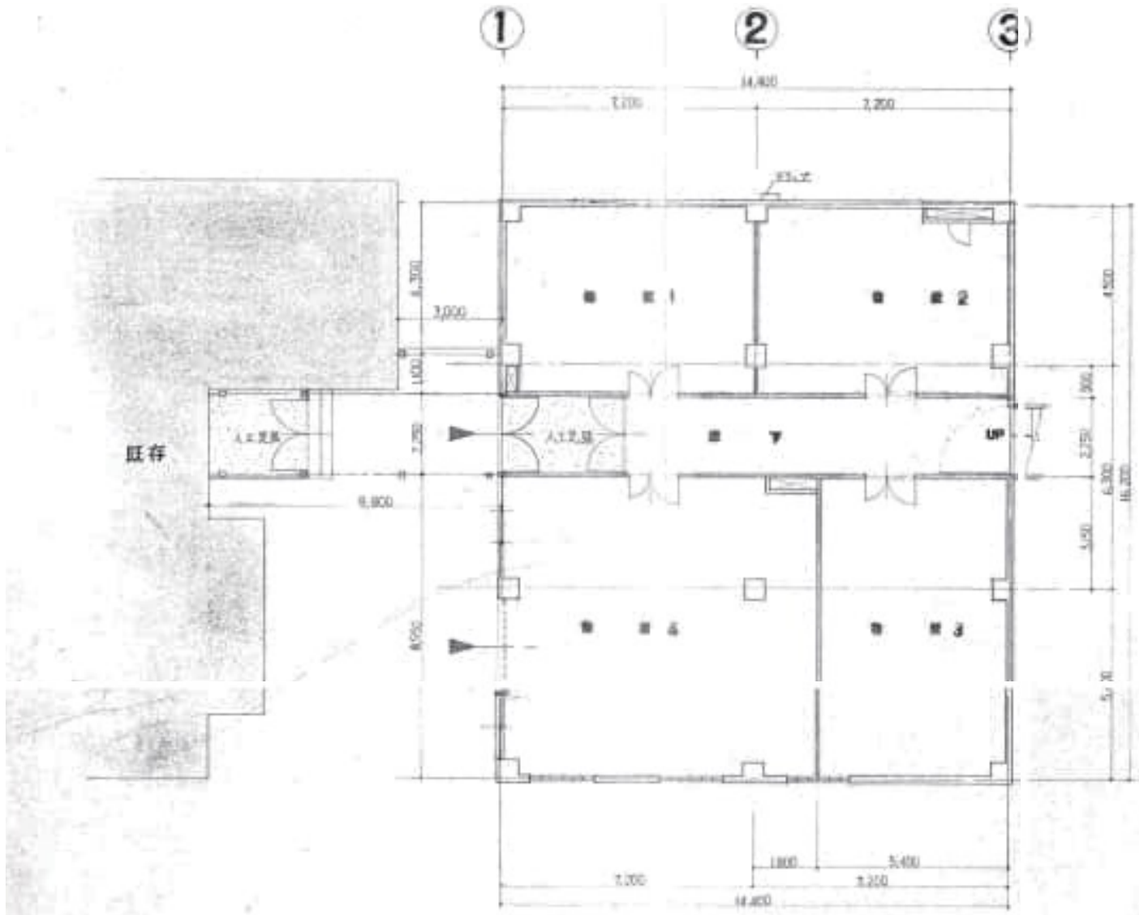
内部仕上表

室名	床	FL+H	巾木	壁	天井	CL+H	備考
物置 1	モルタル下地 金属粗面塗り床 (ウレタン) 同等品	FL+ 250		エントランス前 階段部分 石張 ノンスリップ 厚30	化粧 石膏ボード 厚12.5 張（下地）	2,400	
物置 2	同上	〃 250		同上	同上	2,200 2,400	掃除用ロッカー 450×300 H=2,200 棚付（下から1段）
物置 3	同上	〃 250		（浴室）ユニットバス 壁パネル 厚4.5			
物置 4	木上	〃 250		同上	同上		
玄関	同上 一部 人工芝張（防炎加工品）	〃 250	ソフト巾木	石膏ボード 厚12.5 下地	化粧石膏ボード 厚12.5	2,400	
ポーチ	石張り 御影石 研磨荒仕様 埋め	GL+ 340		石張 セメント張（ウレタン）厚4.5 目地モルタル VP (90×120×45 グレーンクリア)	石張 セメント張（ウレタン）厚4.5 目地モルタル VP		アルミ マット
玄関 土間	人工芝（ユニトーフ）	+ 340		ガラスアロイ (150×150×15 グレーンクリア)	同上	2,395	すべり マット
室内ホール 階	同上 一部 モルタル仕上 リシウム 厚2.5	+ 340 + 350	ソフト巾木	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼	石膏ボード 厚12.5 下地 石膏吸音板 厚12.5 (ボード)	2,815	FL調整 1ケ所
事務室	モルタル下地 ロンリウム (ケーブル) 厚2.5	+ 360	同上	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼	石膏ボード 厚12.5 下地 石膏吸音板 厚12.5 (ボード)	2,815	機室ブラインド取付
相談室	同上	+ 360	同上	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼	同上	2,815	
診察室	同上	+ 360	同上	同上	同上	2,815	カーテンレール カーテン 機室ブラインド取付
待合休憩室	同上	+ 360	同上	同上	同上	2,815	すべり取付
図書閲覧室	モルタル下地 半硬質ビニールタイル貼 厚2.5	+ 360	同上	石膏ボード 厚12.5 AEP	石膏ボード 厚12.5 目違い張 AEP	2,815	
機械室	同上	+ 360	同上	同上	同上	2,815	
女子便所	モルタル下地 塗床（リヒファイン）	+ 350	塗床巾木（リヒファイン）	ラスモルタル 金属下地 (一部) 磁器質タイル貼付	木板 石膏ボード 厚12.5 張	2,500	
男子便所	同上	+ 350	同上	同上	同上	2,500	
倉庫兼作業	同上	+ 360	同上	同上	同上	2,500	
物置および廊下	モルタル下地 フィラシンフロア 厚2.5	+ 360	ソフト巾木	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス張	石膏ボード 厚12.5 下地 石膏吸音板 厚12.5	2,500	手すり取付 ヨーデン取付
ボイラー室 下	モルタル下地 ロンリウム 厚2.5	+ 360	同上	同上	同上	2,815	同上 テレビハンガーブラケット付
渡り廊下	一部 人工芝（防炎加工品）	+ 2,260	同上	同上	同上	2,500	
電気室	モルタル下地 フィラシンフロア 厚2.5 塗	+ 340	ソフト巾木	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼	(オイルボールエキシン式付コテ押エ 厚4.5)		ラジオン引戸 W=600 片引戸 W=1,200、吊戸棚 W=1,200 ステンレス立上ゲ H=450 共
建具倉庫室	モルタル下地 ロンリウム (ケーブル) 厚2.5	GL+ 2,540	ソフト巾木	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼	石膏ボード 厚12.5 下地 ロックウール吸音板 厚12.5 貼	2,815	機器用ブラインド取付 スクリーン W=1,850×2,400 、 平面スチール製折板 L=2,400×3,600
調理員室	モルタル下地 フィラシンフロア 厚2.5	+ 2,540	同上	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス張	石膏ボード 厚12.5 下地 吸音板 厚12.5 貼	2,815	金網棚（中村 UドーワW棚板）×2
調理室	防水押下地 普通（硬化剤）一般リシンフロア張	+ 2,690	和小幅	ラスボード下地 厚12.5 耐水型	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼（アンカー張）	2,865	
女子便所	モルタル下地 塗床（リヒファイン）	+ 2,865	塗床巾木（リヒファイン）	ラスモルタル 防湿防水モルタル下地 磁器質タイル貼付	化粧石膏ボード 厚12.5 張	2,500	
男子便所	同上	+ 2,865	同上	同上	同上	2,500	
ボイラー室 下	モルタル下地 ロンリウム 厚2.5	+ 2,540	ソフト巾木	石膏ボード 厚12.5 下地 ビニールクロス貼	石膏ボード 厚12.5 下地 石膏吸音板 厚12.5	2,815	
押入	下地下地 クリンベニヤ 厚5.5 張	+ 2,690		クリンベニヤ 厚4.5 張	クリンベニヤ 厚4.5 張		

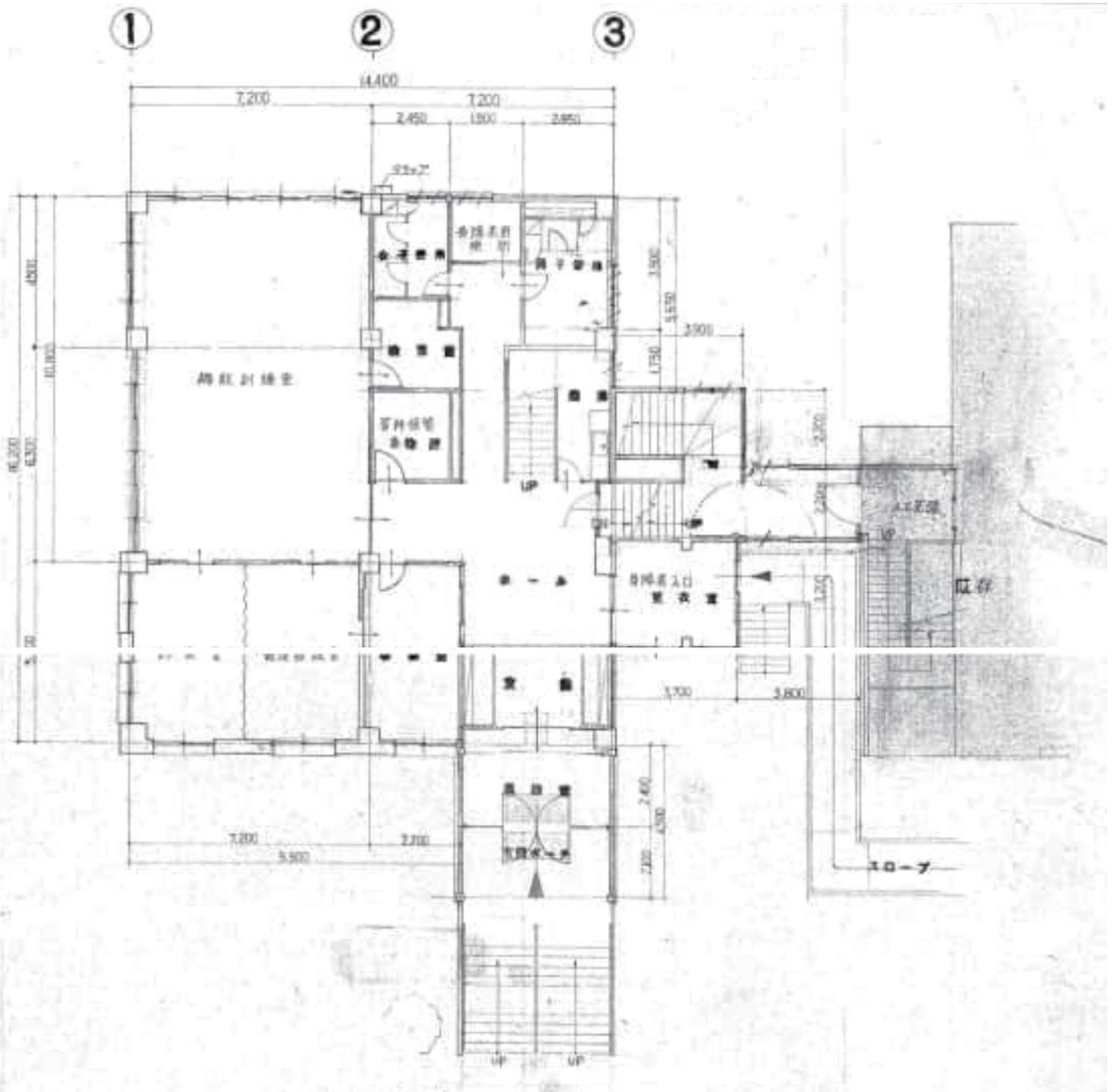
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	
		縮尺 NON	図面名 解体　仕上表
			図番 保Ａ－01

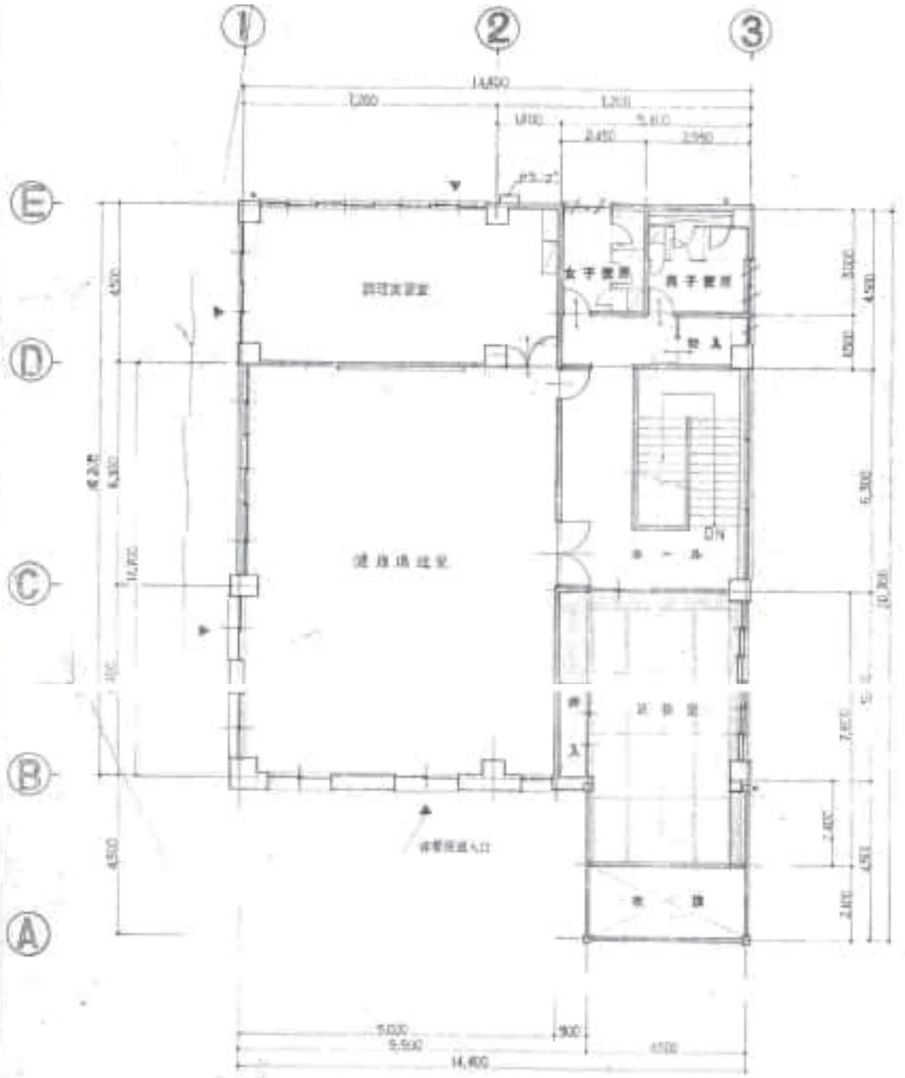


1階平面図



2階平面図

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　1・2階平面図	図番 保Ａ－02

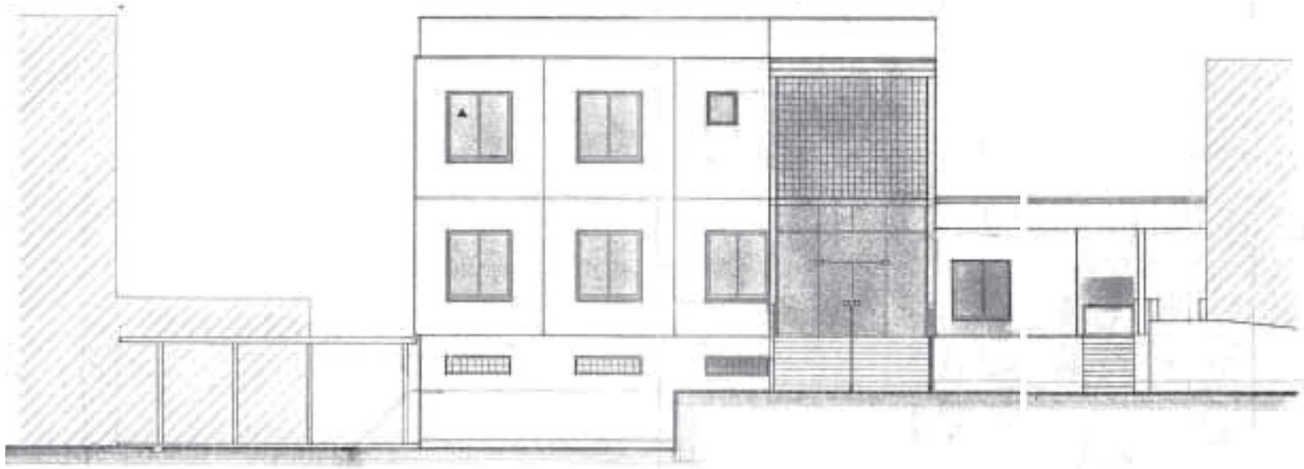


3 階平面図



機械室 平面図

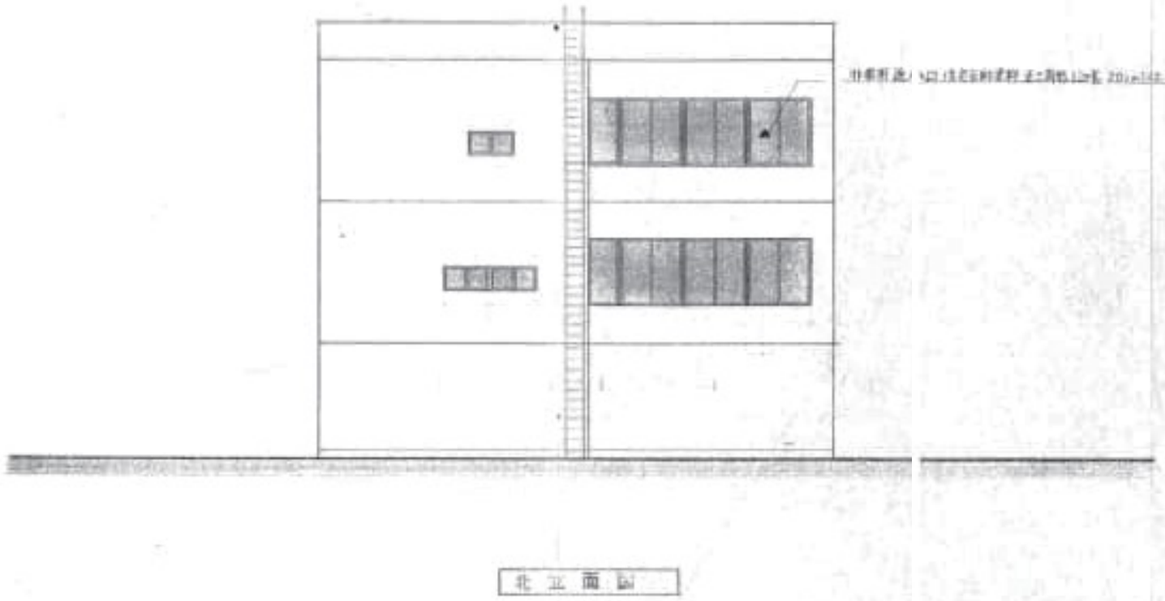
	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦	検 印	担当印	日 付 2026.8月	件 名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
				縮 尺 NON	図面名 解体　3階平面図	図 番 保Ａ－03	



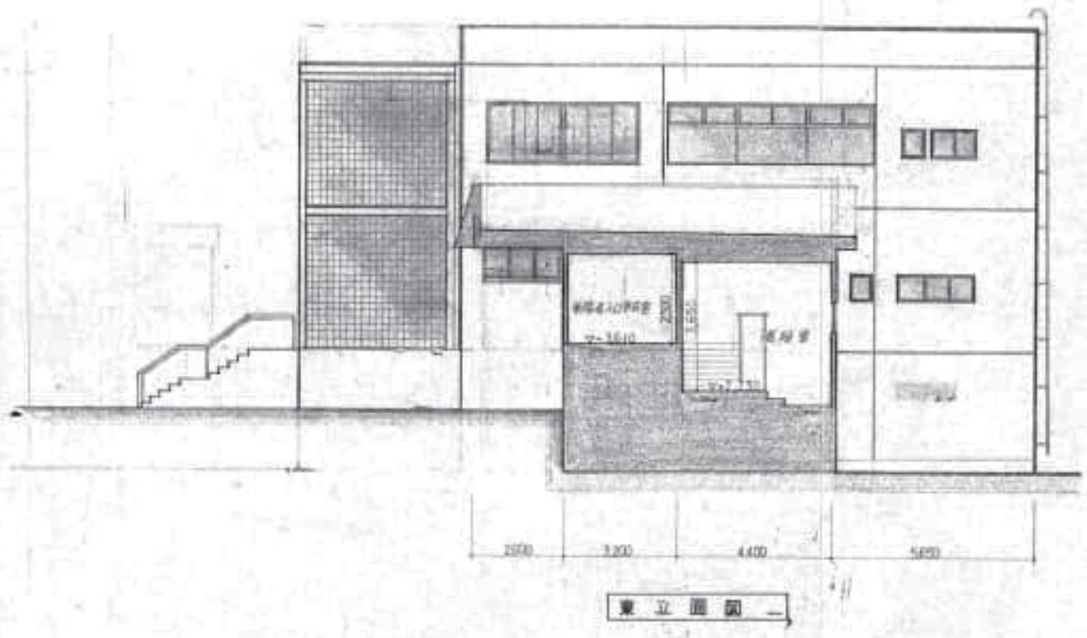
南 立 面 図



西 立 面 図

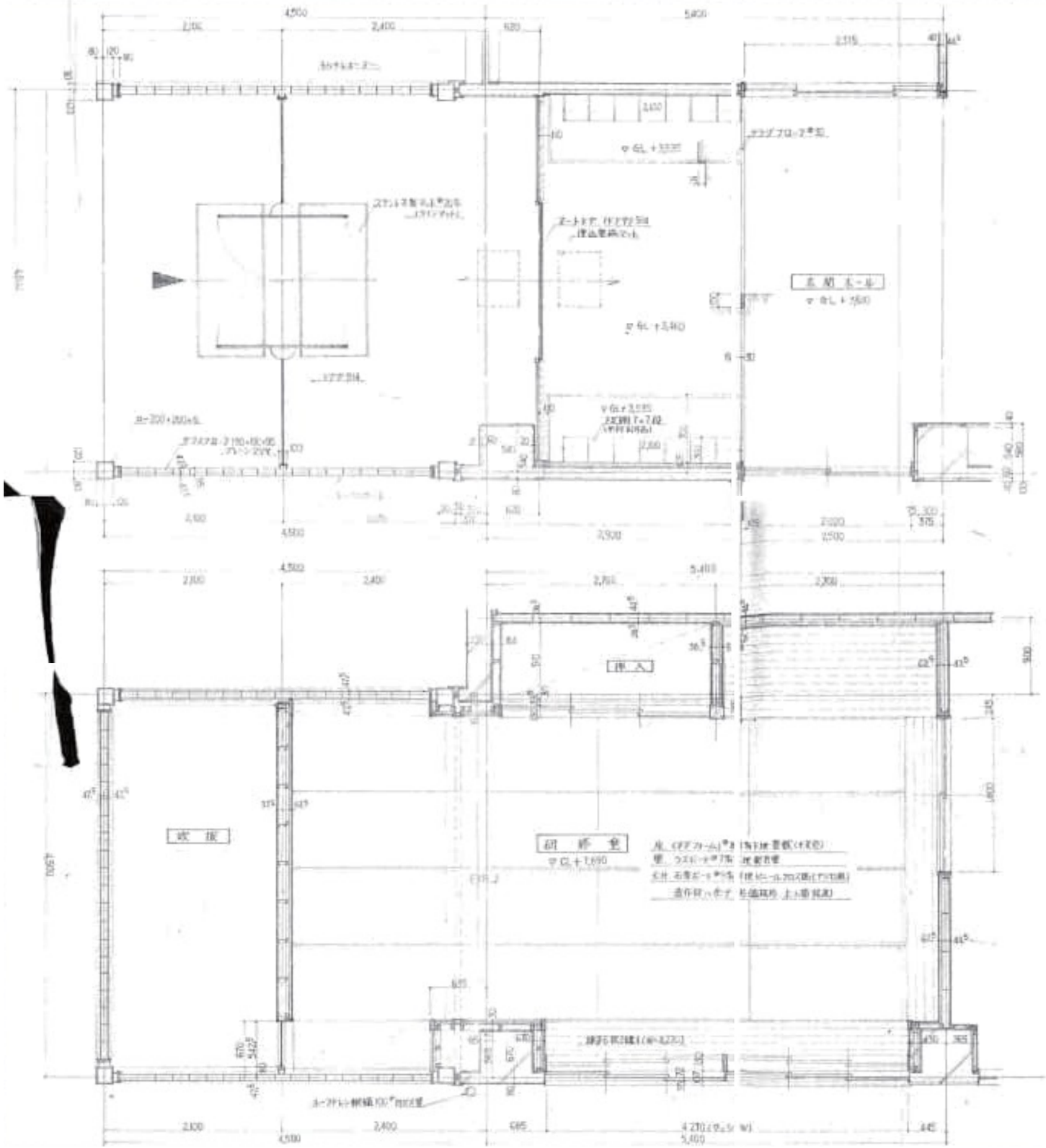


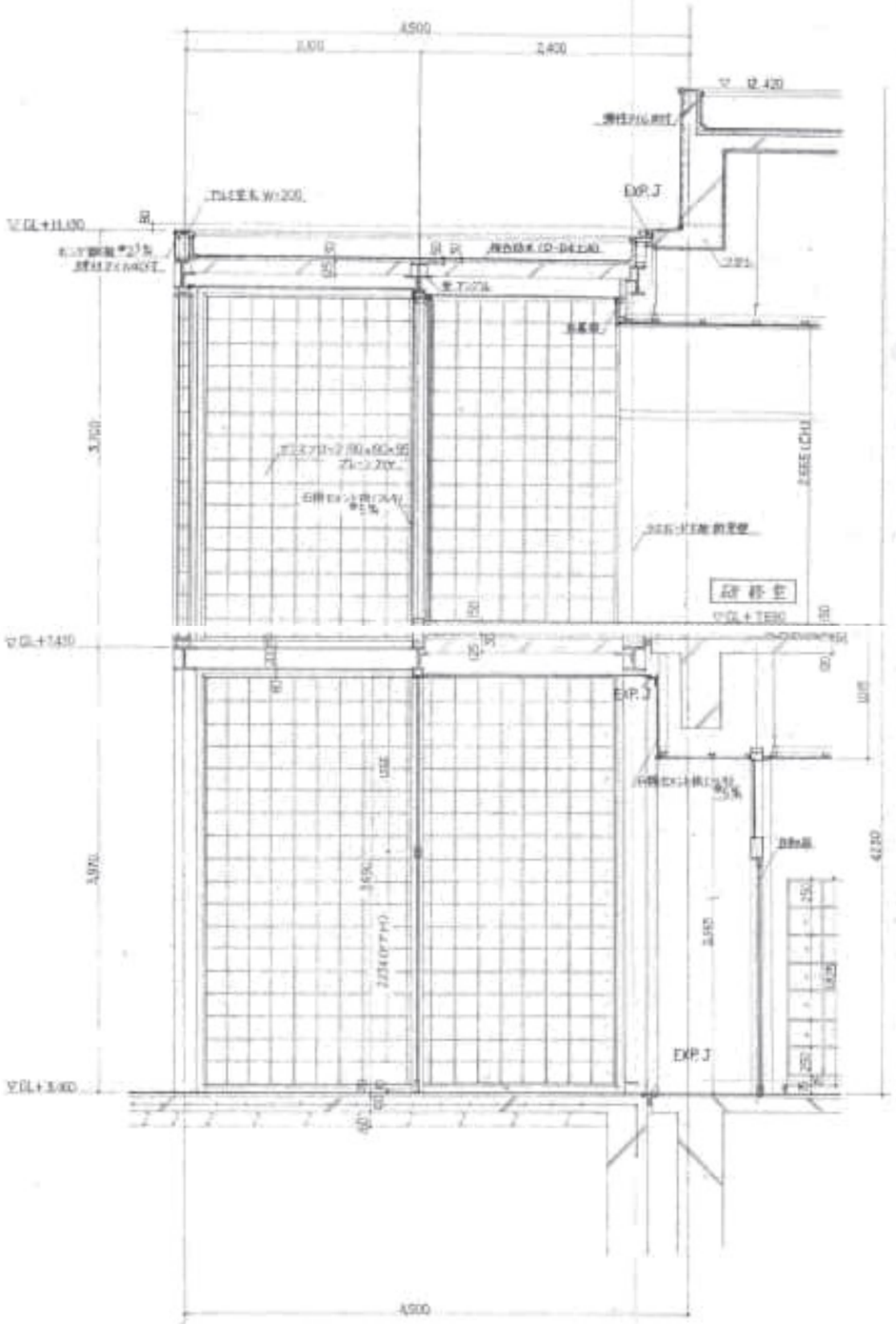
北 立 面 図



東 立 面 図

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦	検 印	担当印	日 付 2026.8月	件 名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮 尺 NON	図面名 解体　立面図	図 番 保Ａ－04





MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
			縮尺 NON	図面名 解体　平面・断面詳細図	図番 保Ａ－05

2階 便所詳細図

3階 便所詳細図

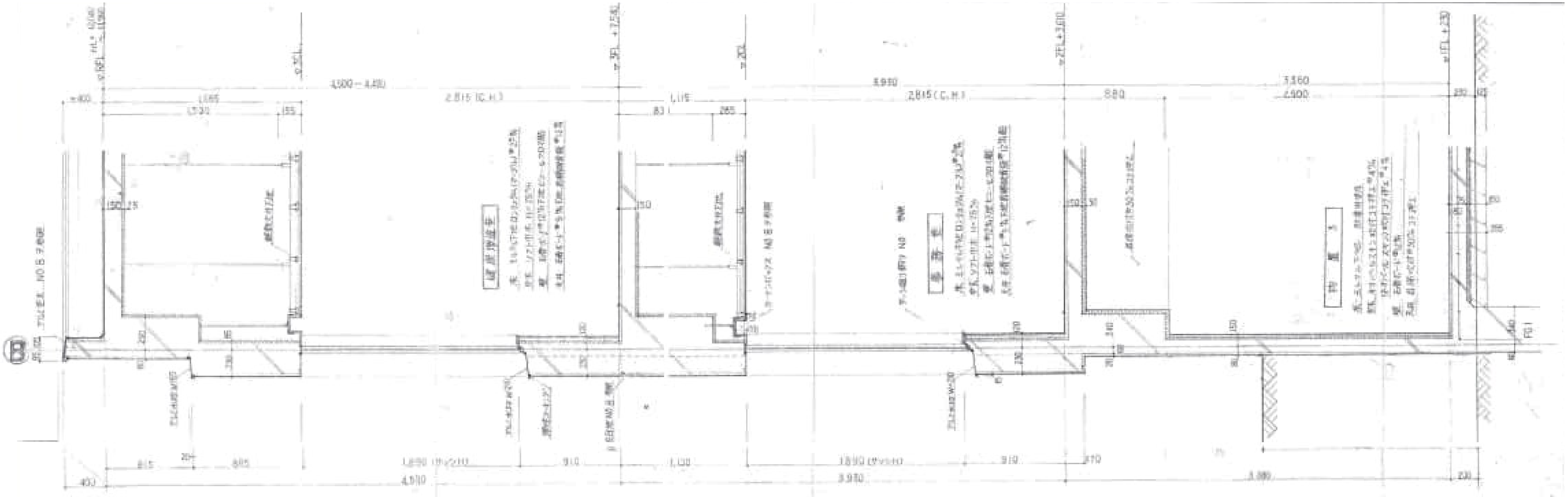
ア－ア

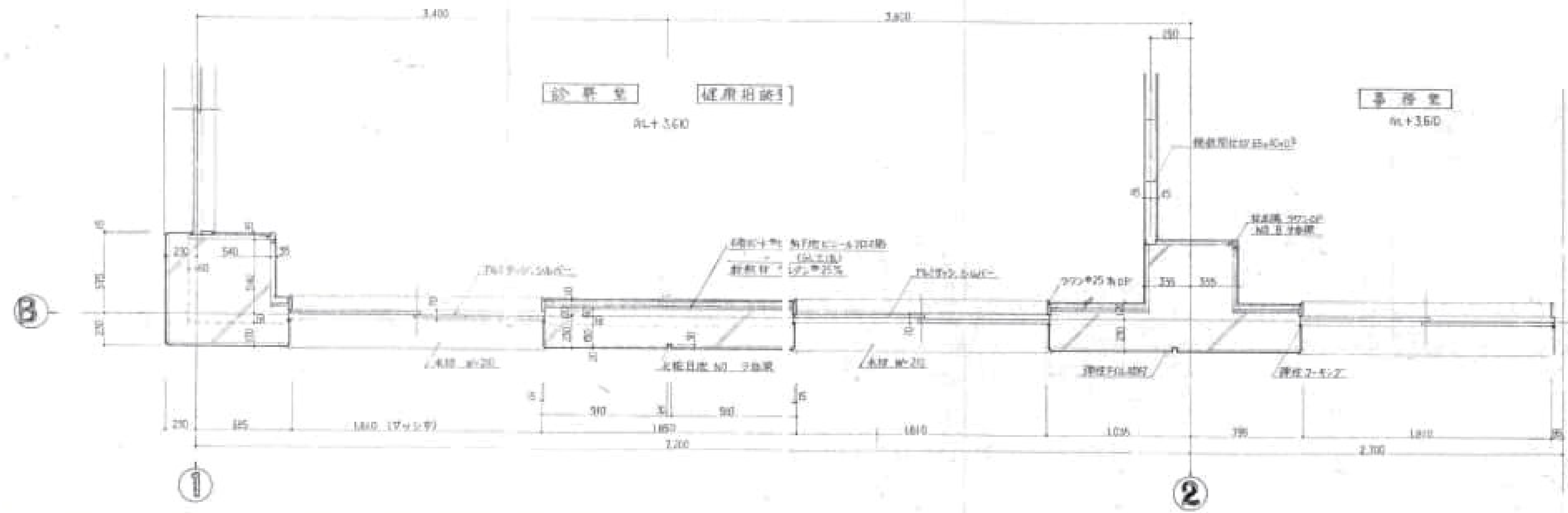
イ－イ

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

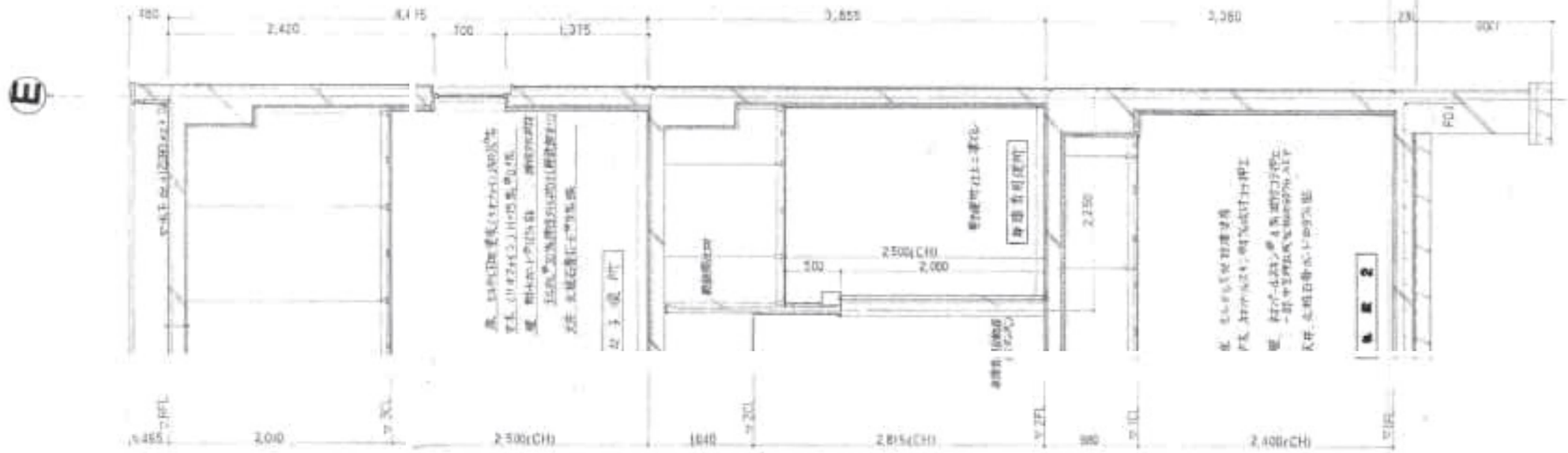
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦

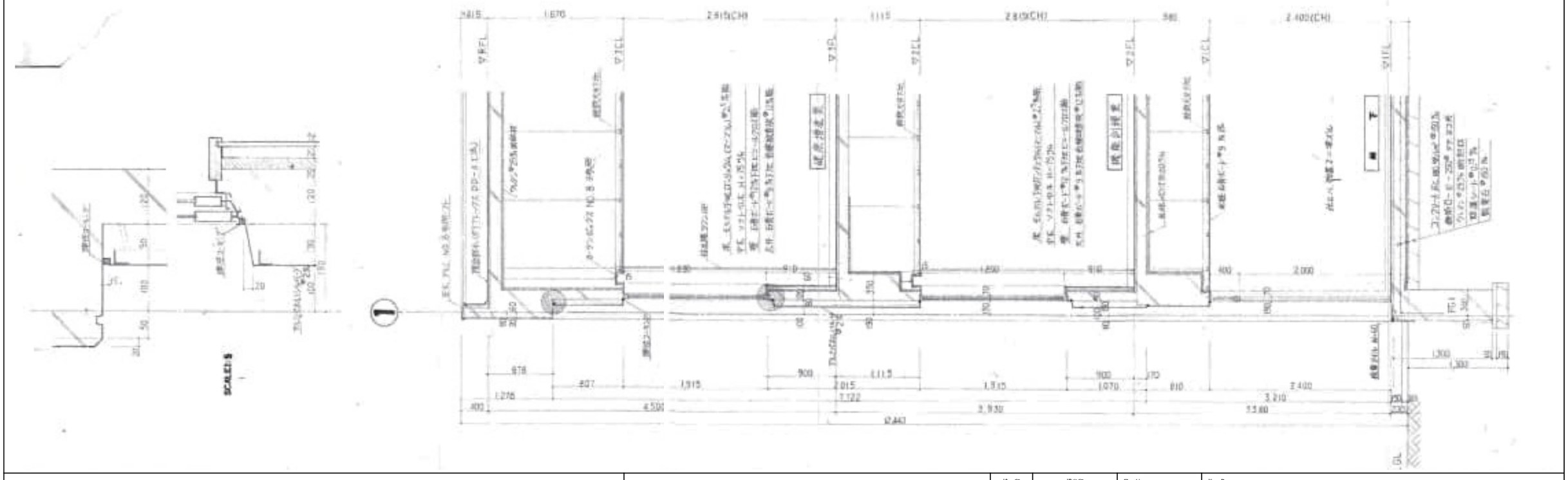
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体　便所詳細図
			図番 保Ａ－06



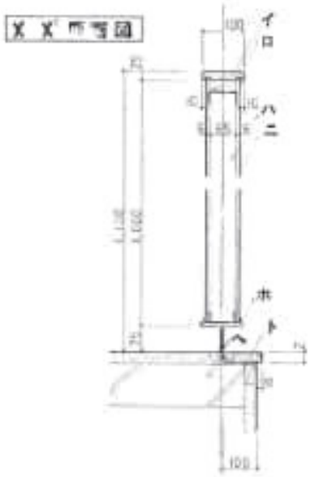


MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事
			縮尺 NON	図面名 解体　B通り平面詳細図･矩計図
				図番 保Ａ－07

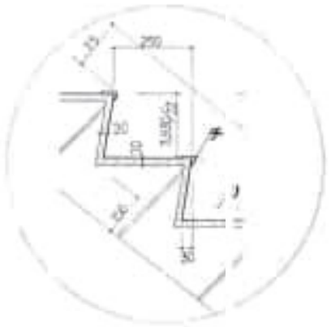


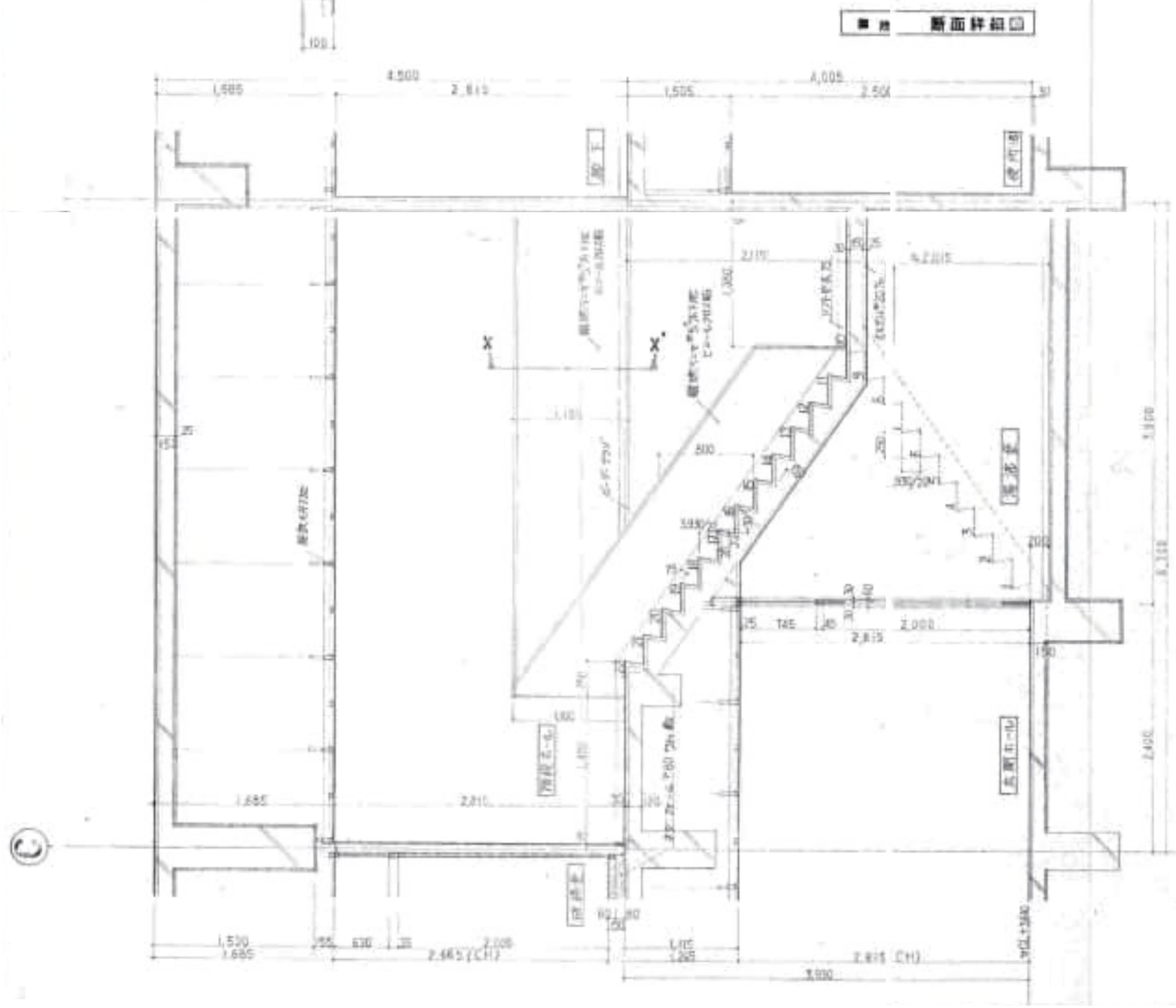


	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　1・E通り矩計図	図番 保Ａ－08



イ	タモ集成材 OSL
ロ	パッキン 30×7
ハ	鉄骨加工材 ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ 45×9 45°
ニ	踏板ベニヤ t=9 ﾋﾞﾆｰﾙ ｱｽﾌｧﾙﾄ貼
ホ	ｱﾙﾐﾋﾟｯﾄ笠
ヘ	T型鋼 100×100×7 SP
ト	ナフジー ブロック 20×15
チ	ｱﾙﾐ入ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ W=35
リ	ソフトリサフ ｹﾞﾑ





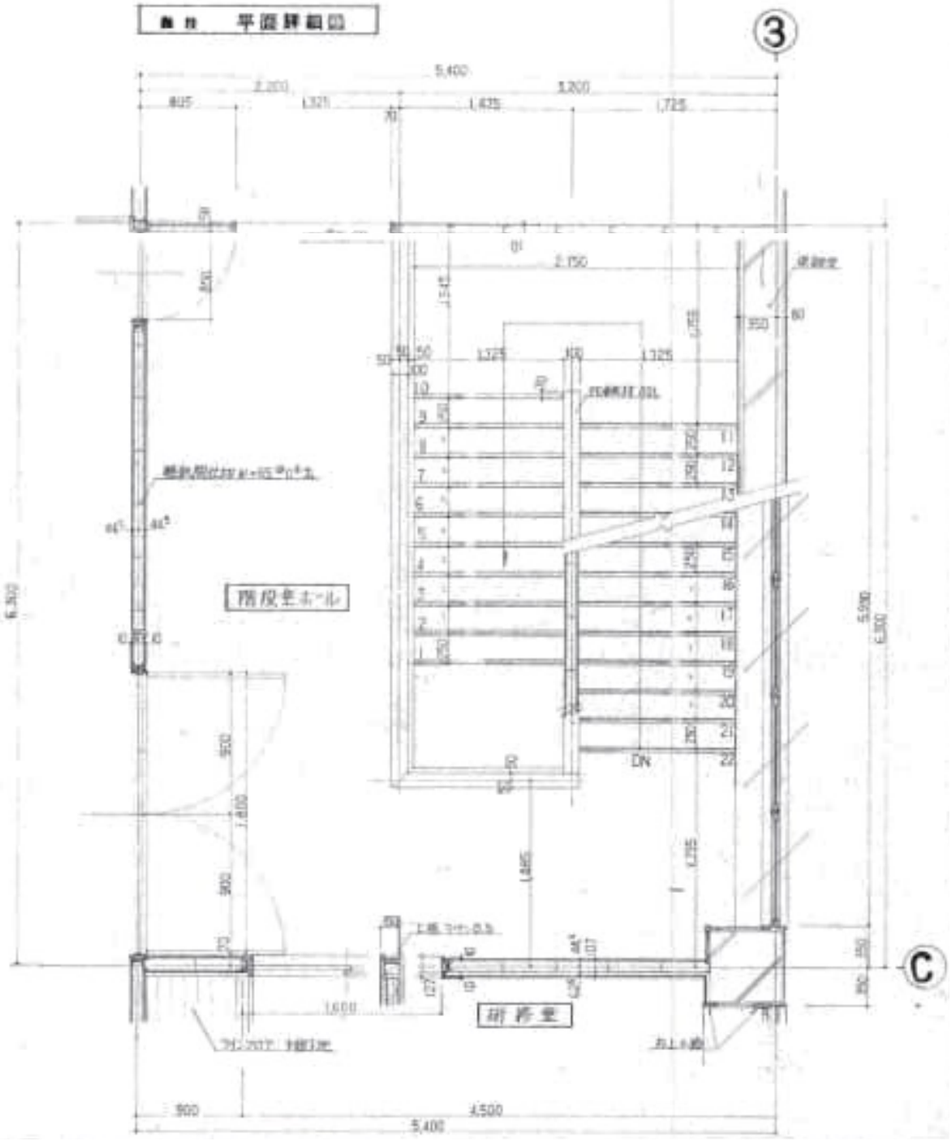
階段室ホール

床 ― ヒダタル下地 ロンリウム貼 t=2.5

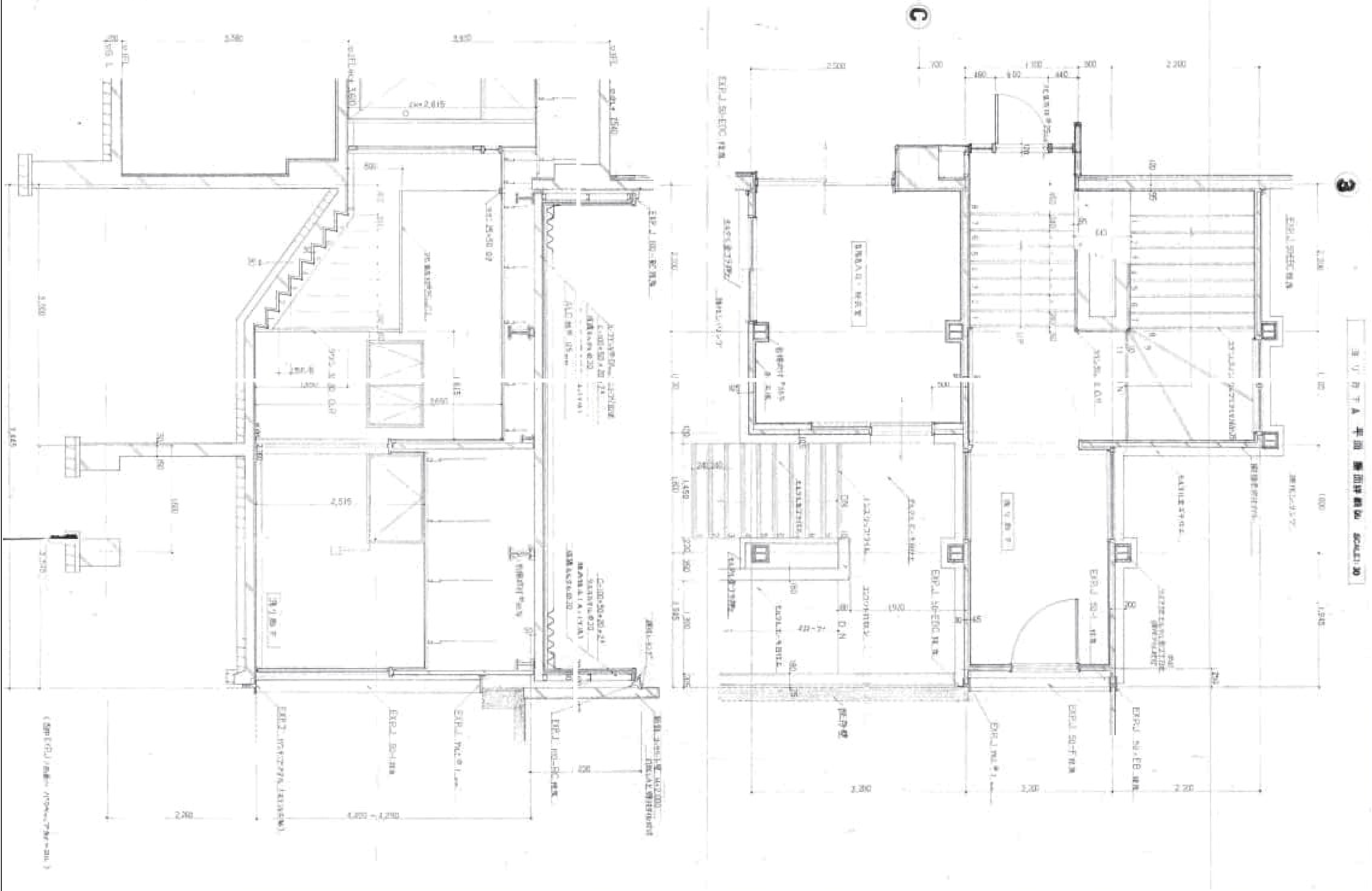
下地 ― ソフト巾木 H=75 張 (階段蹴込)
― 床 上 (ホール廻り)

壁 ― 石膏ボード t=12.5 下地 ビニールクロス貼
踏板ベニヤ t=9 (寸法指定ﾅｼ)

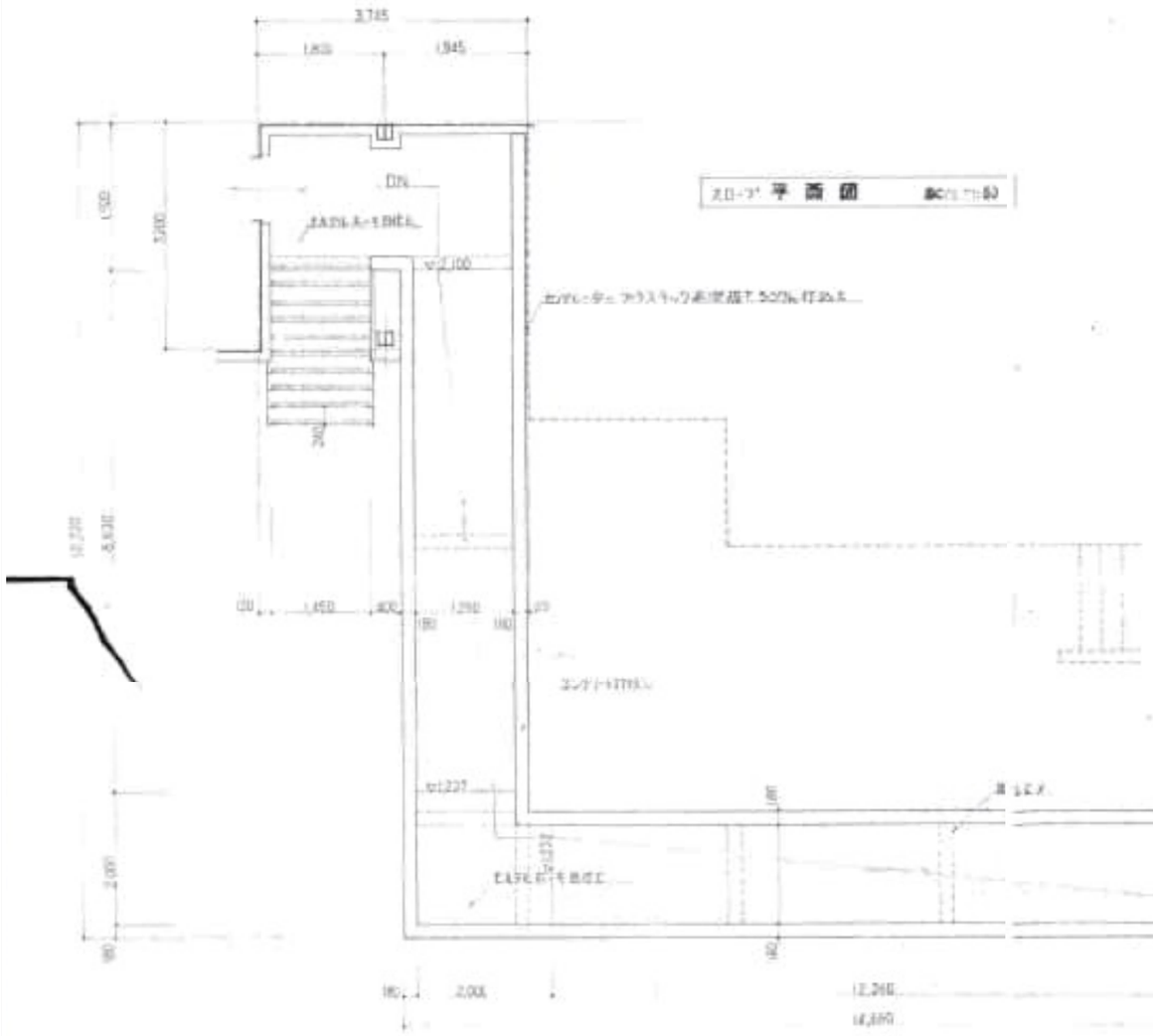
天井 ― 石膏ボード t=9.5 下地 岩綿吸音板 t=12 貼



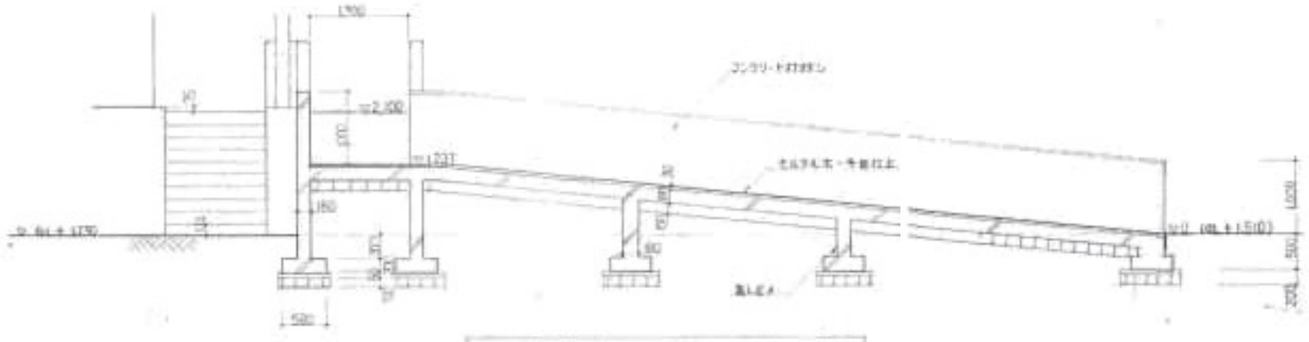
	株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事
				縮尺 NON	図面名 解体　階段詳細図
					図番 保Ａ－09



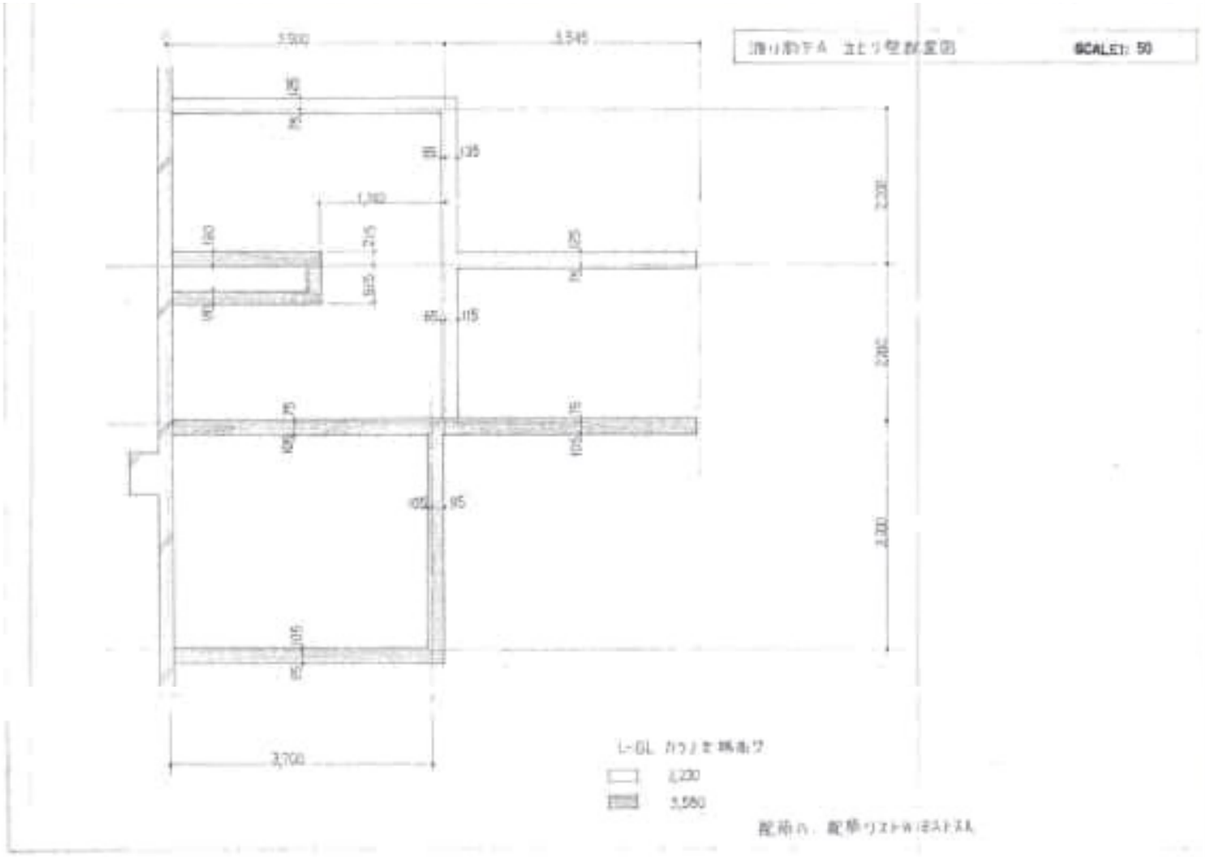
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　　小 林 康 彦	検 印	担当印	日 付 2026.8月	件 名 旧田沢湖保健センター等解体工事
			縮 尺 NON	図面名 解体　渡り廊下A　平面･断面詳細図
				図 番 保Ａ－10

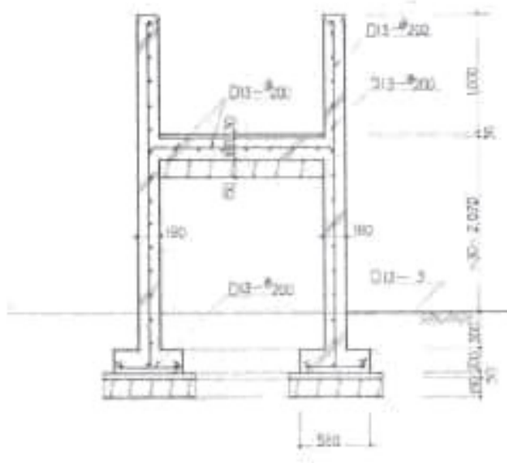


スロープ 平 面 図 SCALE: 1/50

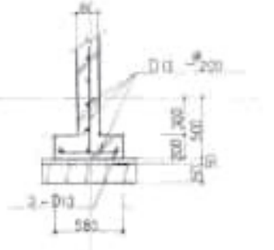


スロープ 縦 断 図 SCALE: 50



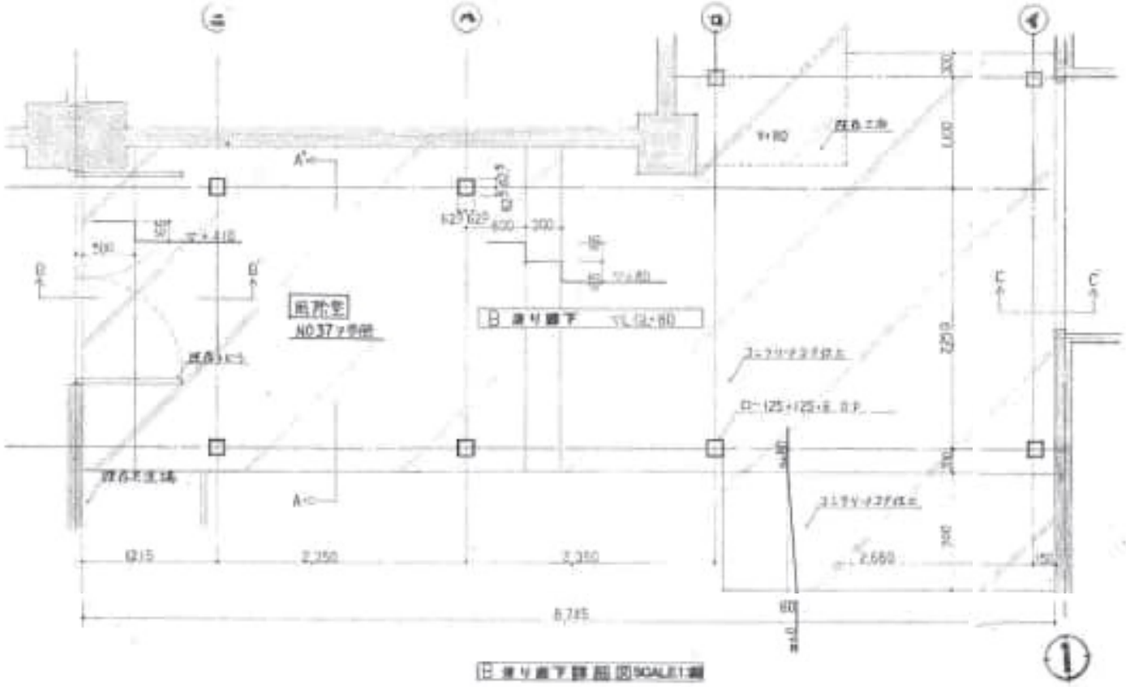


スロープ 縦 壁 詳 細 図 SCALE: 30

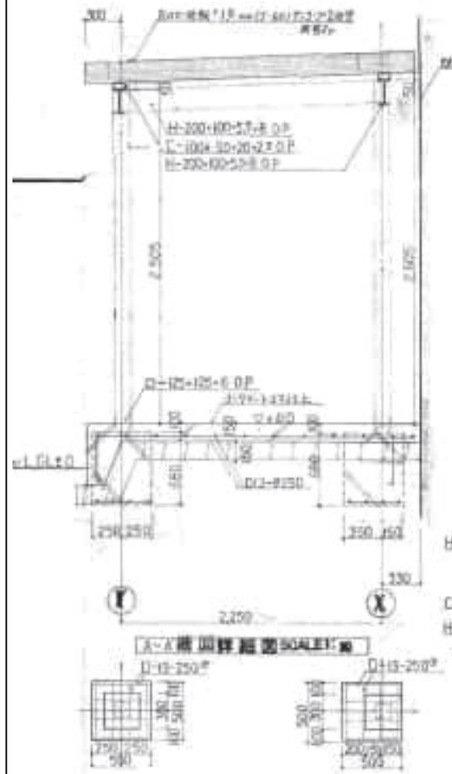


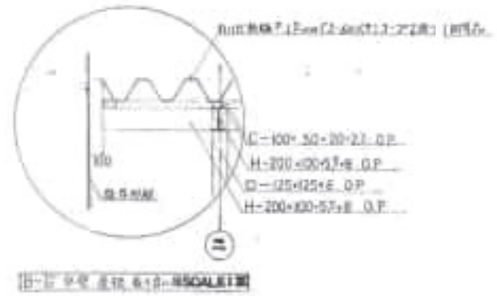
法しどメ 断 面 詳 細 図 SCALE: 30

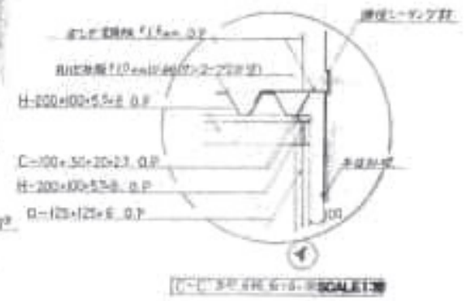
	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦	検 印	担当印	日 付 2026.8月	件 名	旧田沢湖保健センター等解体工事
				縮 尺 NON	図面名	解体　平面詳細図・断面詳細図
					図 番	保Ａ－11

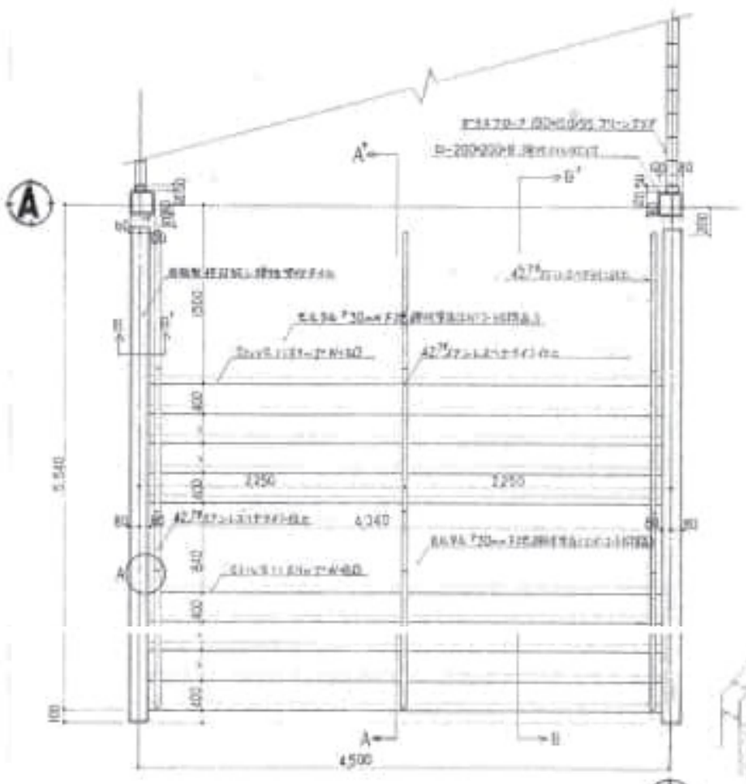


B 渡り廊下 詳細 図 SCALE1:30

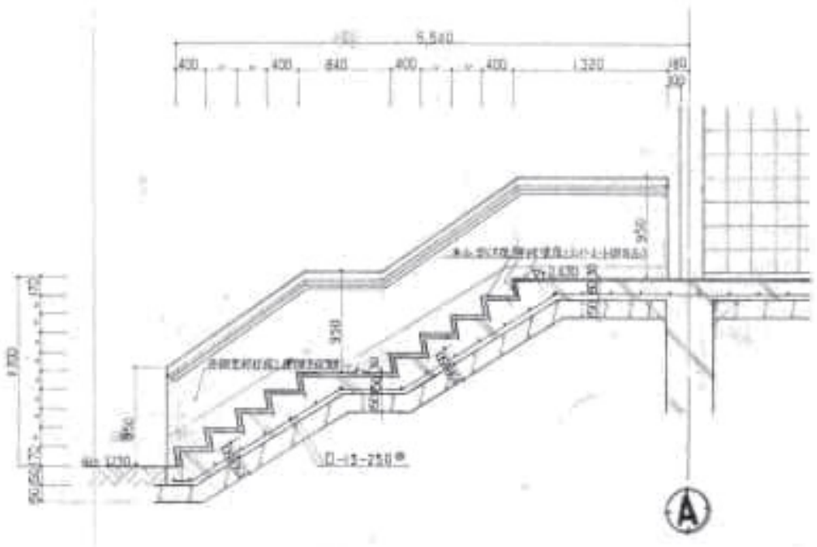


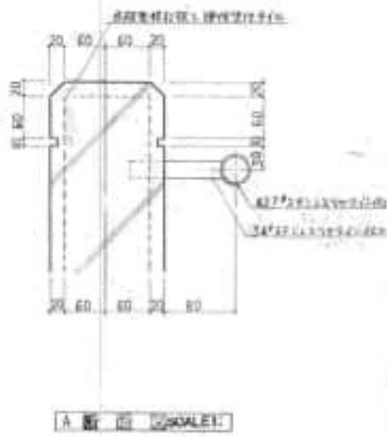




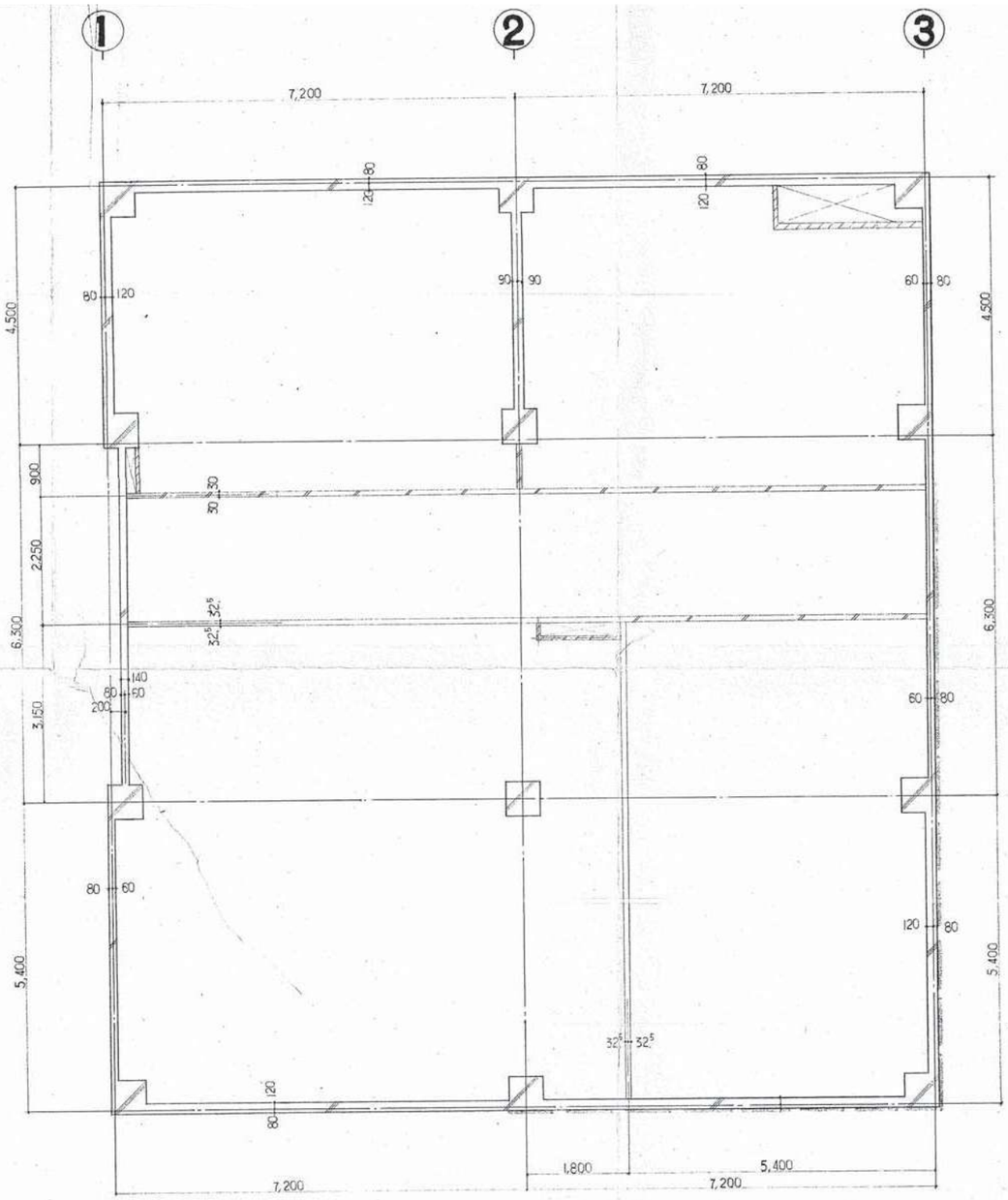




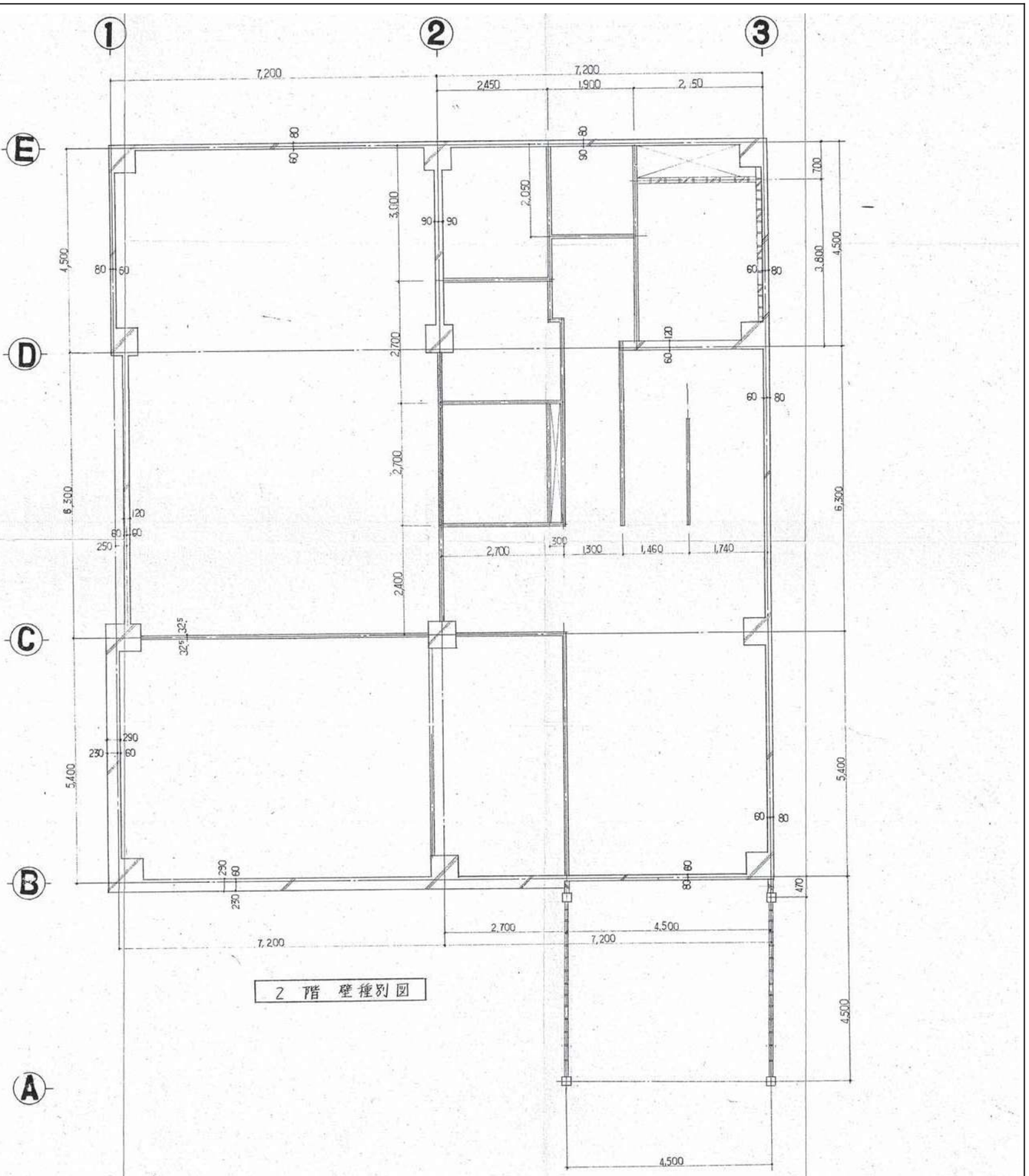




	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月 縮尺 NON	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事 図面名 解体　B渡り廊下・玄関ﾎﾟｰﾁ平面・断面図
					図番 保Ａ－12



1 階 壁種別図

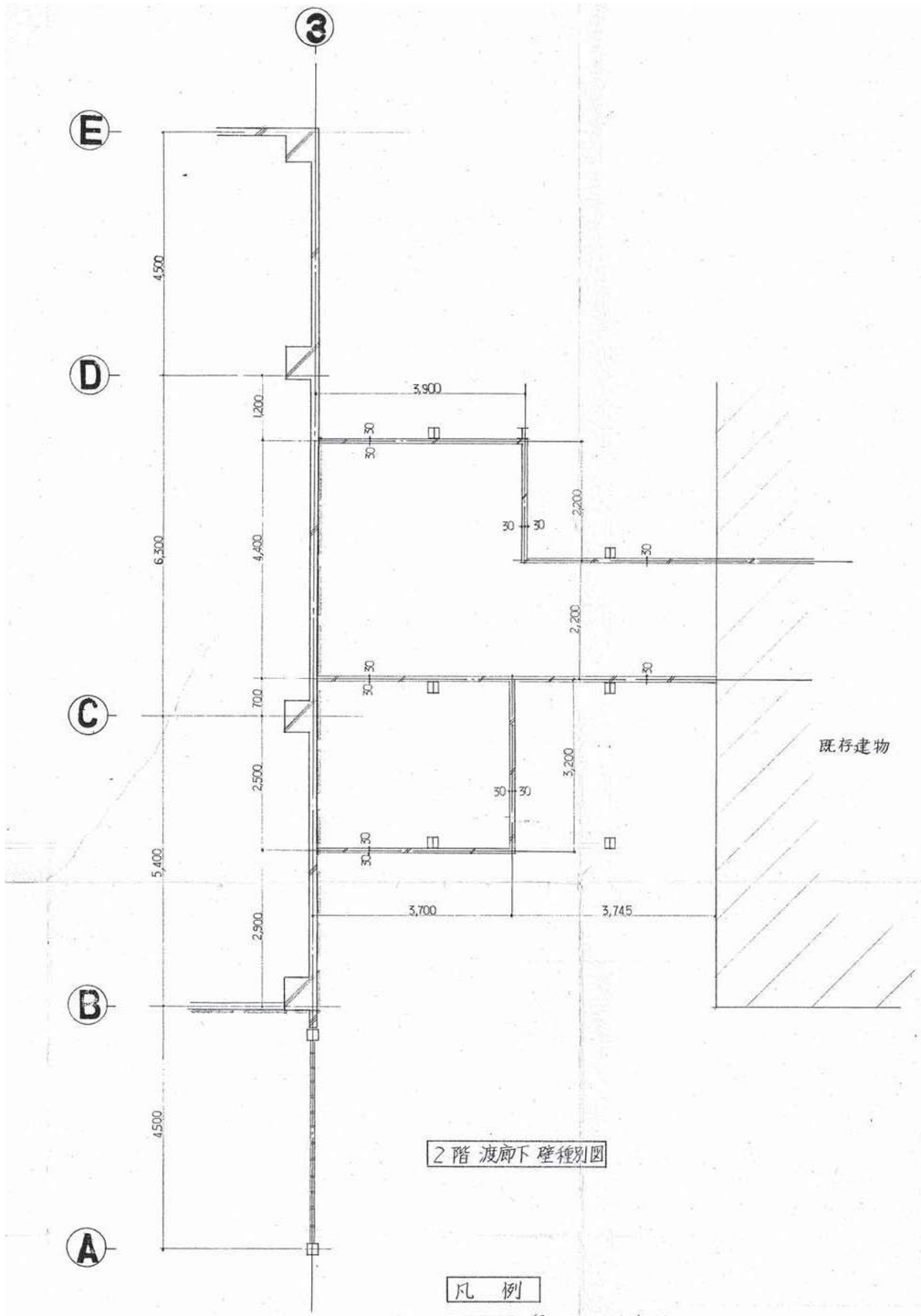


2 階 壁種別図

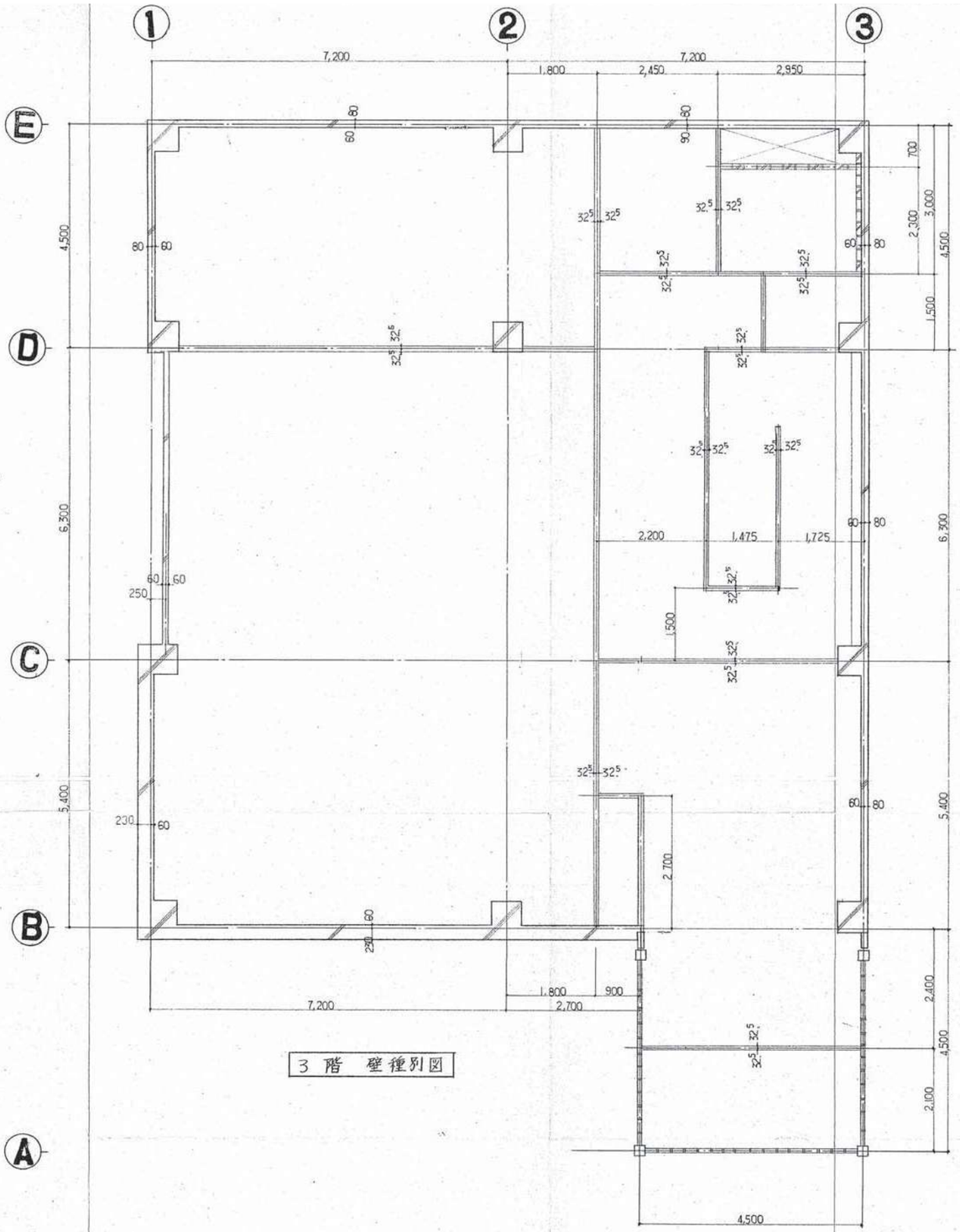
凡 例

- 印ハ コンクリート壁ヲ示ス。
- 印ハ セメント中空押出成型板 @60% 壁ヲ示ス。
- 印ハ CB @100% 壁ヲ示ス
- 印ハ ガラスブロック 190×190×95 プレーンクリヤー壁ヲ示ス。
- 印ハ 軽鉄間切壁ヲ示ス。
- 印ハ ALC版 @100% 壁ヲ示ス
- 印ハ ゴム系塗膜防水(ハルコート程度)ヲ示ス。
- 印ハ C-100×50×20×3.2-455@, 25×45-455@ 木下地ヲ示ス

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　1･2階　壁種別図	図番 保Ａ－13



2階 渡廊下 壁種別図

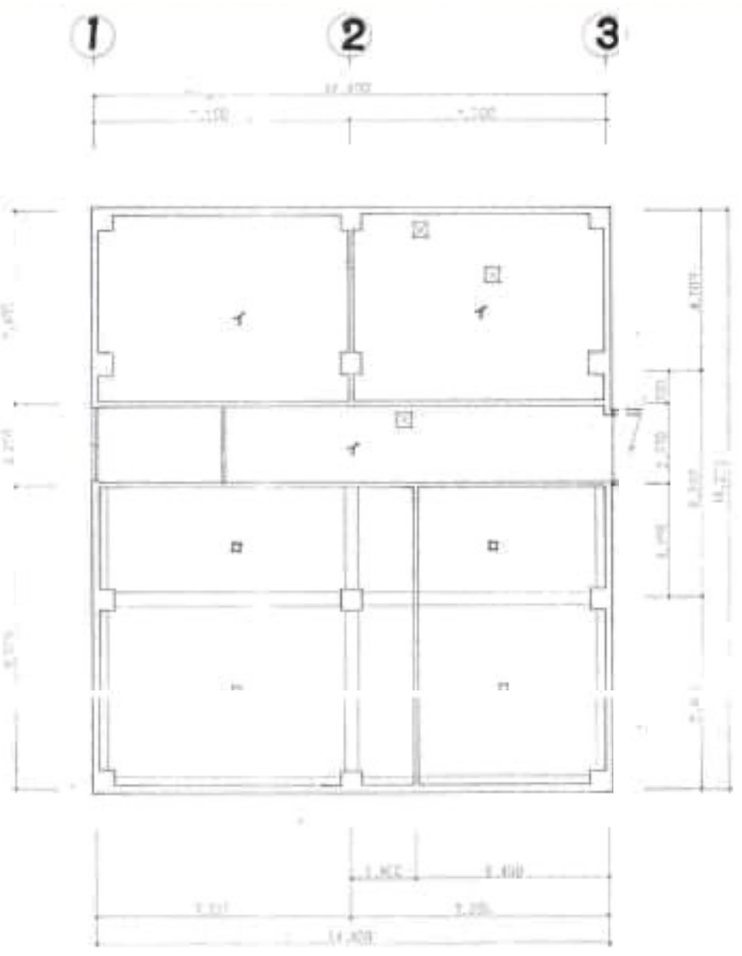


3階 壁種別図

凡 例

- 印ハコンクリート壁ヲ示ス。
- 印ハ セメント中空押出成型板 @60㍉壁ヲ示ス。
- 印ハ ガラスブロック 190×190×95 プレーンクリヤー壁ヲ示ス。
- 印ハ CB @100㍉壁ヲ示ス。
- 印ハ 軽鉄間仕切壁ヲ示ス。
- 印ハ ゴム系塗膜防水(ハルコート程度)ヲ示ス。

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体 2・3階 壁種別図	図番 保Ａ－14



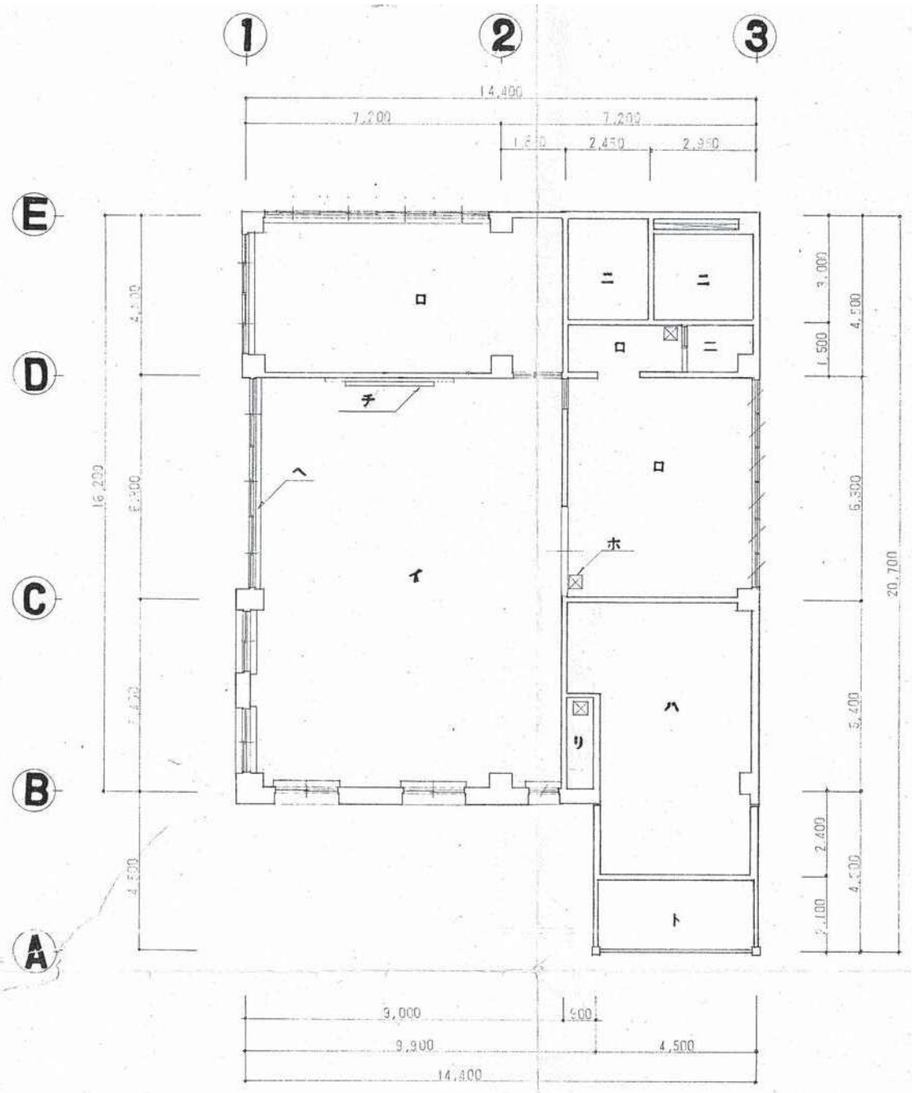
1階　天井伏せ図



2階　天井伏せ図

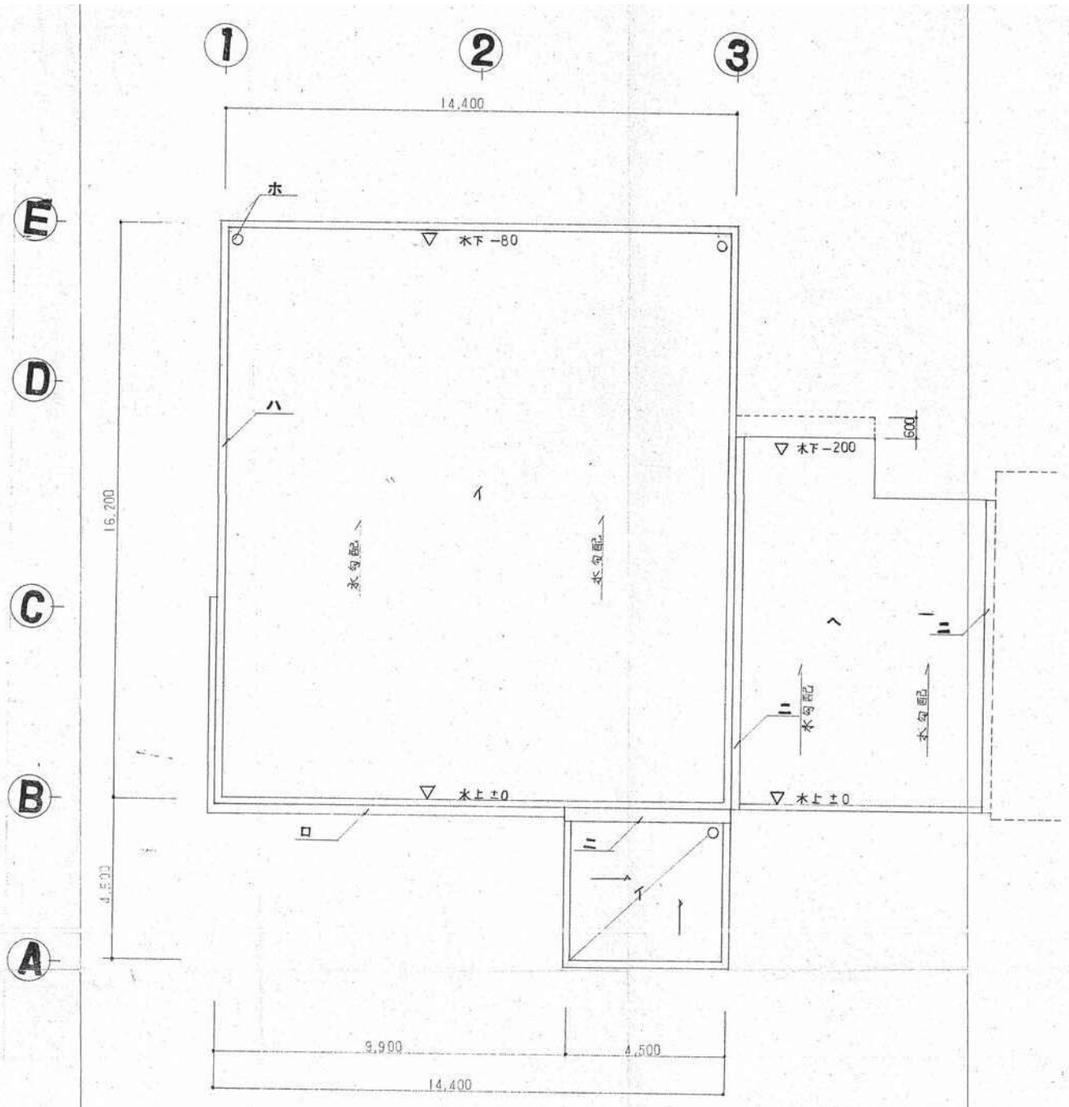
イ	化粧石膏ボード㎜ 5% 張		
ロ	系樹脂塗料 3回 ﾀﾃﾏｴ		
ハ	石膏ｴﾒﾝﾄ板(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ)㎜ 5% 目違い張 VP		
ニ	石膏ボード㎜ 5% ﾛﾝﾁ 系樹脂塗装 ㎜ 2回 ﾀﾃﾏｴ		
ホ	石膏ボード㎜ 5% 目違い張 AEP		
ヘ	点検口 アルミ 454×454		
ト	カーテンボックス　W=120　H=120		
チ	EXJ　NB　　塗装ﾛﾝﾁ		
リ	石膏ｾﾒﾝﾄ板(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ)㎜ 5% 目違い張 AEP		
ヌ	ｵｰﾌﾟﾝﾊﾙｽｹﾝ 吹付ﾛｯｸｳｰﾙ 4%		

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印		日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　1・2階天井伏図	図番 保Ａ－15



3 階　天井伏セ図

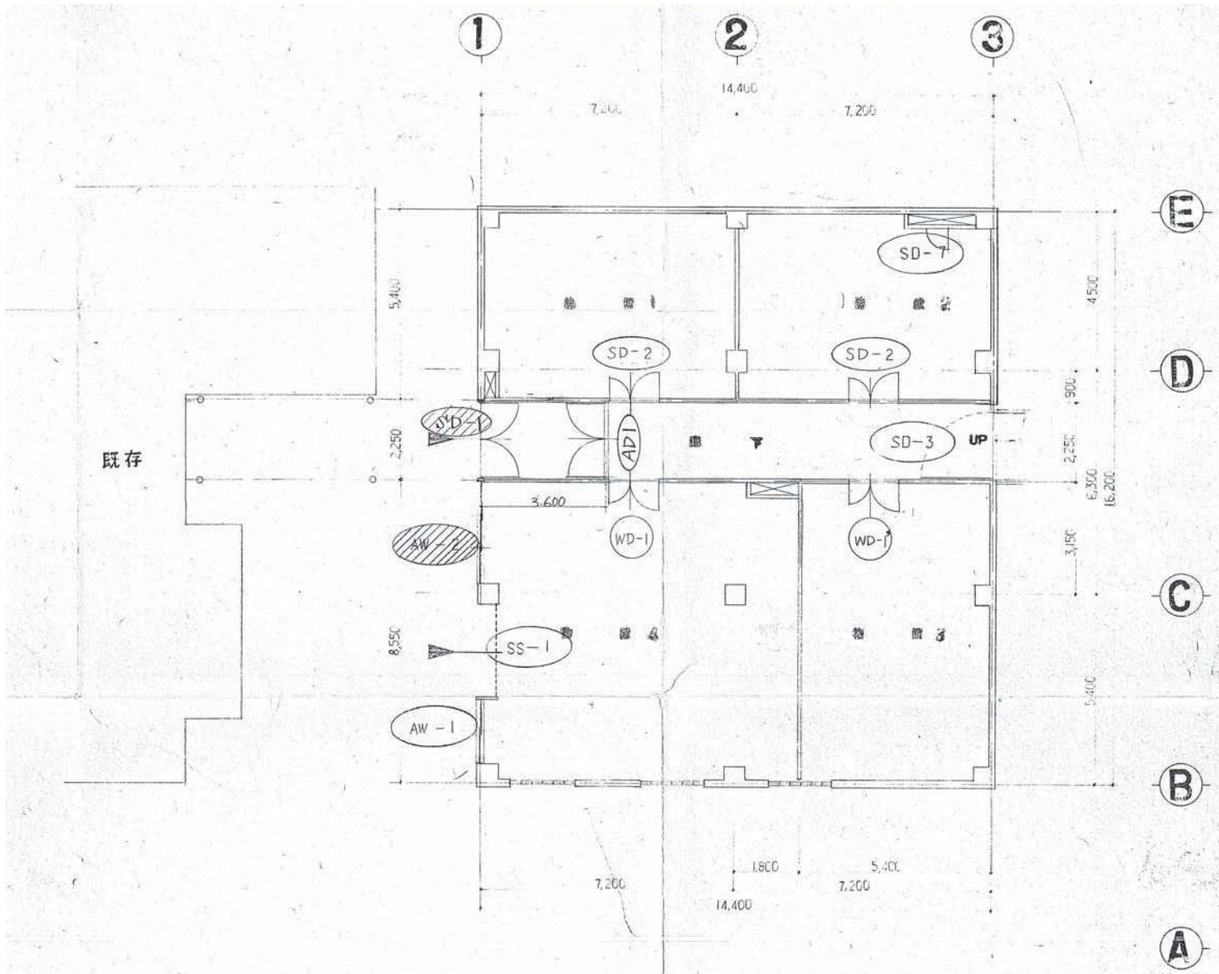
イ	石膏ボード @9㍉下地 ロックウール吸音板 @12㍉貼
ロ	石膏ボード @9㍉下地 吸音板 @12㍉貼
ハ	石膏ボード @9㍉下地 ビニールクロス貼
ニ	化粧石膏ボード @9㍉張
ホ	点検口 アルミ製 454×454
ヘ	カーテンボックス
ト	石綿セメント板(フレキ) @5㍉目透し張 VP
チ	スクリーンボックス W=120 H=100
リ	ベニヤ@4㍉ 貼
※	下地ハ、全テ 軽鉄天井トスル。



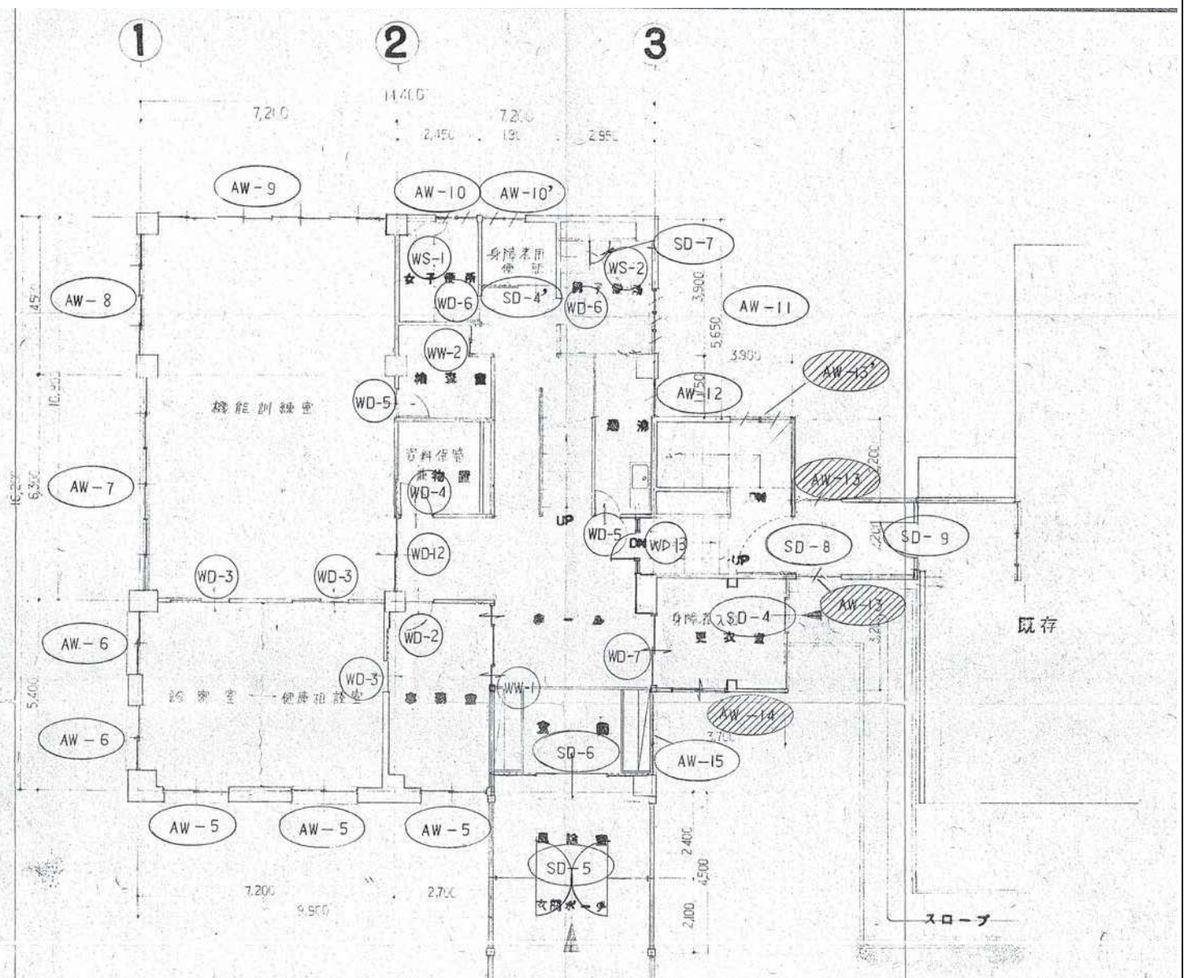
R 階　屋根伏セ図

イ	モルタル下地	複合防水(ダイフレックスDD4工法)	
ロ	アルミ水切	No.	参照リスト
ハ	笠木	No.	参照リスト
ニ	EXJ	No.	参照リスト
ホ	ルーフドレン		
ヘ	ALC @125㍉ 複合防水下地 ルーフデッキ @0.8㍉ サンコープ2回塗		

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　3階天井伏図・R階屋根伏図	図番 保Ａ－16



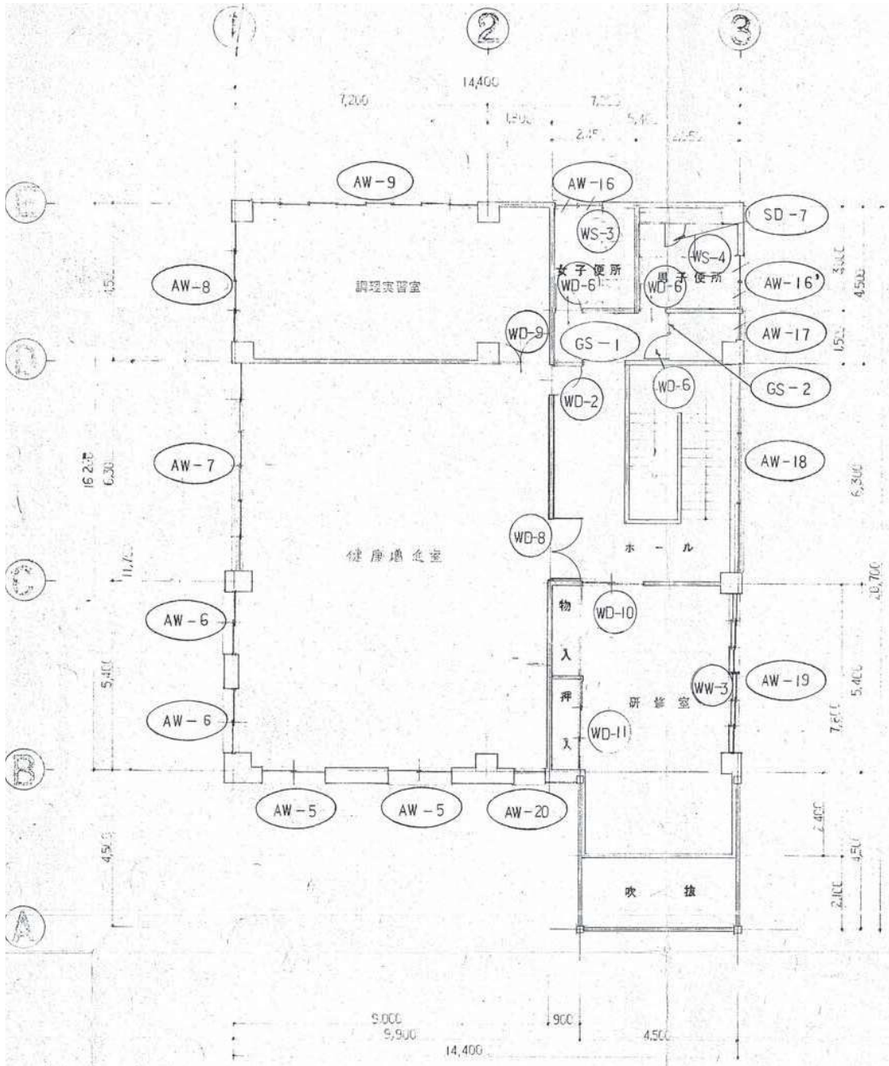
1階建具配置図



2階建具配置図

※ 191
部分ノガラスハ嵌入 ⑰ 6⁸ mm トスル
※ 窓ニハ全テ結露受取付ノコト.

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　1・2階建具配置図	図番 保Ａ－17



3階平面図

2F 排煙計算表

室名	床面積 (m²)	1/50値(m²)	排煙窓有効面積
機能訓練室	$7.^{2} \times 10.^{8} = 84.^{24}$	1.6848	AW7 − $1.^{9} \times 3 \div 2 \times 0.^{75}_{H} = 2.^{1875}$ AW8 − $1.^{625} \times 2 \div 2 \times 0.^{75} = 1.^{21875}$ AW9 − $1.^{5125} \times 3 \div 2 \times 0.^{75} = 1.^{7015}$ } 5.057 ∴ok
診察室, 健康相談室	$5.^{4} \times 7.^{2} = 38.^{88}$	0.7776	AW5 − $1.^{8} \div 2 \times 0.^{75} = 0.^{675}$ AW6 − $1.^{78} \div 2 \times 0.^{75} = 0.^{6675}$ } 1.3425 ∴ok
事務室	$5.^{4} \times 2.^{7} = 14.^{58}$	0.2916	AW5 − $1.^{8} \div 2 \times 0.^{75} = 0.^{675}$ ∴ok
玄関 ホール 廊下 風除室	$2.^{28} \times 4.^{5} = 10.^{26}$ $2.^{5} \times 4.^{5} = 11.^{25}$ $2.^{4} \times 7.^{2} = 17.^{28}$ $1.^{3} \times 4.^{5} = 5.^{85}$ $1.^{85} \times 1.^{9} = 3.^{515}$ $3.^{02} \times 4.^{5} = 13.^{59}$ } 61.745	1.2349	AW15 − $2.^{1} \times 0.785 = 1.^{6485}$ ∴ok

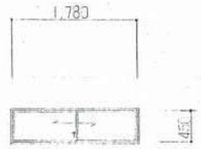
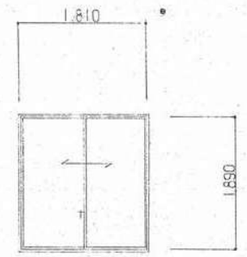
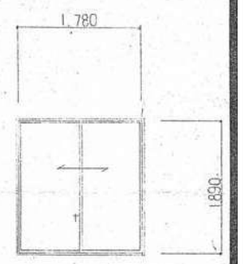
1F 排煙計算表

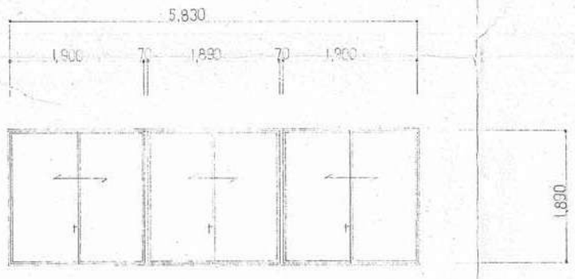
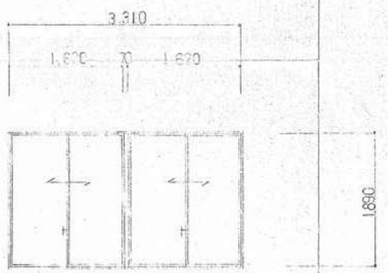
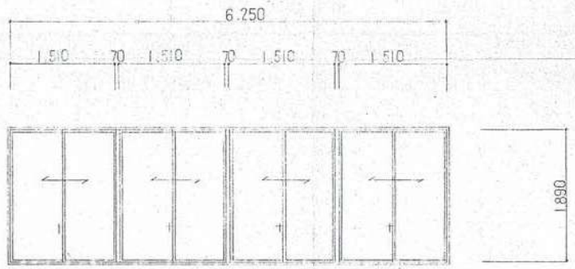
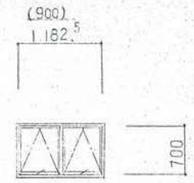
廊下	$2.^{25} \times 10.^{8} = 24.^{3}$	0.486	AD1or2or3D1. − $2 \times 0.^{35} = 0.^{7}$ ∴ok

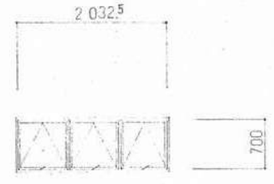
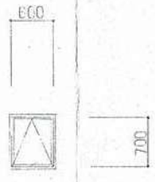
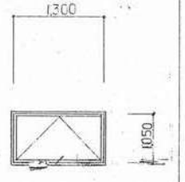
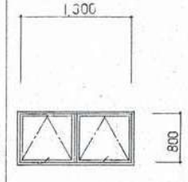
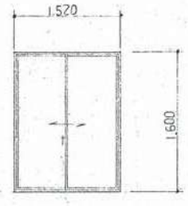
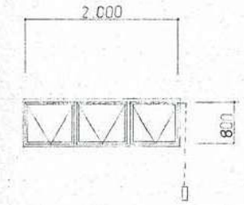
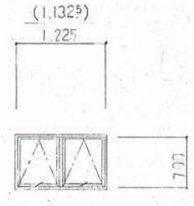
3F 排煙計算表

室名	床面積 (m²)	1/50値(m²)	排煙窓有効面積
調理実習室	$4.^{5} \times 9 = 40.^{5}$	0.81	AW8 $1.^{625} \times 2 \div 2 \times 0.^{75} = 1.^{21}$ AW9 $1.^{5125} \times 4 \div 2 \times 0.^{75} = 2.^{26}$ } 3.47 ∴ok
健康増進室	$11.^{7} \times 9 = 105.^{3}$	2.106	AW5 $1.^{8} \times 2 \div 2 \times 0.^{75} = 1.^{35}$ AW6 $1.^{78} \times 2 \div 2 \times 0.^{75} = 1.^{33}$ AW7 $1.^{9} \times 3 \div 2 \times 0.^{75} = 2.^{13}$ } 4.81 ∴ok
研修室	$7.^{8} \times 4.^{5} = 35.^{1}$	0.702	AW19 $2.^{175} \times 0.^{66} \times 2 = 2.^{871}$ ∴ok.
ホール	$6.^{3} \times 5.^{4} = 34.^{02}$ $1.^{5} \times 3.^{5} = 5.^{25}$ } 39.27	0.7854	AW18 $1.^{9} \times 3 \times 0.^{575} = 3.^{29}$ ∴ok.
渡り廊下	$3.^{9} \times 4.^{4} = 17.^{16}$ $3.^{6} \times 2.^{2} = 7.^{92}$ } 25.08	0.5016	AW13 $1.^{3} \times 0.^{75} \times 2 = 1.^{95}$ AW13' $1.^{3} \times 0.^{75} = 0.^{975}$ } 2.925 ∴ok.

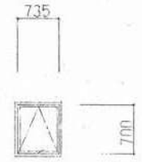
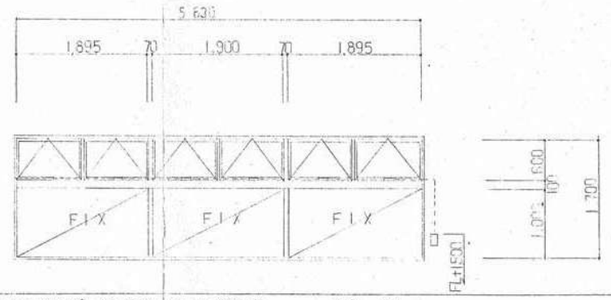
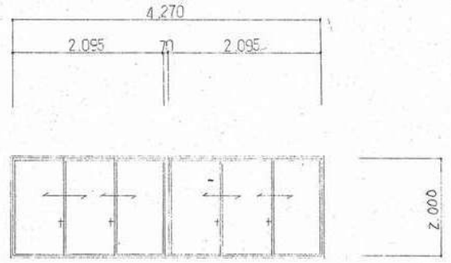
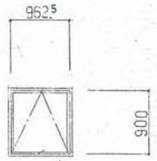
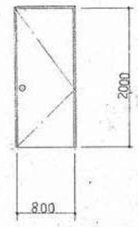
	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　3階建具配置図	図番 保Ａ－18

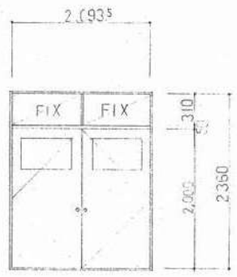
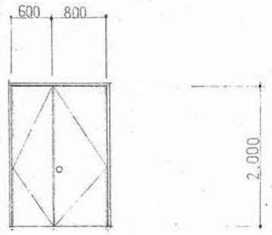
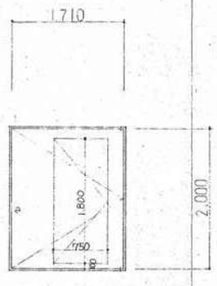
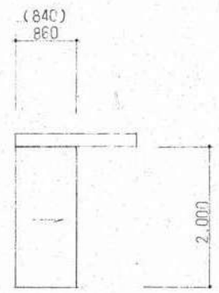
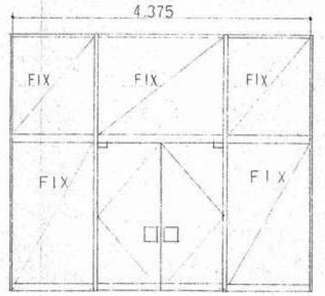
符号	AW－1	AW－2	AW－3	AW－4	AW－5	AW－6
形状寸法			削除	削除		
タイプ 見込	アルミ2枚引き違い窓 見込 70	アルミ3枚引き違い窓 見込 70	アルミ2枚引き違い窓 見込 70	アルミ2枚引き違い窓（2連窓） 見込 70	アルミ2枚引き違い窓 見込 70	〃 〃
仕上	シルバー	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
金物	水切 クレセント 他一式	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
ガラス	4mm 型板ガラス	6.8mm 網入型板ガラス	〃 〃	4mm 型板ガラス	5mm トーメイガラス	〃 〃
備考					クレセント位置：FL＋1,500 以下トヌル	〃 〃

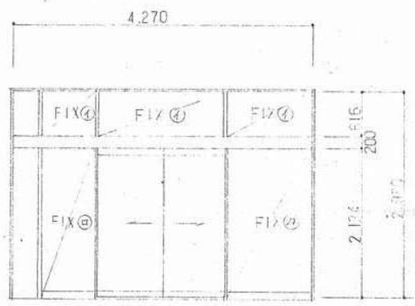
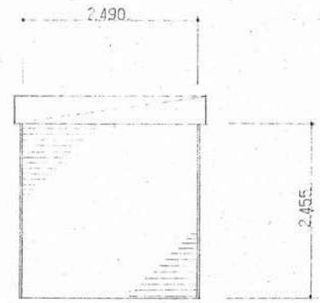
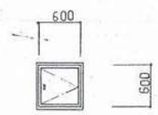
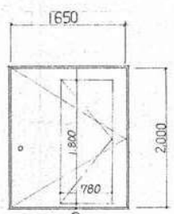
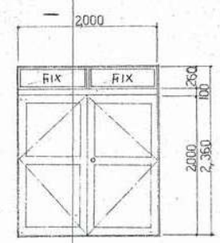
符号	AW－7	AW－8	AW－9	AW－10
形状寸法				（）内寸法はAW－10' 
タイプ 見込	アルミ2枚引き違い窓（3連窓） 見込 70	アルミ2枚引き違い窓 見込 70	アルミ2枚引き違い窓（4連窓） 見込 70	アルミスベリ出し窓（2連窓） 見込 70
仕上	シルバー	〃 〃	〃 〃	〃 〃
金物	水切 クレセント 他一式	〃 〃	〃 〃	水切 カムラッチ 他一式
ガラス	5mm トーメイガラス	〃 〃	〃 〃	4mm 型板ガラス
備考	クレセント位置：FL＋1,500 以下トヌル	〃 〃	〃 〃	

符号	AW－11	AW－12	AW－13	AW－13'	AW－14	AW－15	AW－16
形状寸法							（）内寸法はAW－16' 
タイプ 見込	アルミスベリ出し窓（3連窓） 見込 70	アルミスベリ出し窓 見込 70	アルミスベリ出し排煙窓 見込 70	〃 〃	アルミFIX付2枚引き違い窓 見込 70	アルミスベリ出し排煙窓（3連窓） 見込 70	アルミスベリ出し窓（2連窓） 見込 70
仕上	シルバー	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
金物	水切 カムラッチ 他一式	〃 〃	水切 開閉装置（オペレーター） 他一式	〃 〃	水切 クレセント 他一式	水切 開閉装置（オペレーター） 他一式	水切 カムラッチ 他一式
ガラス	4mm 型板ガラス	〃 〃	6.8mm 網入トーメイガラス	〃 〃	〃 〃	スベリ出し窓：3mm トーメイガラス	4mm 型板ガラス
備考			オペレーター操作ハンドル位置：FL＋1,500 以下トヌル	〃 〃	〃 〃	オペレーター操作ハンドル位置：FL＋1,500 以下トヌル	

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号 小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
			縮尺 NON	図面名 解体 鋼製建具表1	図番 保Ａ－19	

符号	AW－17	AW－18	AW－19	AW－20	SD－9
形状寸法					
タイプ見込	アルミスベリ出シ窓　見込 70	アルミスベリ出シ非煙窓（6連窓）付ハメ殺シ窓　見込 70	アルミ3枚引き違イ窓（2連窓）　見込 70	アルミスベリ出シ窓　見込 70	スチール常時閉鎖型甲種防火戸
仕上	シルバー	全　左	全　左	全　左	O.P.
金物	水切　カムラッチ　他一式	水切　開閉装置（オペレーター）　他一式	水切　クレセント　他一式	水切　カムラッチ　他一式	一式
ガラス	4mm 型板ガラス	スベリ出シ窓：3mm トーメイガラス　FIX：5mm トーメイガラス	5mm トーメイガラス	3mm トーメイガラス	
備考		オペレーター操作位置：FL＋1,500 以下トスル			

符号	SD－1	SD－2	SD－3	SD－4	SD－5
形状寸法				( )内寸法はSD－4' 	
タイプ見込	FIX付スチール両開キフラッシュドアー（乙種防火戸）	スチール 親子トア	スチール甲種防火戸　（煙感知器連動）	スチール片引キ自動ドアー	ステンレス枠両開キ強化ガラスドアー
仕上	O.P.	O.P.	O.P.	O.P.	
金物	クレセント　DC　シリンダー錠　他一式	フランス落シ、シリンダーモノロック、ドアーチェック　他一式	ケースハンドル　他一式	オートドア用エンジン　他一式	フロアーヒンジ　押板　他一式
ガラス	6.8mm 網入型板ガラス				FIX：8mm トーメイガラス
備考				身障者用ボタン式	キーロック

符号	SD－6	SS－1	SD－7	SD－8	AD－1
形状寸法					
タイプ見込	ステンレス枠 FIX付 自動トアー	スチール軽量シャッター　t0.6 %1	乙種防火戸	スチール甲種防火戸　（煙感知器連動）	ランマ付 アルミ両開キ戸　見込 70 %1
仕上		O.P.	O.P	O.P	シルバー
金物	オートドアーエンジン　他一式	レール　他一式	分電盤錠　他一式	ケースハンドル　他一式	施錠付
ガラス	FIX④：5mm トーメイガラス FIX⑪：6mm トーメイガラス　トアー：強化ガラストアー				FIX 3%トーメイ、開キ 5%透明
備考					

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
			縮尺 NON	図面名 解体　鋼製建具表2	図番 保Ａ－20

符号	WD－1	WD－2	WD－3	WD－4	WD－5	WD－6	WD－7	WD－8
形状寸法	（）内寸法はWD－1'							
タイプ見込	シナベニヤフラッシュ親子ドア	内倒しランマ付シナベニヤフラッシュドア 33/40	内倒しランマ(2連窓)付シナベニヤフラッシュ片引き戸 33/40	FIX付シナベニヤフラッシュドア 40	FIX付シナベニヤフラッシュドア 40	シナベニヤフラッシュドア 40	シナベニヤフラッシュ片引き戸40	木製両開き框ドア（シナベニヤフラッシュ） 60
仕上	O.P.	O.P.	〃 左	〃 左	〃 左	〃 左	〃 左	〃 左
金物	DC，丁番，ノブ，フランス落シ 他一式	ステンレス製丁番 DC ノブ 他一式	引き手 ステンレスユーステンレール 他一式	ステンレス製丁番 DC，ノブ 他一式	〃 左	〃 左	ステンレスユーステンレール引き手他一式 フロアーヒンジ 押棒 ℓ=600 他一式	
ガラス		3mm トーメイガラス	〃 左	〃 左	〃 左			
錠前	キーロック	キーロック	〃 左	キーロック ガラリ付	〃 左	ガラリ付	キーロック	〃 左

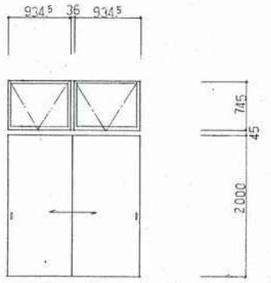
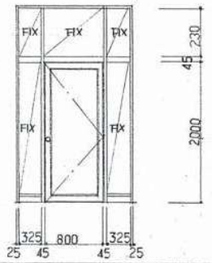
符号	WD－9	WD－10	WD－11	GS－1	GS－2	WW－1	WW－2
形状寸法							
タイプ見込	内倒シ(2連窓)付シナベニヤ網入フラッシュドア 33/40	2枚引き違イフスマ 30	3枚引き違イフスマ 30	FIX付 ガラスクリーン	〃 左	FIX付 バイパス窓 33	受付用窓
仕上	O.P.	〃 左	〃 左			O.P.	
金物	ステンレス製丁番 ノブ フランス落シ 他一式	引き手	〃 左			引き手 レール 召り錠 他一式	
ガラス	3mm トーメイガラス			4mm 型板ガラス	〃 左	障子：3mm トーメイガラス FIX：5mm トーメイガラス	プラスチック板 @8%
錠前	キーロック						

符号	WN－5	WS－1	WS－2	WS－3	WS－4
形状寸法					
タイプ見込	3枚引き違イ障子（2連窓） 30	トイレブース（シナベニヤフラッシュ） 40	〃 左	〃 左	〃 左
仕上		O.P.	〃 左	〃 左	〃 左
金物	引き手	ラバトリーヒンジ スクリーン芯木（ステンレス@1mm）表示錠 他一式	〃 左	〃 左	〃 左
ガラス					
錠前					

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

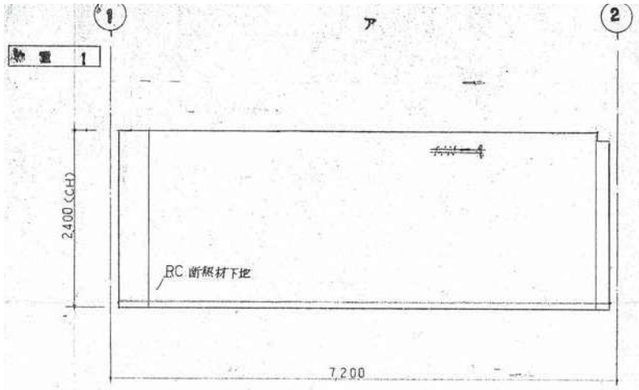
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

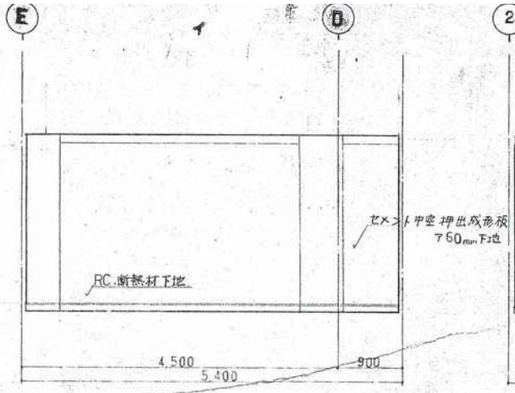
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体　木製建具表1
			図番 保Ａ－21

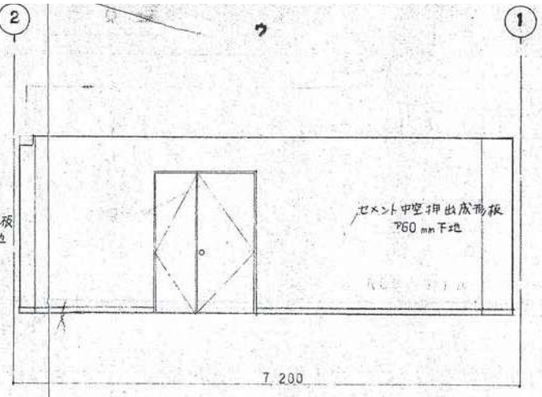
符　号	WD－12		WD－13
形状寸法			
タイプ見込	内倒し(2連窓)付 シナベニヤ引違イフラッシュ戸 33/40		FIX付 木製框ドア 60
仕　上	OP		OP
金　物	引手 ステンレスユーステンレール　他一式		シリンダーモノロック、ドアチェック　他一式
ガラス	3mm 透明		型板ガラス　6mm
備　考	キーロック		

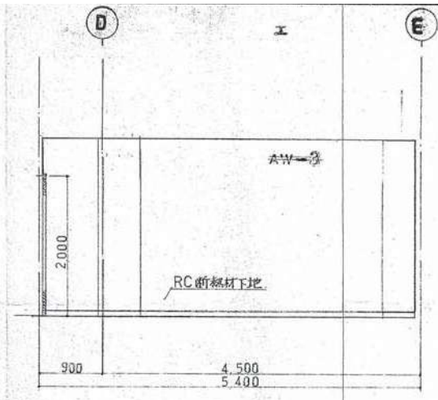
	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名	
				縮尺 NON	図面名 解体　木製建具表2	図番 保Ａ－22

物量 1

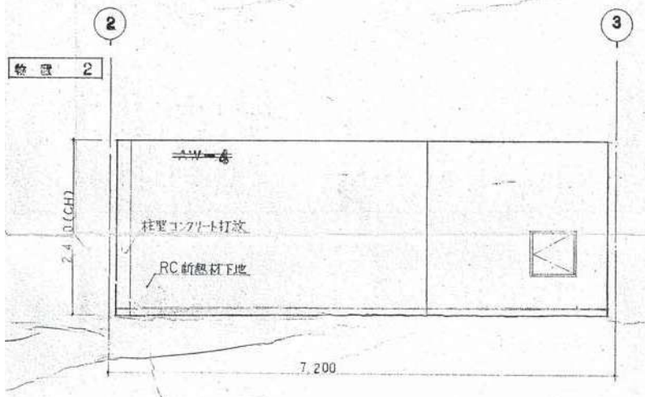


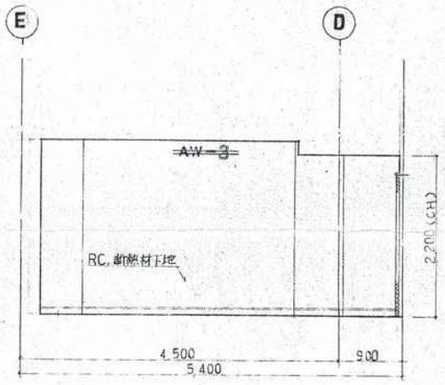


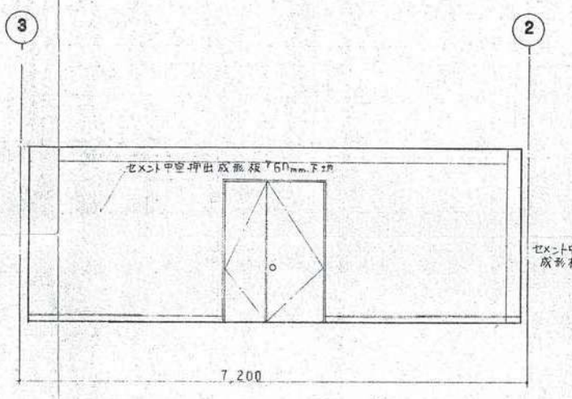


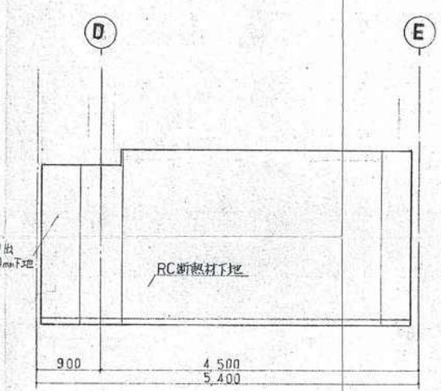


物量 2

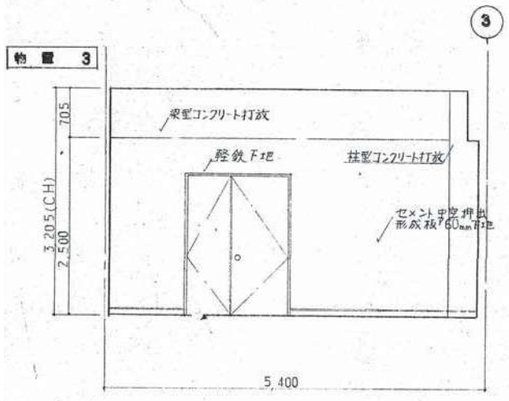


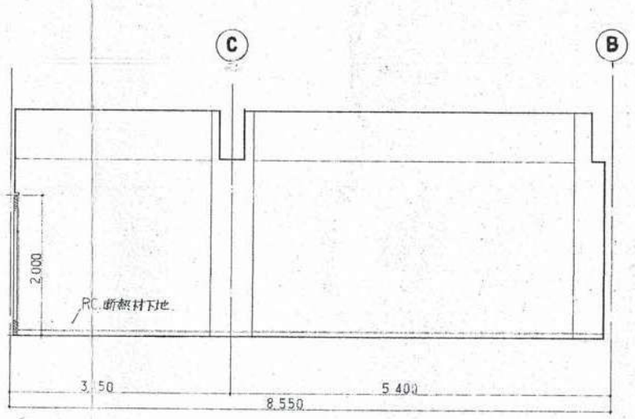


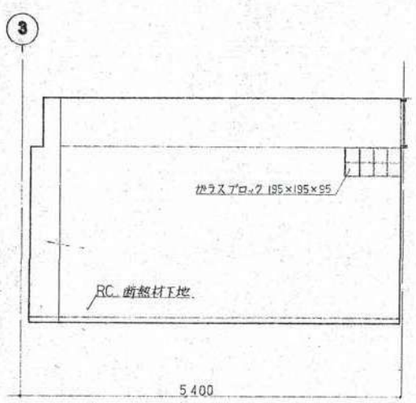


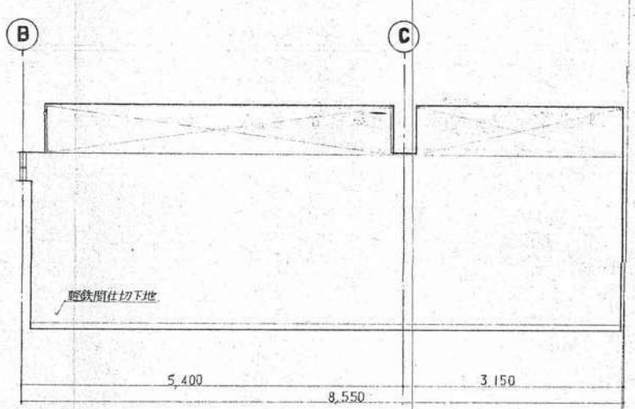


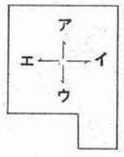
物量 3











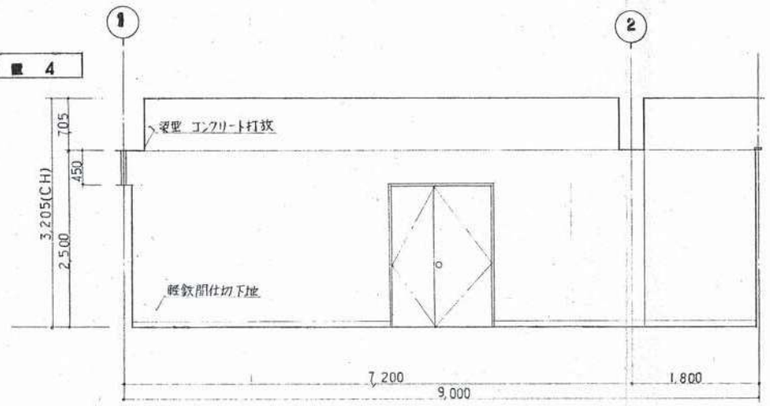
	物量 1	物量 2	物量 3
床	防塵用塗床	防塵用塗床	防塵用塗床
巾木	ネオパールスキン吹付コテ押エ	ネオパールスキン吹付コテ押エ	ネオパールスキン吹付コテ押エ
壁	断熱材下地 ネオパールスキン吹付コテ押エ	断熱材下地 ネオパールスキン吹付コテ押エ	ネオパール スキン吹付コテ押エ仕上
	一部 セメント中空押出形成板T60mm E.P.	一部 セメント中空押出形成板T60mm E.P.	一部 石コウボードT12mm E.P. 一部 セメント中空押出形成板T60mm E.P.
天井	化粧 石コウボードT9mm	化粧 石コウボードT9mm	岩綿吸音コテ押エT30ミリ
備考			

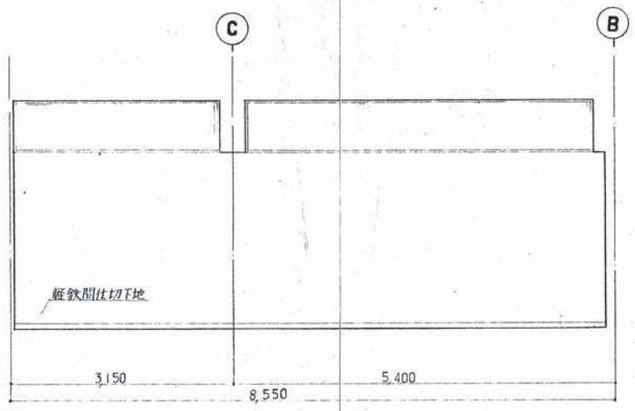
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

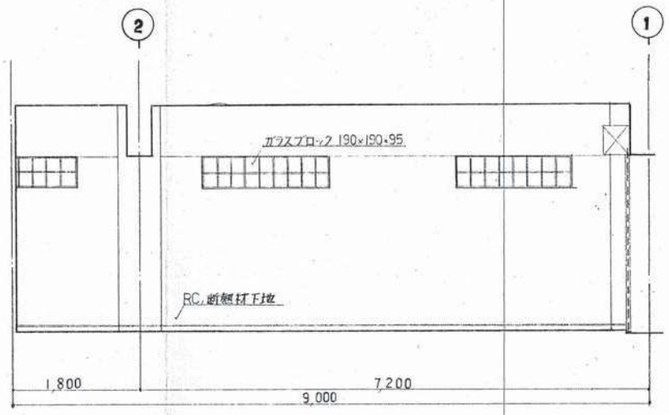
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦

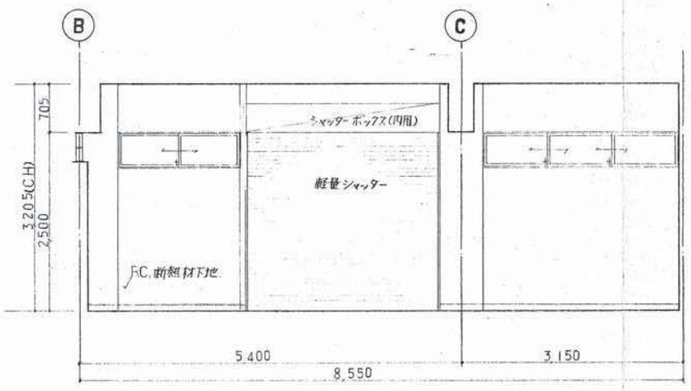
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体 展開図1
			図番 保Ａ－23

物置 4

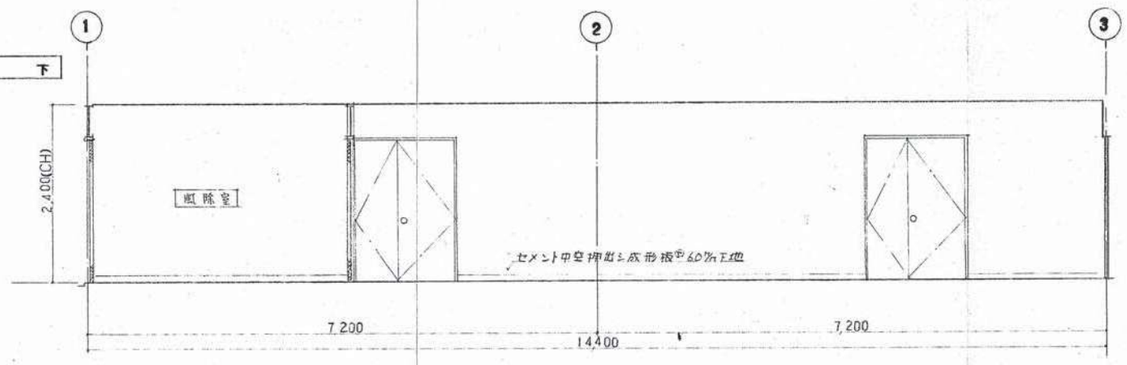


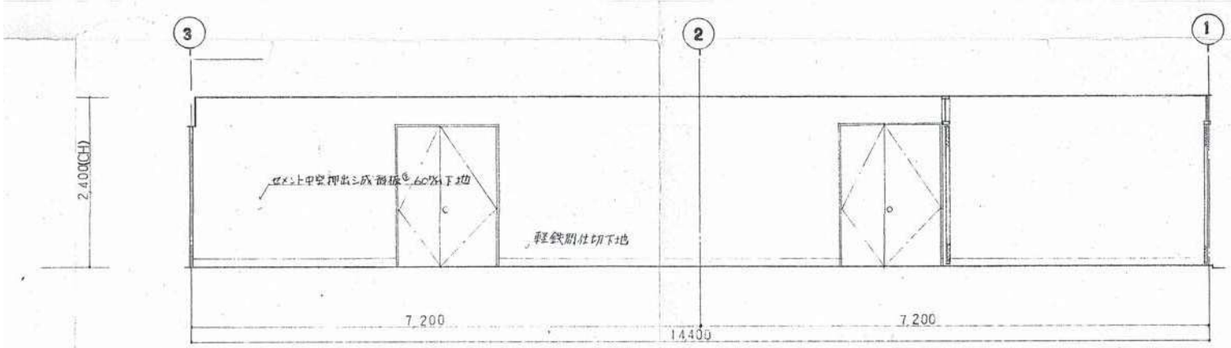


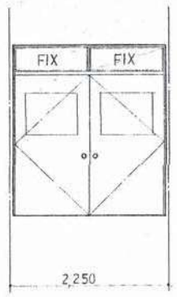




廊下



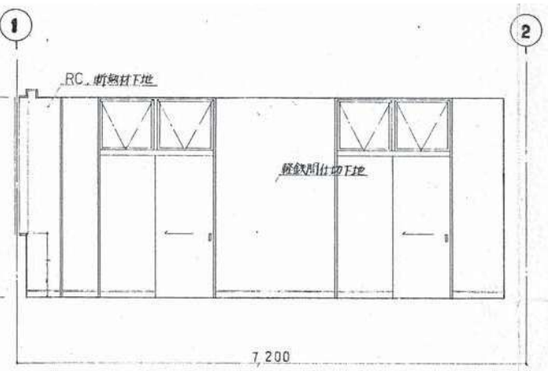


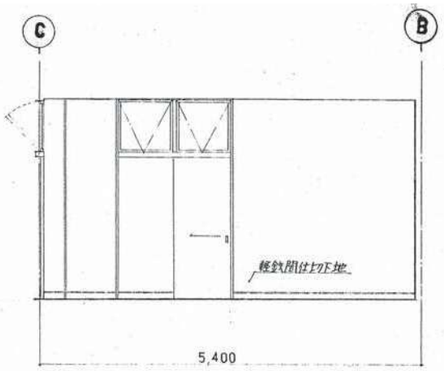


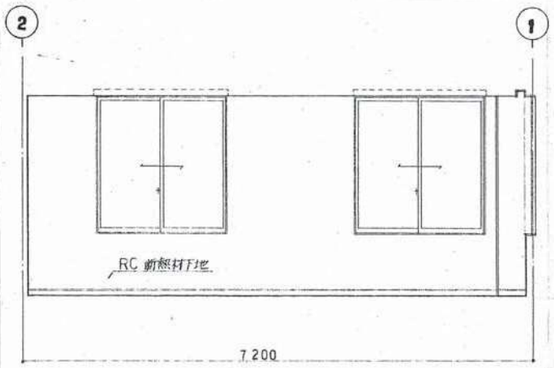
	物置 4	廊下
床	防塵用塗床(クリーンフロアー)	防塵用塗床(クリーンフロアー)
巾木	ネオパールスキン吹付コテ押エ	ソフト巾木
壁	ネオパールスキン吹付コテ押エ仕上	石膏ボード@12%張 A.E.P
天井	岩綿吹付コテ押エ@30%t	化粧石膏ボード張@9%t
備考	壁一部石膏ボード@12%E.P	壁一部セメント中空押出し成形板@60%張 E.P

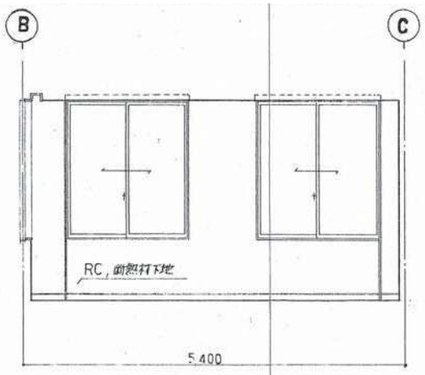
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
			縮尺 NON	図面名 解体　展開図2	図番 保Ａ－24

健康相談室
診察室

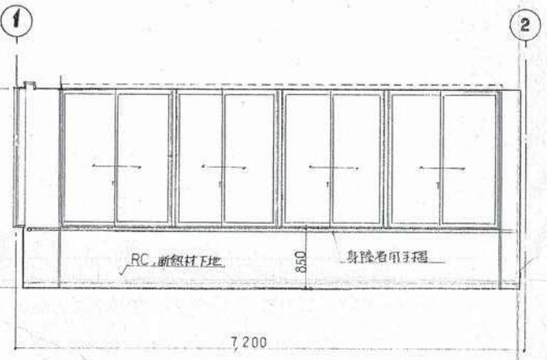


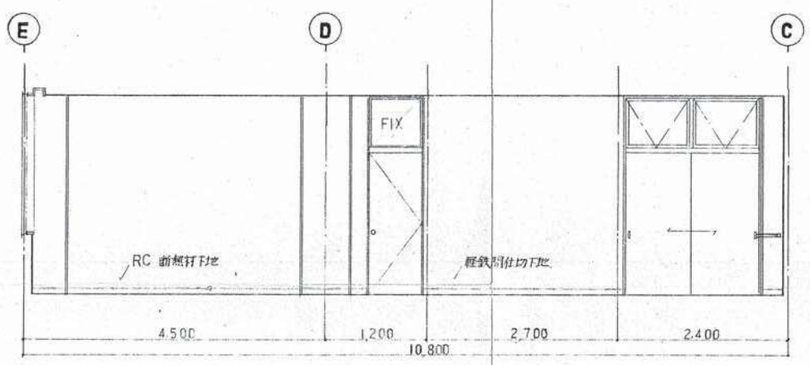


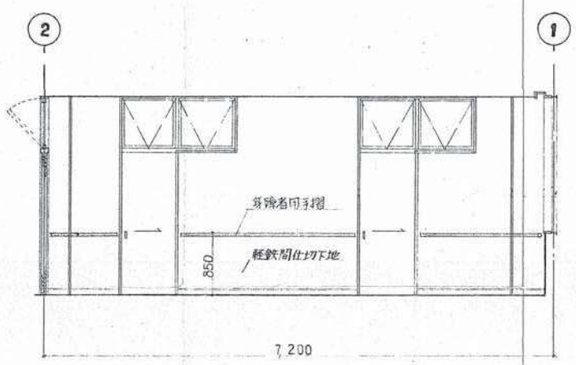


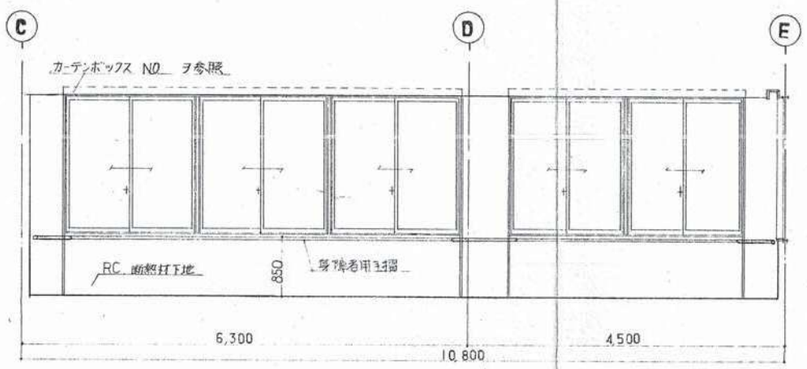


機能訓練室

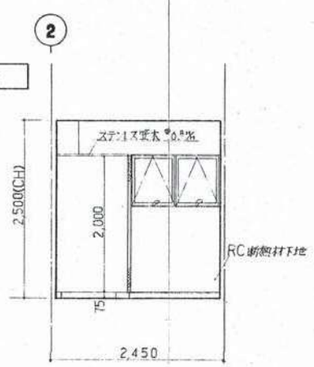


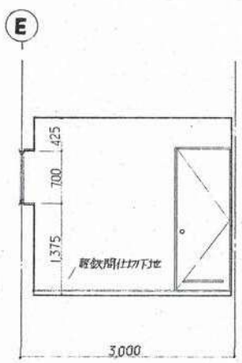


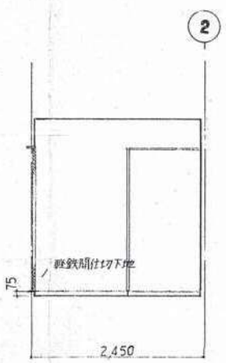


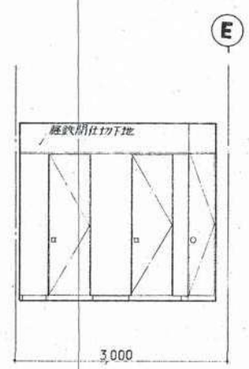


女子便所

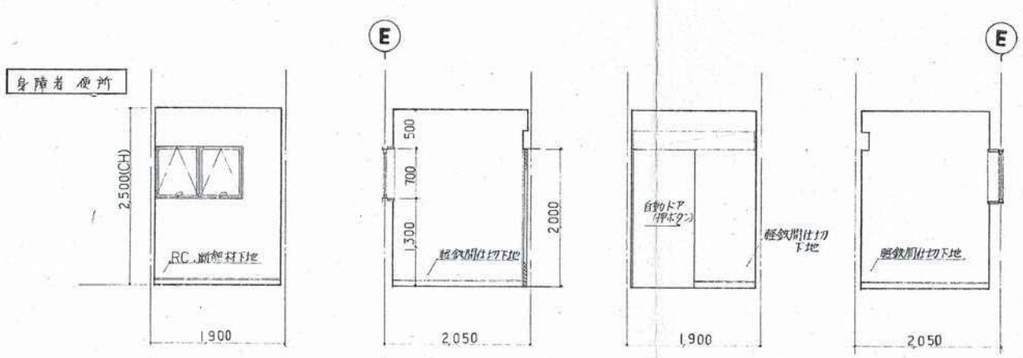








身障者便所

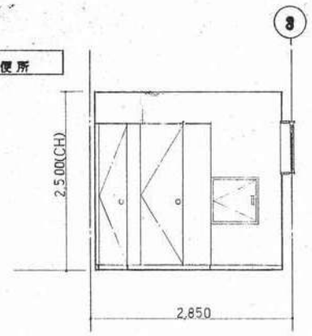


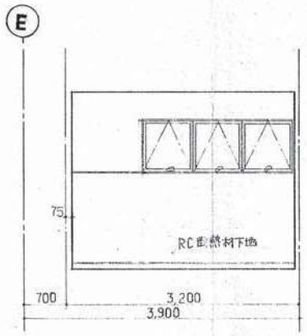
	建康相談室 診察室	機能訓練室	女子便所	身障者便所
床	モルタル下地 ロンリューム(マーブル) @2.5%t	モルタル下地 ロンリューム(マーブル) @2.5%t	モルタル下地 塗床(リオファイン)	モルタル下地 塗床(リオファイン)
巾木	ソフト巾木	ソフト巾木	リオファイン 立上げ	リオファイン 立上げ
壁	石膏ボード @12.5%t 下地 ビニールクロス貼	石膏ボード @12.5%t 下地 ビニールクロス貼	耐水ボード下地 弾性タイル貼付	耐水ボード下地 弾性タイル貼付
天井	石膏ボード @9.5%t 下地 岩綿吸音板 @12.5%t (ダイケンルック)	石膏ボード @9.5%t 下地 岩綿吸音板 @12.5%t (ダイケンルック)	化粧 石膏ボード @9.5%t 張	化粧 石膏ボード @9.5%t 張
備考			壁一部モルタル下地弾性タイル貼付	壁一部モルタル下地 弾性タイル貼付

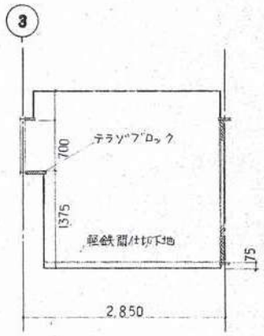
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

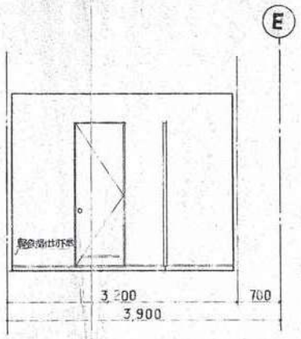
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体　展開図3
			図番 保Ａ－25

男子便所

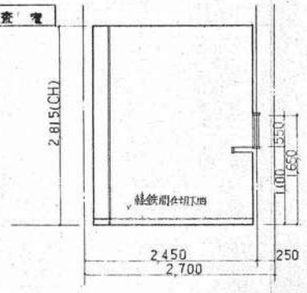


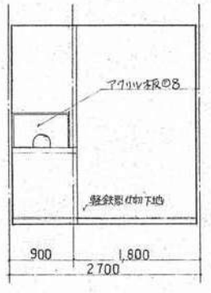




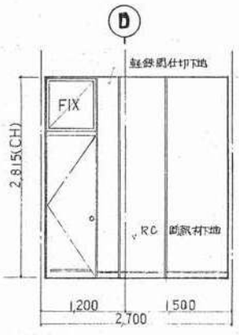


検査室

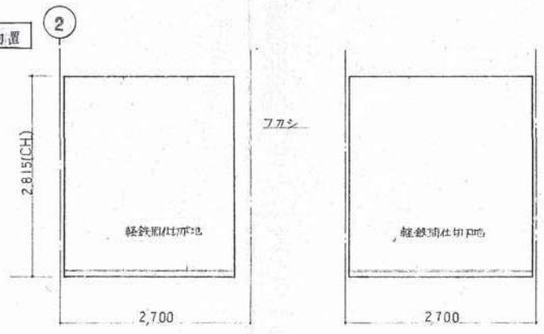


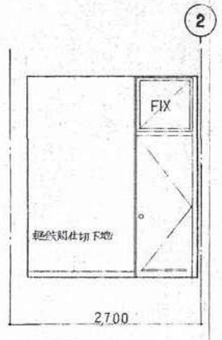


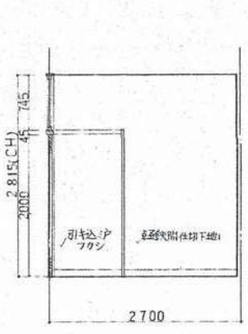




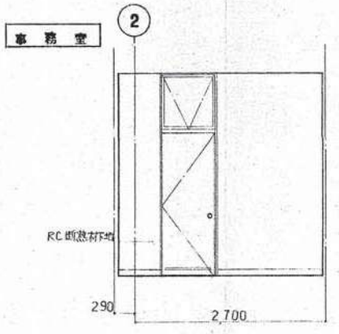
資料保管物置

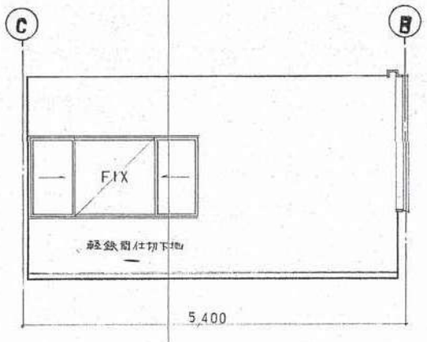


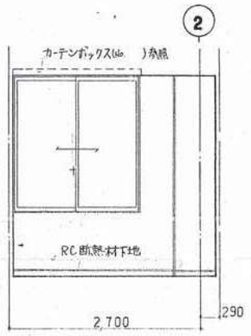


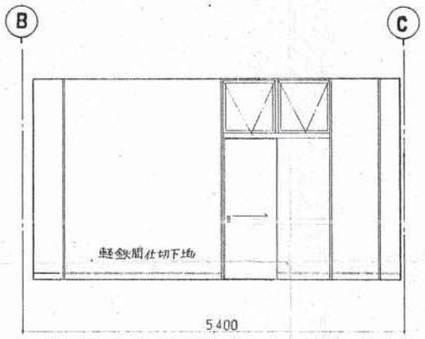


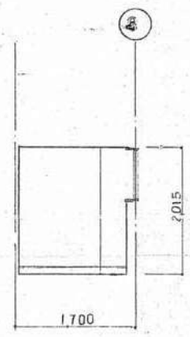
車務室

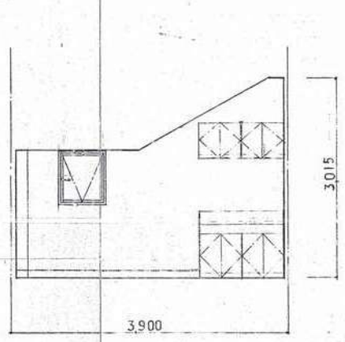


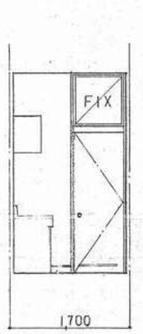


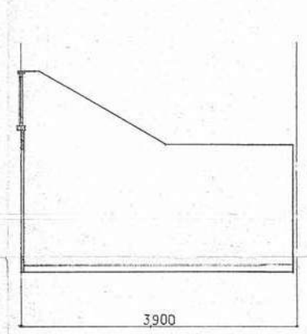












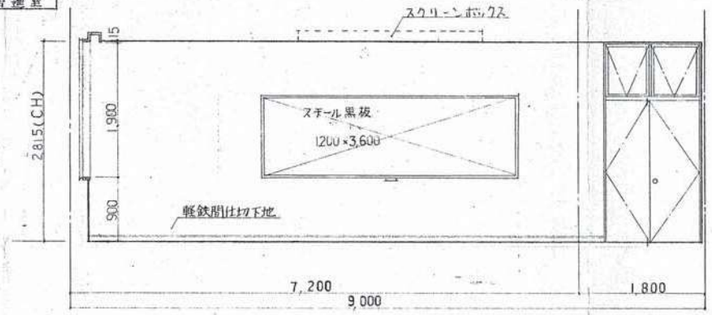
	男子便所	検査室	資料保管物置	車務室	湯沸室
床	モルタル下地 塗床(リオファイン)	モルタル下地、半硬質ビニールタイル貼 @2%	モルタル下地、半硬質ビニールタイル貼 @2%	モルタル下地、ロンリューム(マーブル) @2.5%	モルタル下地 クッションフロア @2.5%
巾木	リオファイン・立上げ	リフト巾木	リフト巾木	ソフト巾木	ソフト巾木
壁	耐水ボード@12(石レ工法) 準性タイル吹付	石膏ボード @12% AEP	石膏ボード @12% AEP	石膏ボード@12%下地ビニールクロス貼	石膏ボード@12%下地 ビニールクロス貼
天井	化粧 石膏ボード @9%張	石膏ボード @9%目違い張 AEP	石膏ボード@9%目違い張 AEP	石膏ボード@9%下地 岩綿吸音板@12% (ダイケンクイーン)	ネオパールスキン吹付コテ押エ
備考	壁一部モルタル下地準性タイル吹付				

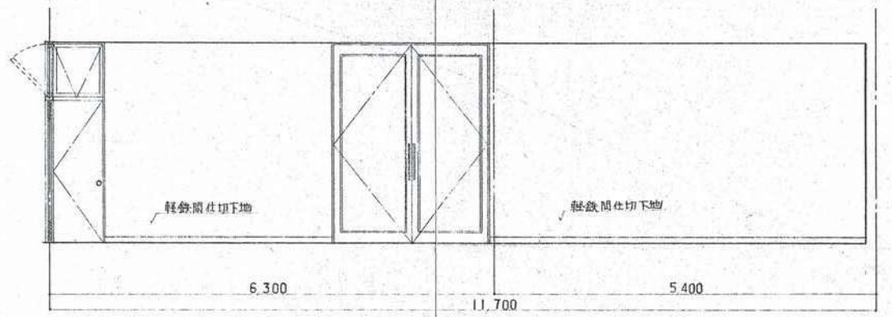
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

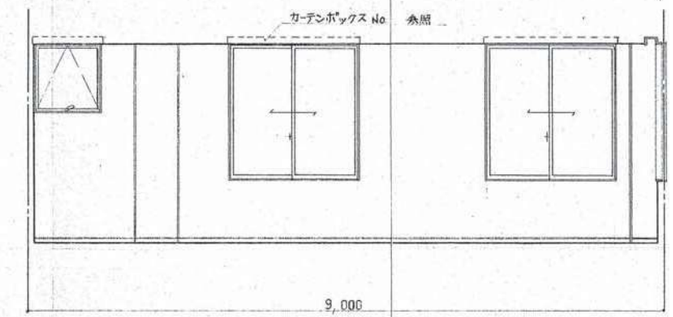
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

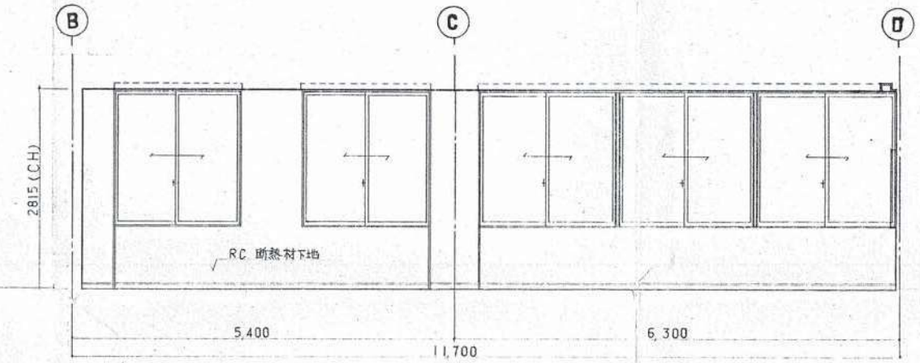
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体　展開図4
			図番 保Ａ－26

健康増進室

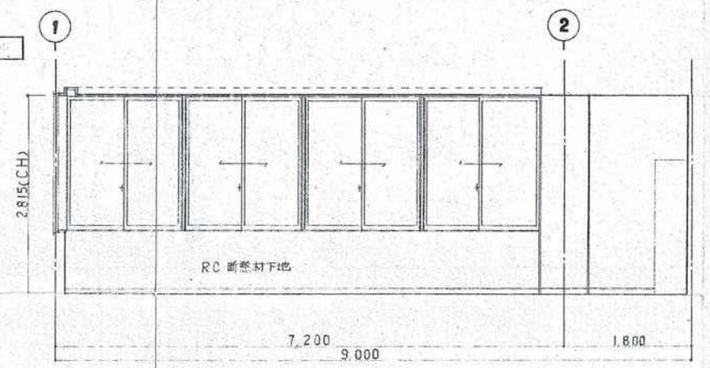


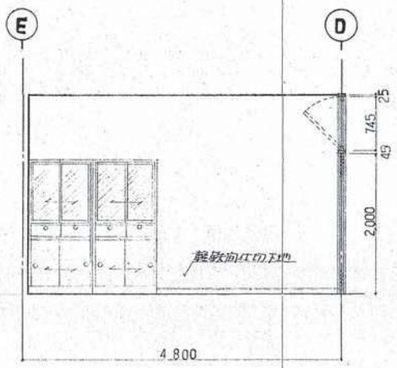


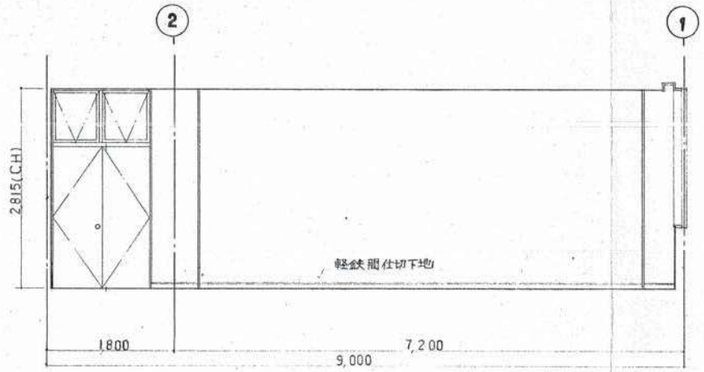




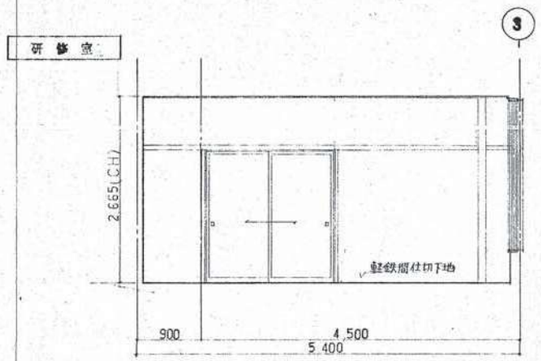
調理実習室

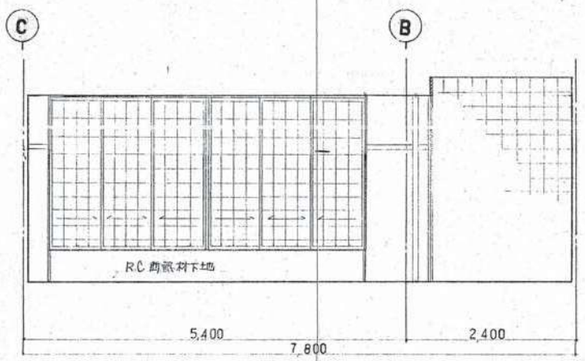


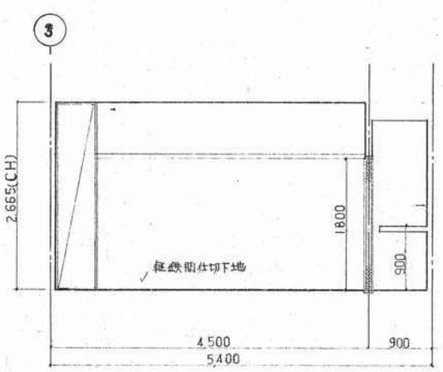


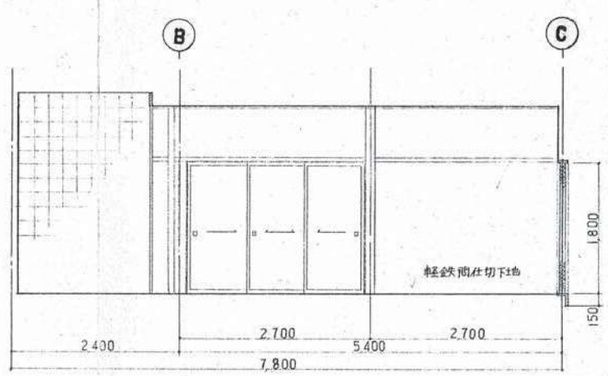


研修室









	健康増進室	調理実習室	研修室
床	モルタル下地 ロンリューム(マーブル) ㊦2㍉	モルタル下地 クッションフロアー ㊦2㍉	断熱材下地 畳敷(床変色) 一部ラインフロアー㊦5㍉貼
巾木	ソフト巾木 H=75	ソフト巾木 H=75	杉小節
壁	石膏ボード ㊦12㍉下地 ビニールクロス貼	石膏ボード ㊦12㍉ 下地ビニールクロス貼	ラスボード下地 ㊦7㍉ 新京壁
天井	石膏ボード ㊦9㍉ 下地 ロックウール吸音板 ㊦19㍉	石膏ボード ㊦9㍉ 吸音板 ㊦12㍉	石膏ボード ㊦9㍉ 下地 ビニールクロス貼
備考			

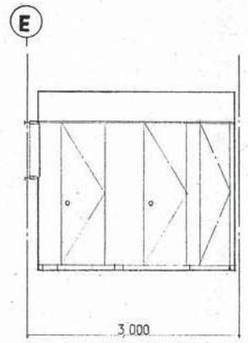
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

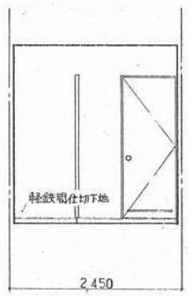
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

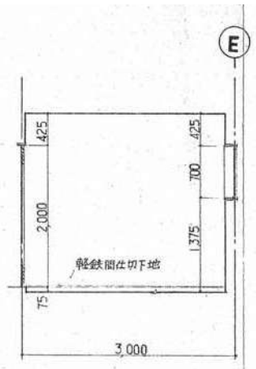
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体　展開図5
			図番 保Ａ－27

女子便所



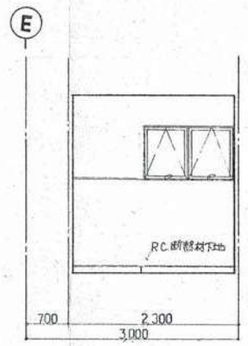




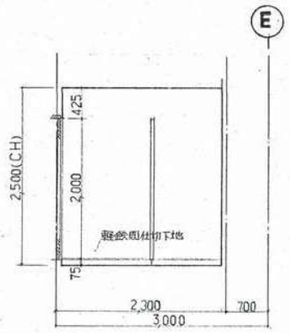


男子便所

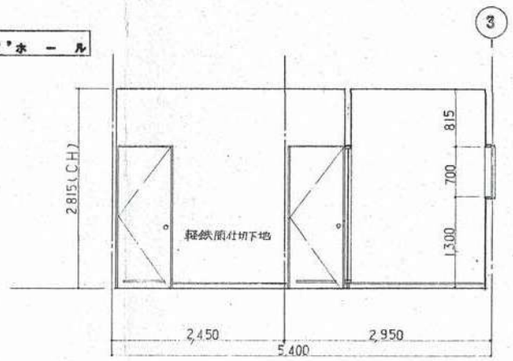


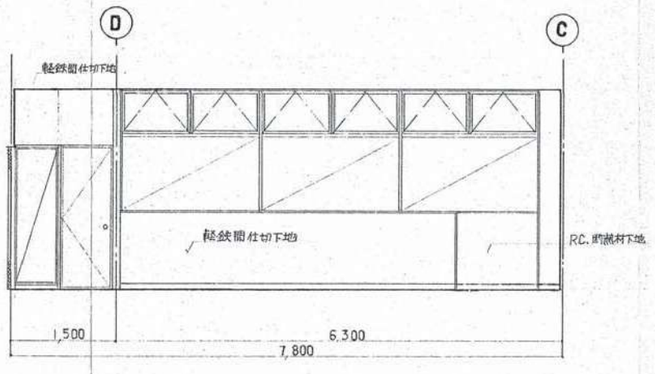


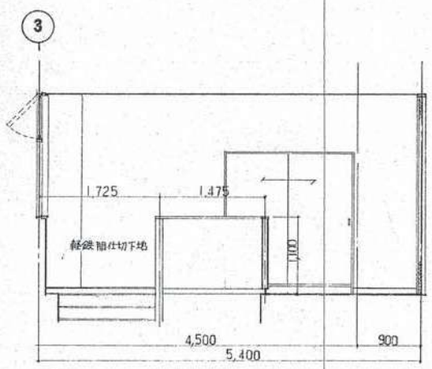


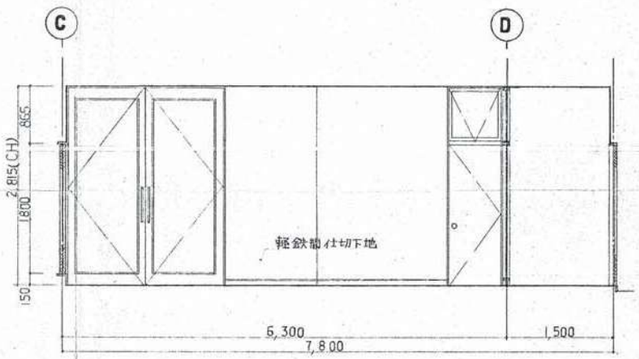


階段室・ホール





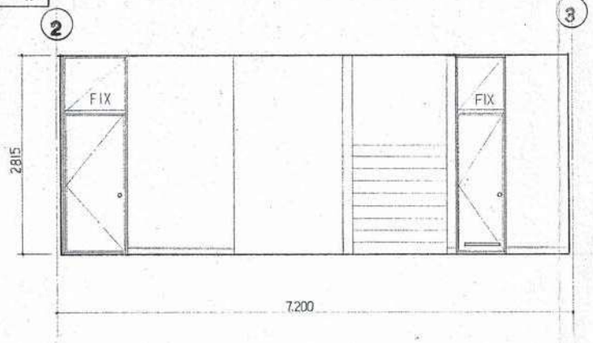


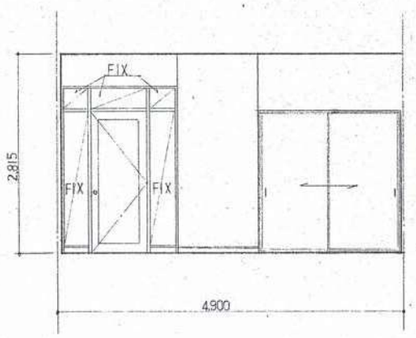


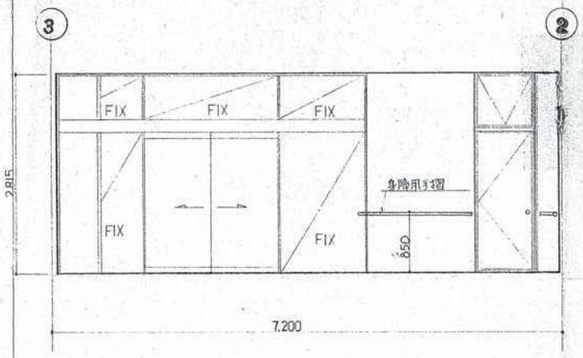
	女子便所	男子便所	階段室・ホール
床	モルタル下地 塗床(リオファイン)	モルタル下地 塗床(リオファイン)	モルタル下地 ロンリューム @2%t
巾木	リオファイン 立上げ"	リオファイン 立上げ"	ソフト巾木 H=75
壁	耐水ボード@12%t下地 ・弾性タイル吹付	耐水ボード@12%t下地 ・弾性タイル吹付	石膏ボード @12%t ビニールクロス貼
天井	化粧 石膏ボード @9%t張	化粧 石膏ボード @9%t張	石膏ボード @9%t 岩綿吸音板 @12%t
備考			

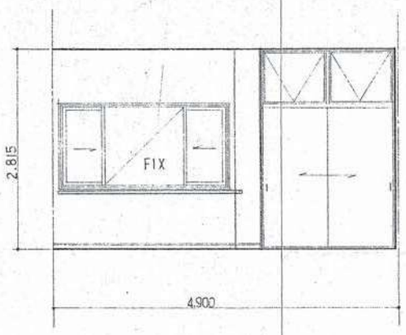
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
			縮尺 NON	図面名 解体　展開図6	図番 保Ａ－28	

2Fホール

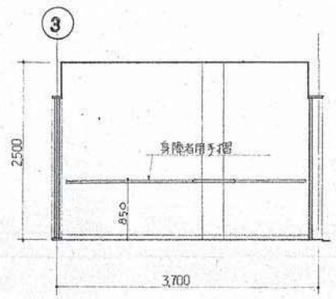


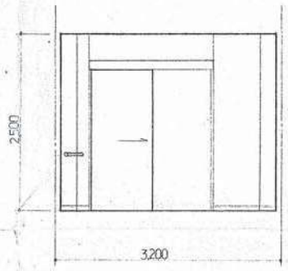


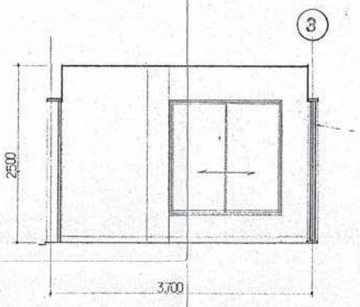


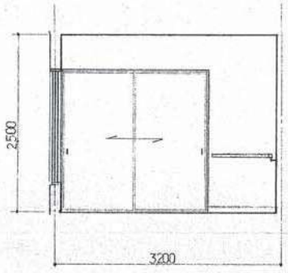


身障者 入口 脱衣室









床	木
巾	
壁	
天井	
備考	

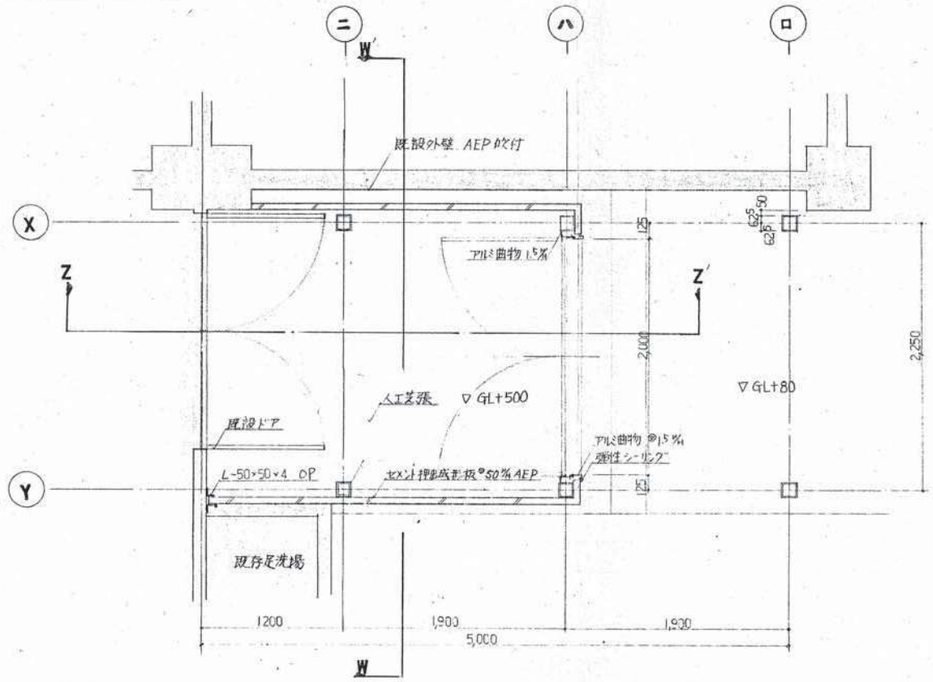
2Fホール
モルタル下地 ロンリウム@2%
ソフト巾木
石コウボード@12%ビニールクロス貼
石コウボード@9%下地,岩綿吸音板@12%貼

身障者入口 脱衣室
モルタル下地 クッションフロアー@2.3%
ソフト巾木
石コウボード@12%ビニールクロス貼
石コウボード@9%下地 岩綿吸音板@12%

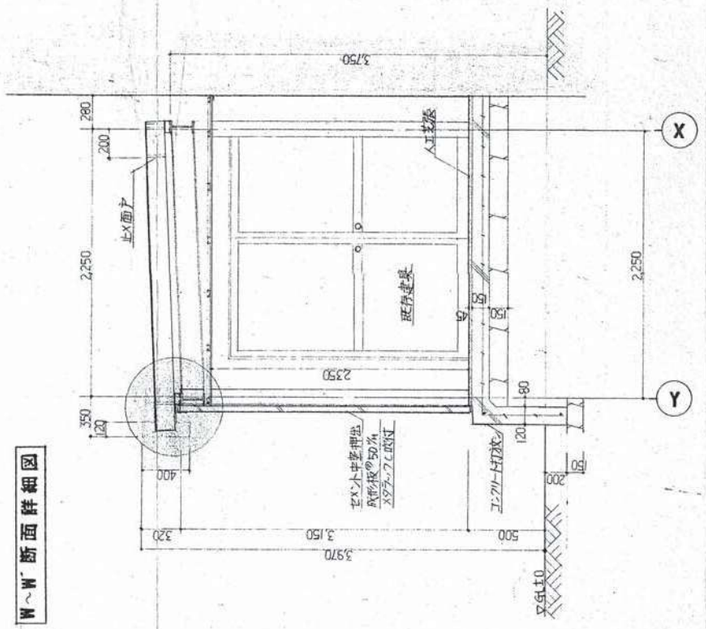
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

検印	担当印	日付	件名	
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事	
		縮尺 NON	図面名 解体　展開図7	図番 保Ａ－29

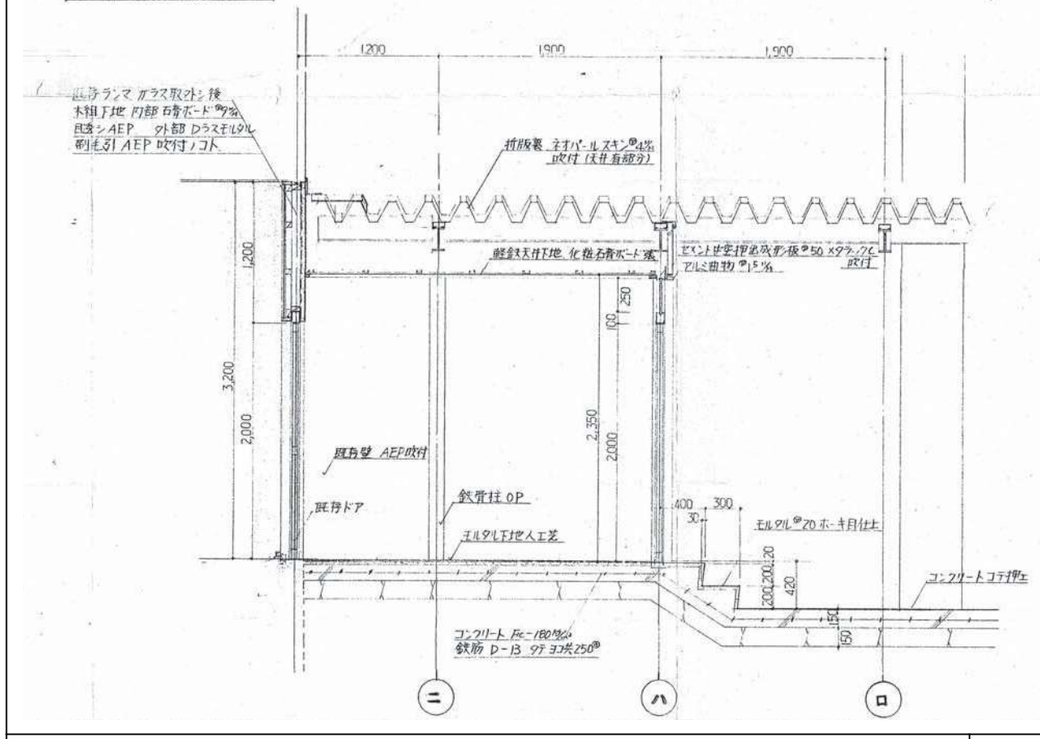
風除室 平面図

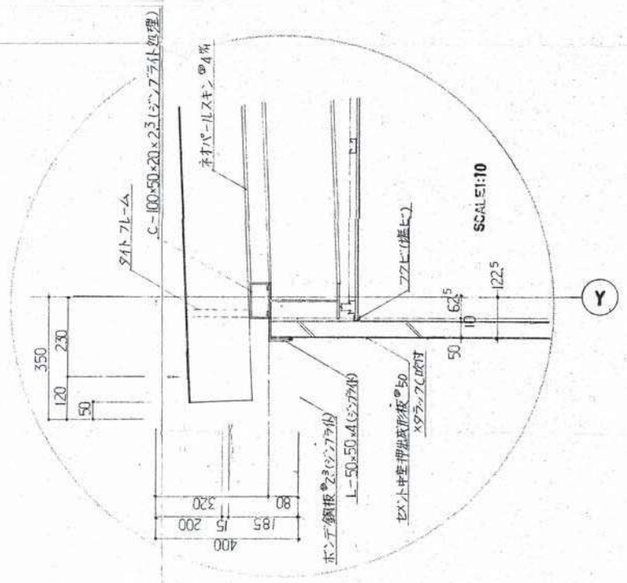


W～W' 断面詳細図



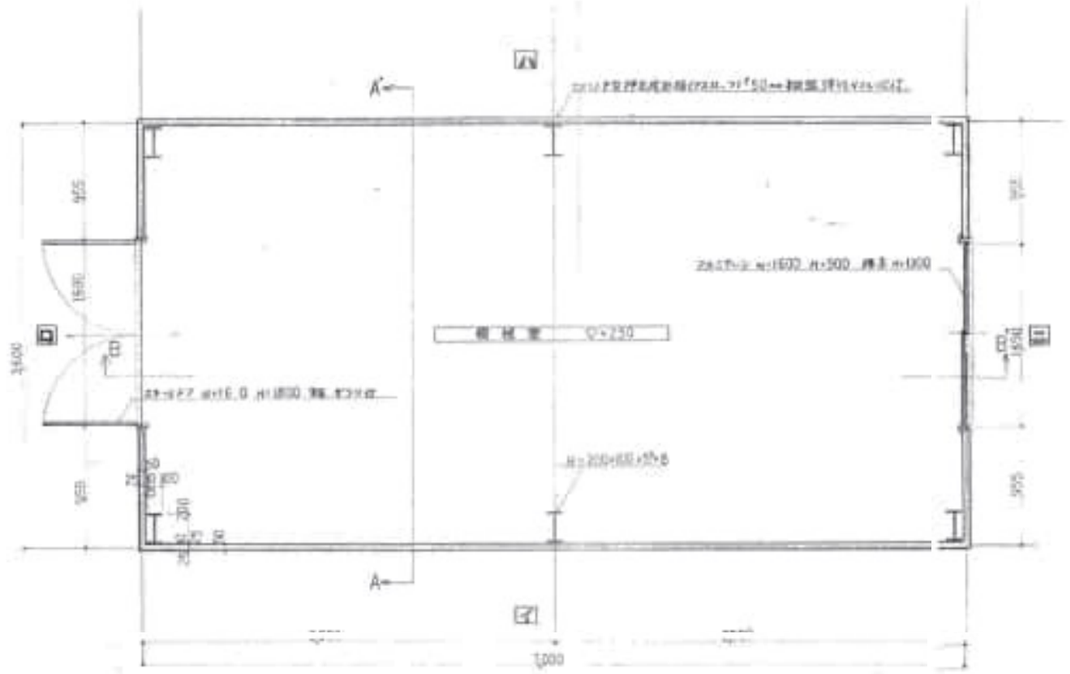
Z~Z' 断面詳細図



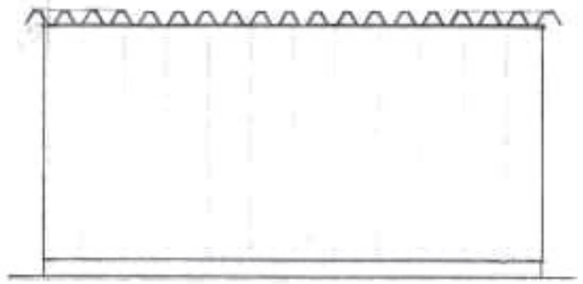


1. 既存土間ノ既存風除室撤去ノコト
2. 鉄筋、外壁ノ受材等ハ全テ既存壁ヨリオールアンカーデ接続ノコト
3. 取合等デ破損箇所ハ全テ補修ノコト

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
				縮尺 NON	図面名 解体　風除室・各詳細図	図番 保Ａ－30	



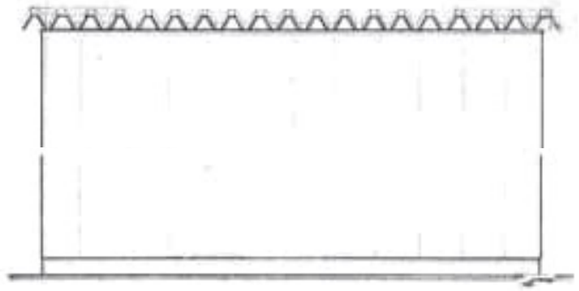
平面詳細図 SCALE:1/50



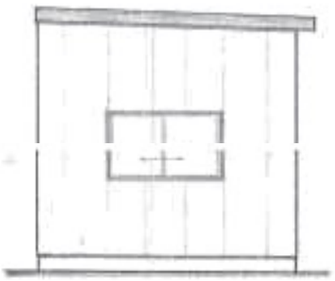
イ立面図 SCALE:1/50



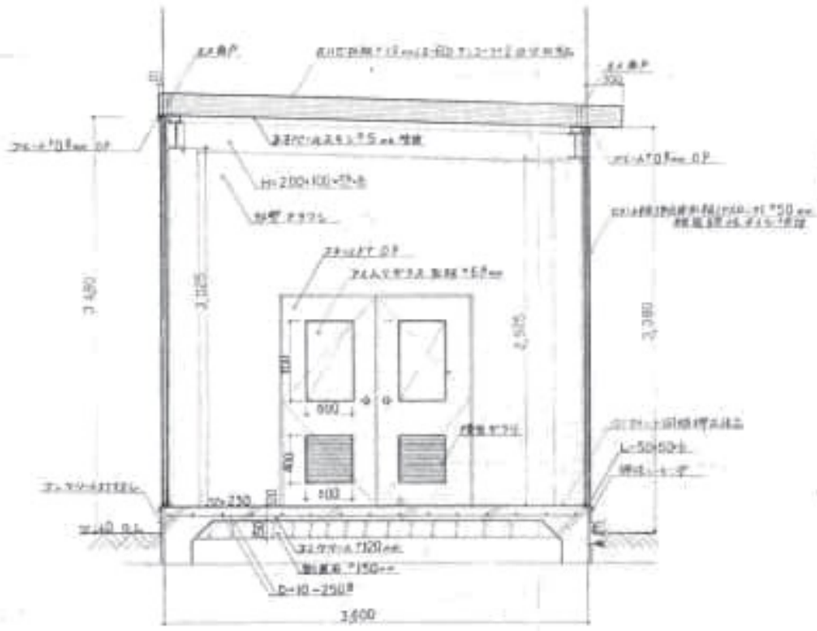
ロ立面図 SCALE:1/50



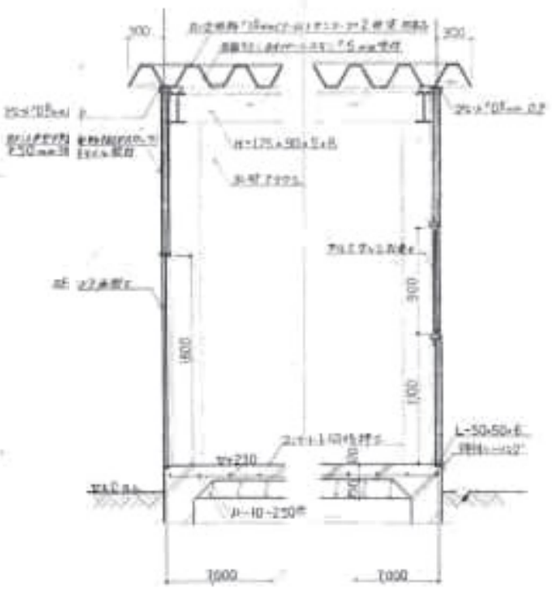
ハ立面図 SCALE:1/50



ニ立面図 SCALE:1/50



A-A' 断面詳細図 SCALE:1/50



B-B' 断面詳細図 SCALE:1/50

面積表

敷地面積		
建築面積	25.2	M²
床面積	25.2	M²

構造概要

設計基準強度	
使用コンクリート	FC 180 kg/cm²
使用鋼材	SS 41 (SM41 HTB)
使用鉄筋	SD 30

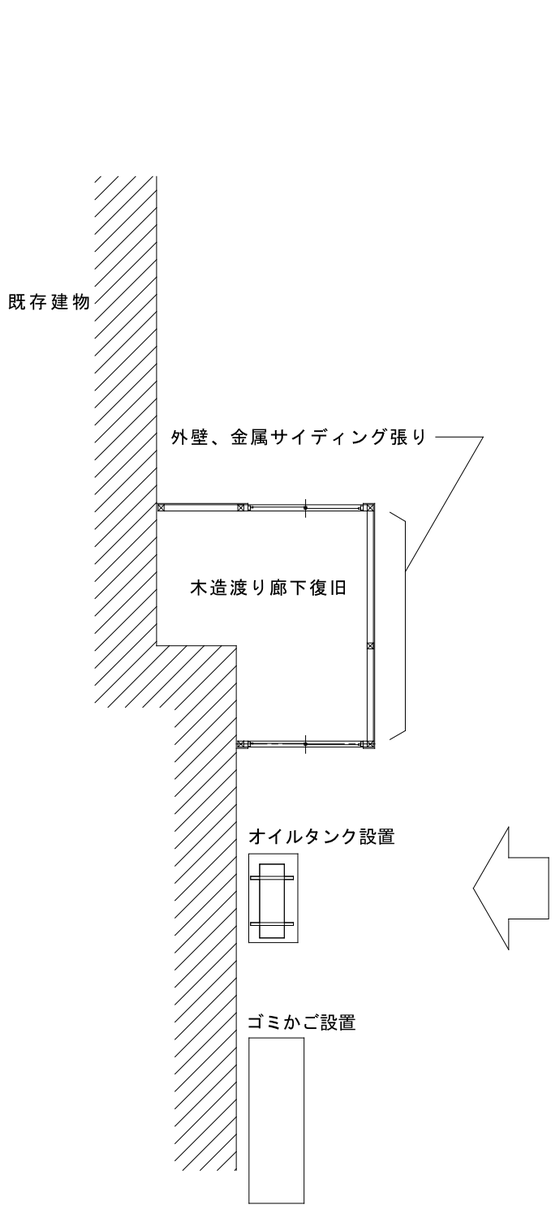
外部仕上表

屋根	既存折板 t=0.5mm (S5-610) サンコーテック2回塗装仕様
壁	ALCパネル縦張り t=50mm 横張 押縁ビス留め
基礎巾り	コンクリート打放し

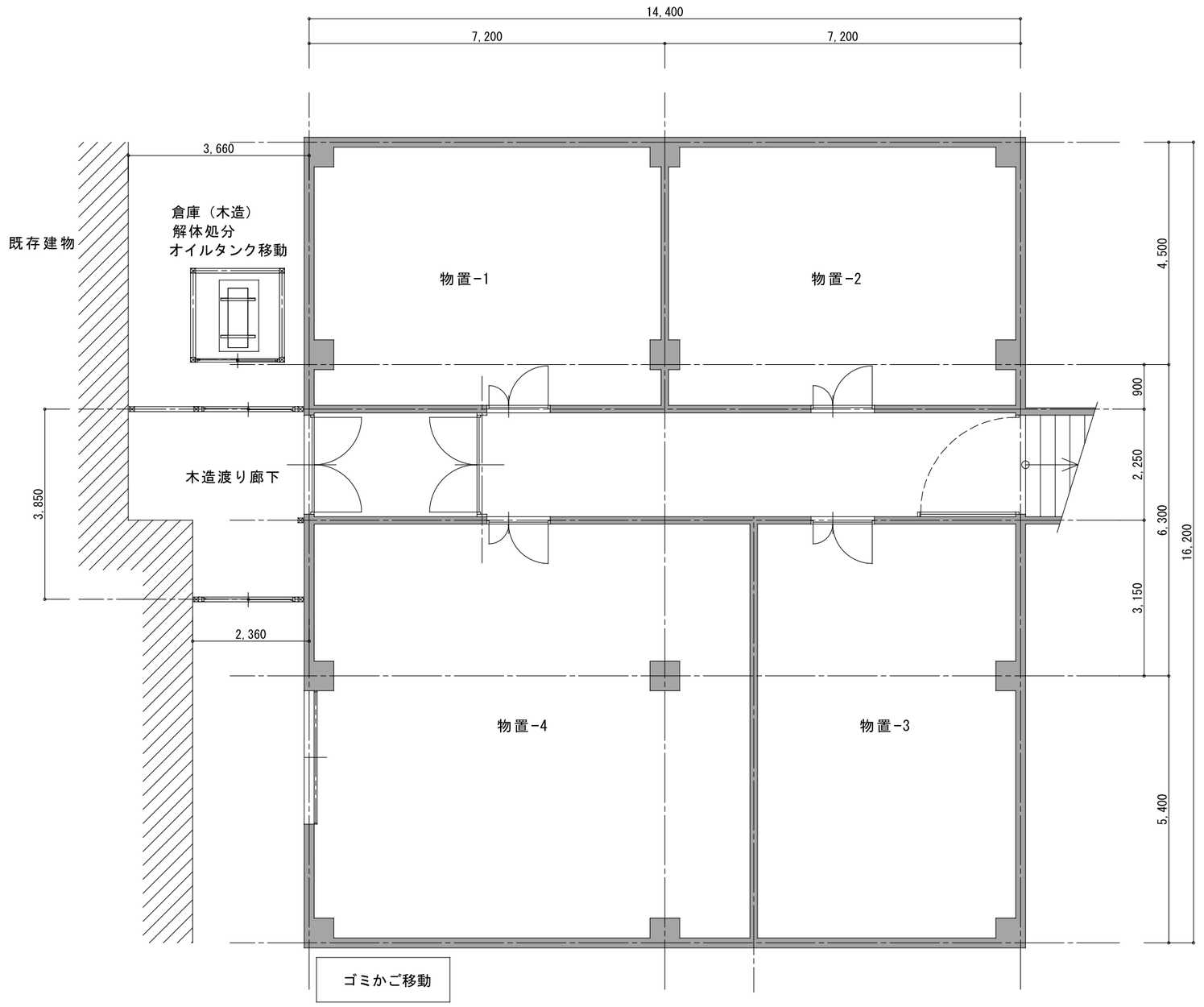
内部仕上表

床	コンクリート金ゴテ仕上げ
腰	木製 アクセント
天井	羽目板アクセント (野縁ウラ ALCパネル t=0.5mm張り)

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
			縮尺 NON	図面名 解体　機械室　平面・断面詳細図・立面図	図番 保Ａ－31	

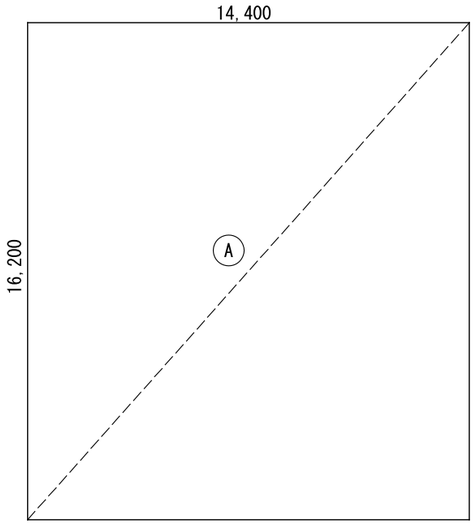


解体後平面図　S=1/100

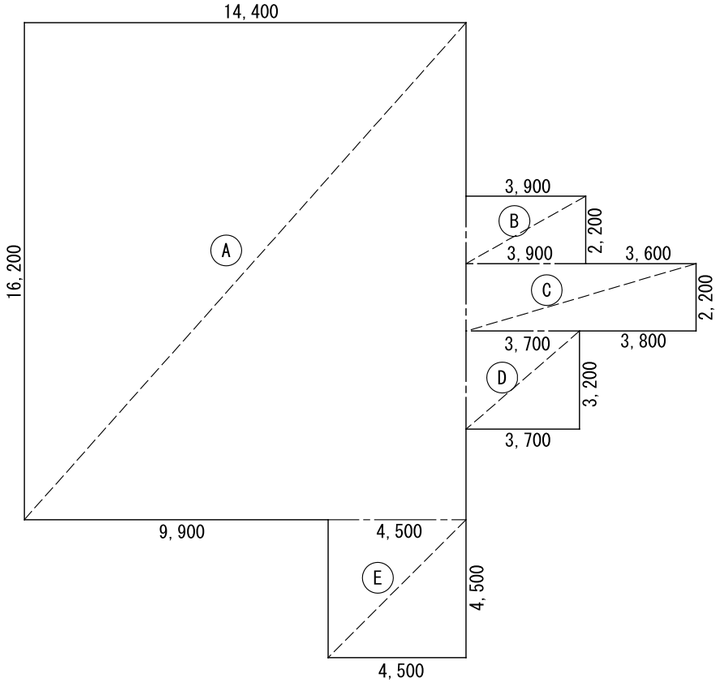


既存平面図　S=1/100

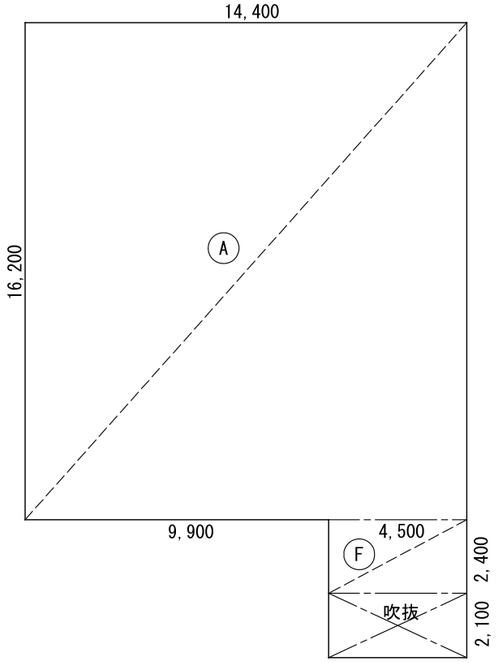
	株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 渡り廊下改修図	図番 保Ａ－32



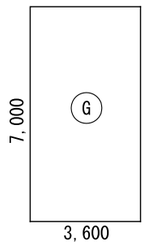
保健センター1階求積図



保健センター2階求積図



保健センター3階求積図



機械室求積図

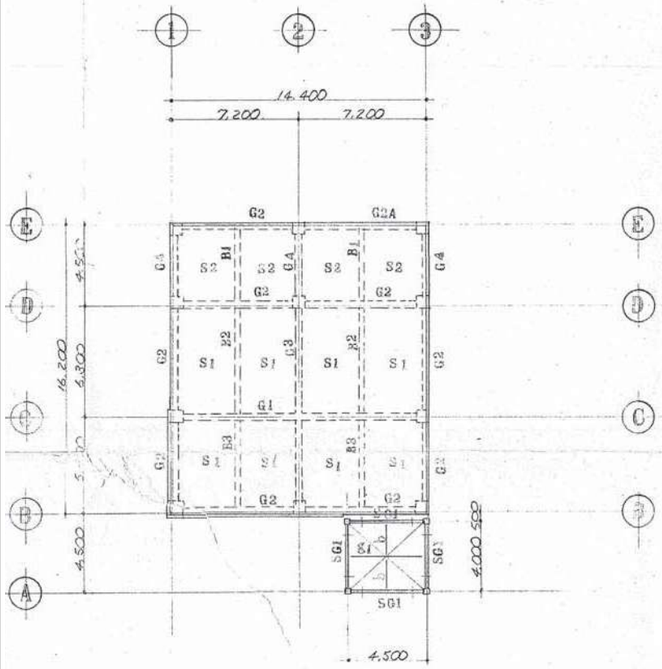
符号	計算式	積
A	14.4 × 16.2	233.28
B	3.9 × 2.2	8.58
C	7.5 × 2.2	16.5
D	3.7 × 3.2	11.84
E	4.5 × 4.5	20.25
F	4.5 × 2.4	10.8
G	7.0 × 3.6	25.2

保健センター（3階建て）		
1階床面積	A	233.28
2階床面積	A B C D E	290.45
3階床面積	A F	244.08
延べ床面積		767.81㎡

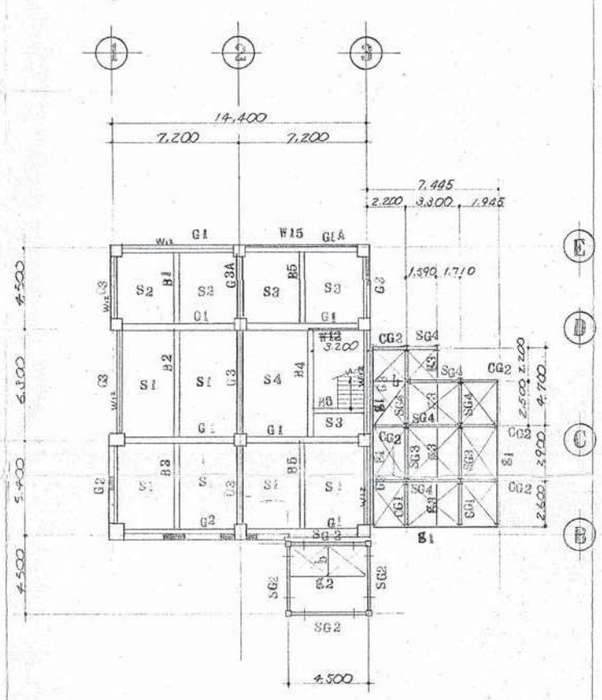
機械室（平屋建て）		
床面積	G	25.2㎡

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦

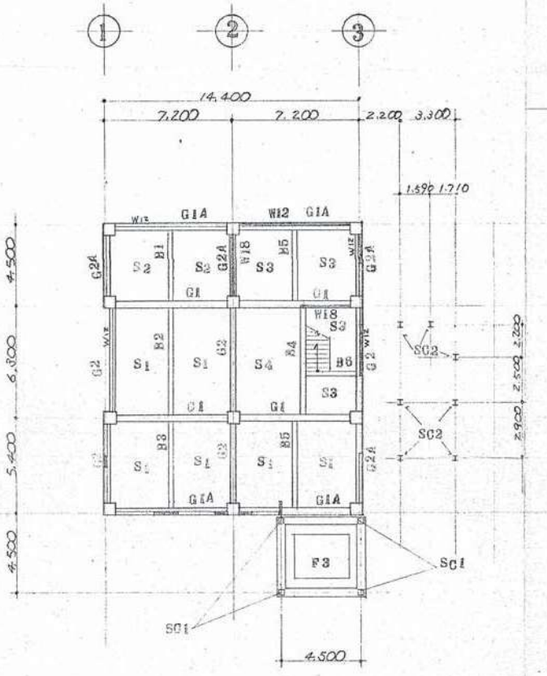
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 求積図・求積表
			図番 保Ａ－33



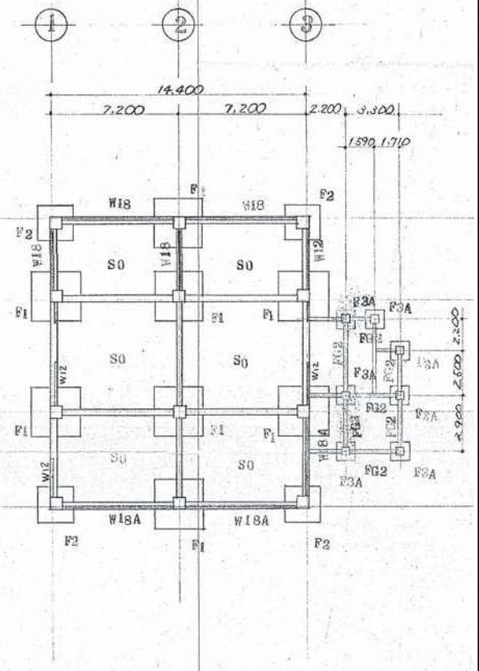
R 階 梁 伏 図　　縮 尺 1:200



3 階 梁 伏 図　　縮 尺 1:200



2 階 梁 伏 図　　縮 尺 1:200



基 礎 伏 図　　縮 尺 1:200

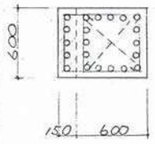
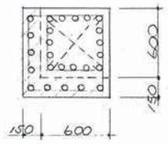
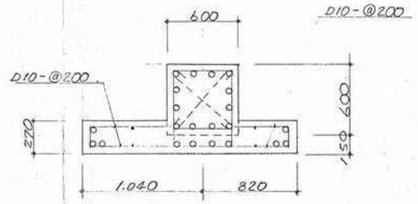
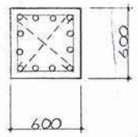
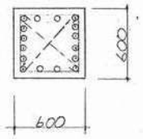
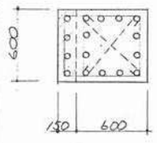
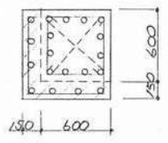
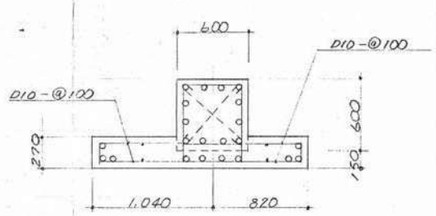
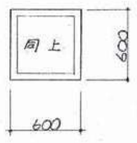
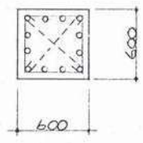
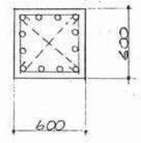
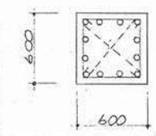
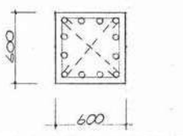
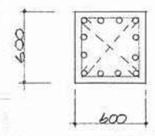
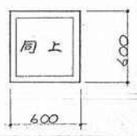
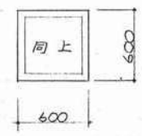
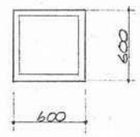
特記外土台 甲 梁 ハ 全テ FG1 トスル

鉄 骨 部材リスト表

記 号	部材リスト	備 考	記 号	部材リスト	備 考
SG1	H-250×125×6×9		SG3 CG1	H-294×200×8×12	
SG2	H-200×200×8×12		SG4 CG2	H-300×150×6.5×9	
G1	H-250×125×6×9	F2-9 HTB 2-M22	G3	H-175×90×5×8	F2-6 HTB 2-M16
G2	H-200×100×5.5×8	F2-6 〃 2-M20			
b	2C-100×50×20×2.3	〃 中Bolt 2-M12	SC2	H-200×200×8×12 (=F2-9)	同
SC1	□-200×200×8.0		張り間下(A)ヤネブレース	RB 16φ	F2-6 HTB 1-M16φ
水平ブレース(2-3間)	RB 19φ	F2-6 HTB 1-M20			

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦	検 印	担当印	日 付 2026.8月	件 名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮 尺 NON	図面名 解体　基礎伏図・梁伏図	図 番 保Ｓ－01

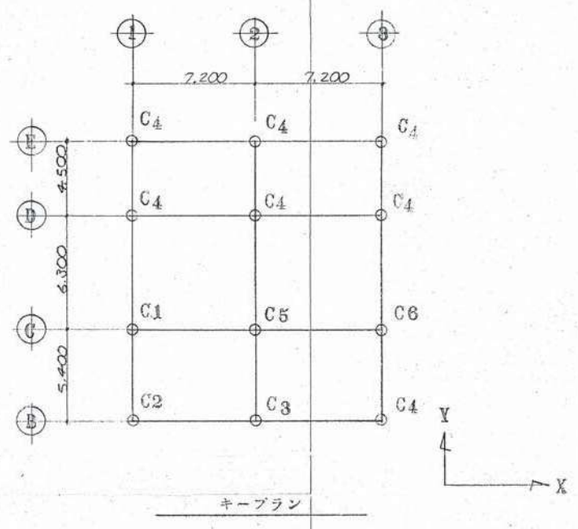
柱リスト

記号	C1	C2	C3	C4	C5	C6
3階 断面						
主筋	21－D22	25－D22	22－D22	12－D22		12-D25 4-D22
フープ	D10－@100	D10－@100	D10－@100	D10－@100		D10－@100
2階 断面						
主筋	16－D22	19－D22	22－D22	12－D22	12－D22	12－D22
フープ	D13－@150	D13－@150	D10－@100	D10－@100	D10－@100	D10－@100
1階 断面						
主筋	12－D22	12－D22	12－D22	12－D22	12－D22	12－D22
フープ	D10－@100	D10－@100	D10－@100	D10－@100	D10－@100	D10－@100

共通事項

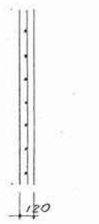
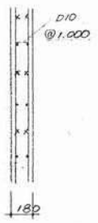
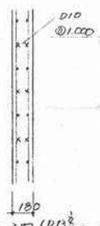
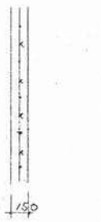
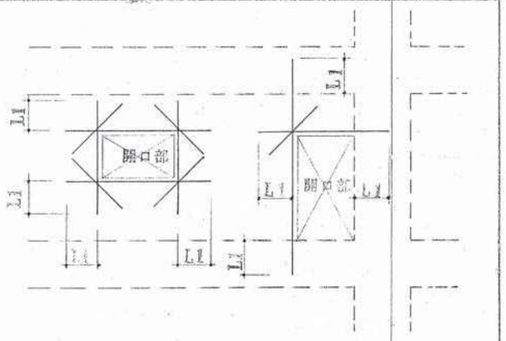
コンクリート：Fc≧210 kg/cm² 鉄筋は SD295A, SD30

※ 補強筋 D10－@600



キープラン

壁リスト

記号	W12	W18	W18A	W15	備考
断面					
縦筋	D10－@200	D10・D13－@250	D13－@100	D10・D13－@150	
横筋	D10－@200	D10・D13－@250	D10・D13－@200	〃	
開口部補強筋 縦筋	2－D13	2－D16	2－D16	2－D13	
開口部補強筋 横筋	2－D13	4－D16	4－D16	3－D13	
開口部補強筋 斜メ	1－D13	2－D13	2－D13	2－D13	

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　柱リスト	図番 保Ｓ－02

基礎梁

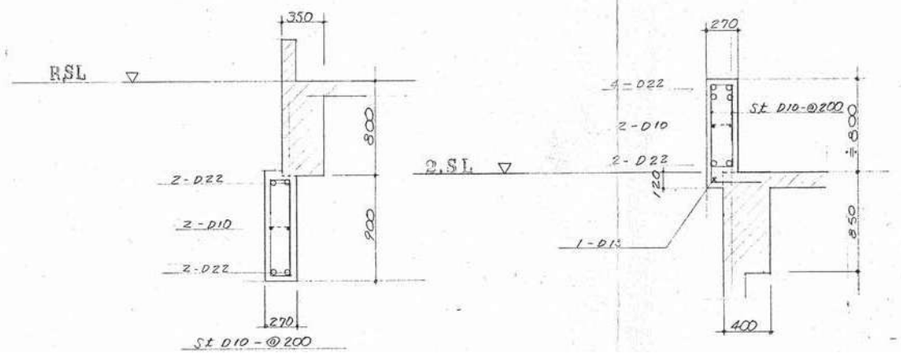
大梁・小梁リスト

記号	RG1		RG2		RG3		RG4		3G1		3G2	3G3	
位置	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	全断面	端部	中央部
断面													
上端筋	3-D25	3-D25	5-D22	2-D22	3-D25	3-D25	4-D22	2-D22	5-D22	2-D22	5-D22	4-D22	2-D22
下端筋	2-D25	7-D25	2-D22	3-D22	2-D25	6-D25	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	4-D22	2-D22	3-D22
ST	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	D10-@200	〃

記号	2G1		2G2		FG1	FG2	RG2A 3G1A	3G3A	2G1A 2G2A		
位置	端部	中央部	端部	中央部	全断面	全断面					
断面											
上端筋	5-D22	2-D22	4-D22	2-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22		
下端筋	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22		
ST	D10-@150	〃	D10-@150	〃	D10-@150	D10-@200	D10-@100	D10-@100	D10-@100		

記号	B1		B2		B3		B4		B5		B6				
位置	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部			
断面															
上端筋	2-D19	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19			
下端筋	2-D19	2-D19	3-D19	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	2-D19			
ST	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃	D10-@200	〃			

共通事項　コンクリート　210 kg/cm²　鉄筋は　SD30　腹筋　2-D10（特記外）　巾止　D10-@1,000（900）

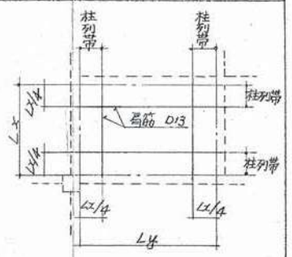


MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
			縮尺 NON	図面名 解体　梁リスト	図番 保Ｓ－03	

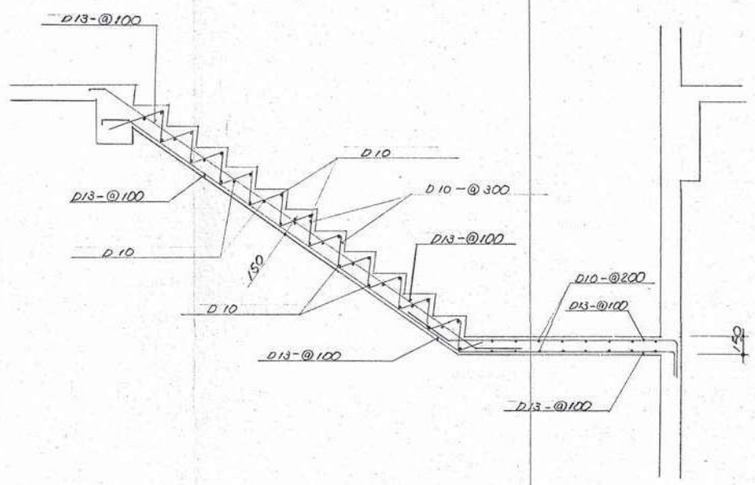
床版リスト

記号	厚	位置	短辺 柱間帯 端部	短辺 柱間帯 中央部	短辺 柱列帯 端部中央部	長辺 柱間帯 端部	長辺 柱間帯 中央部	長辺 柱列帯 端部中央部
S1	120	上端筋	D10.D13-@200	D10-@400	D10-@200	D10.D13-@250	D10-@500	D10-@250
		下端筋	D10-@400	D10.D13-@200	D10-@400	D10-@500	D10.D13-@250	D10-@500
S2	120	上端筋	D10-@200	D10-@400	D10-@300	D10-@200	D10-@400	D10-@300
		下端筋	D10-@400	D10-@200	D10-@400	D10-@400	D10-@200	D10-@400
S3	120	上端筋	D10-@250	→	→	D10-@250	→	→
		下端筋	D10-@250	→	→	D10-@250	→	→
S4	120	上端筋	D13-@200	D13-@400	D13-@300	D13-@250	D13-@500	D13-@300
		下端筋	D13-@400	D13-@200	D13-@400	D13-@500	D13-@250	D13-@500
S0	120		D10-@250	→	→	D10-@250	→	→

備考



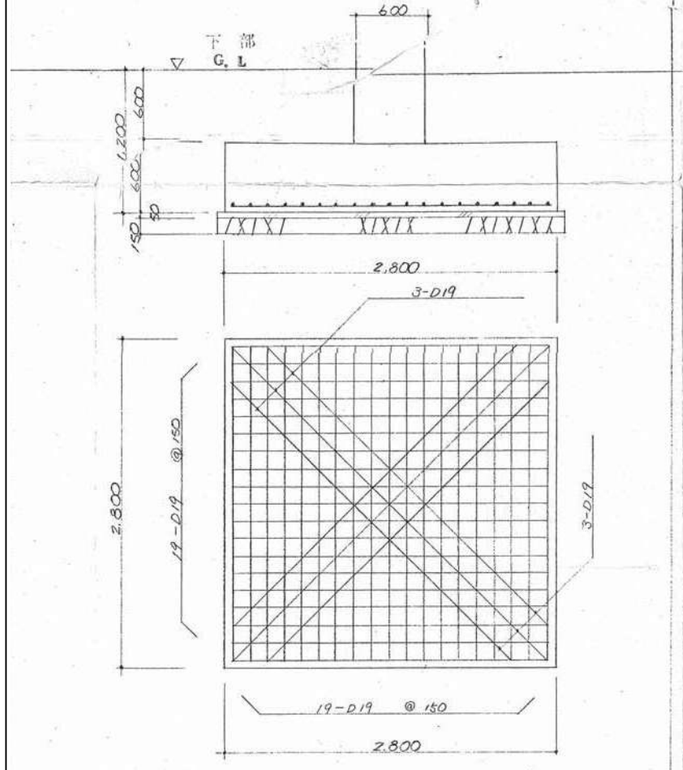
階段配筋図　縮尺 1:30



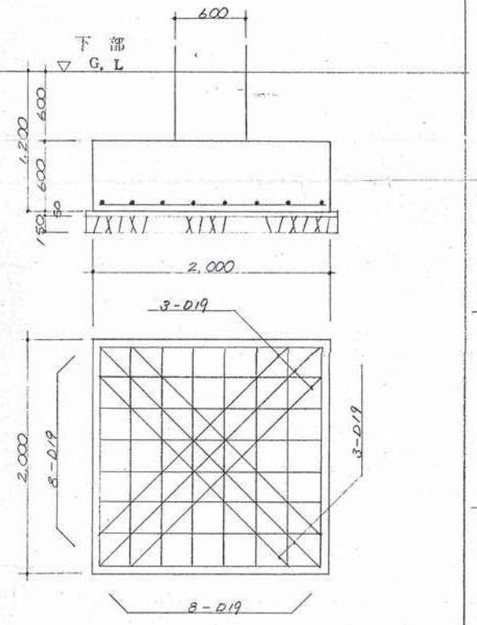
基礎詳細図　縮尺 1:30

共通事項　コンクリート　210 kg/cm²　鉄筋は　SD30　仮定地耐力(長期)　20 t/m²　実施に当り上記仮定数値に相違ある時は設計変更を行う

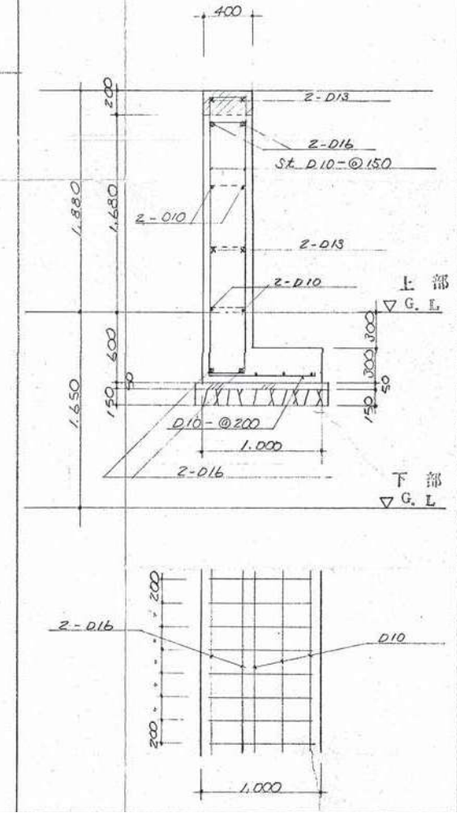
F1



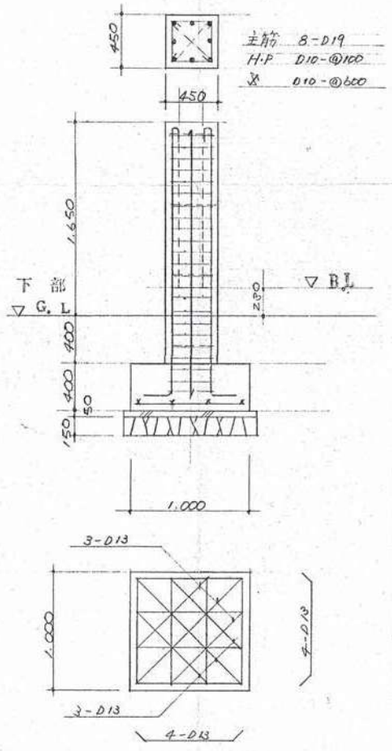
F2



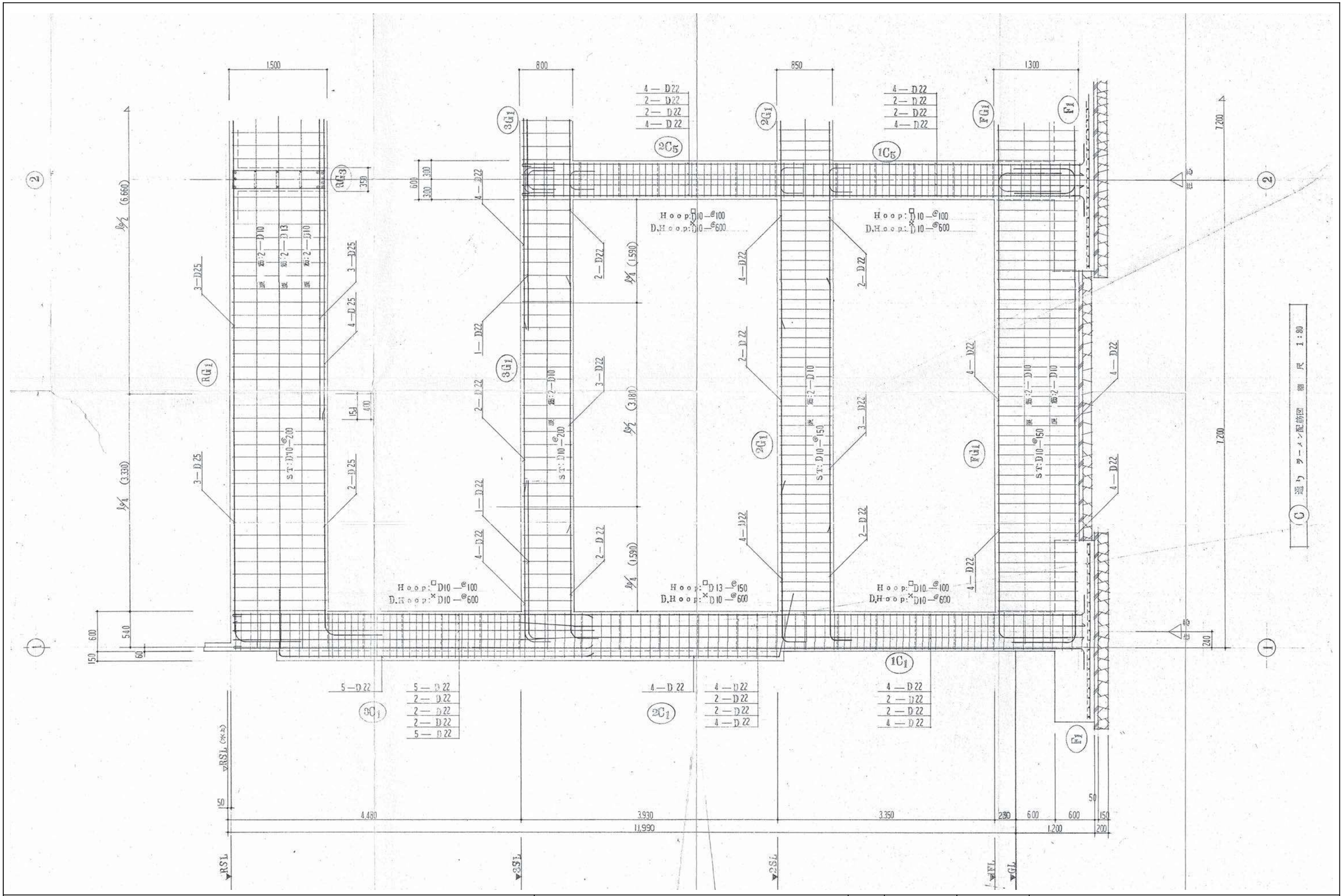
F3



F3A



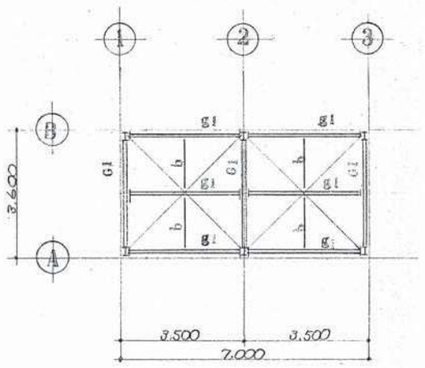
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
			縮尺 NON	図面名 解体　床版リスト・基礎詳細図	図番 保Ｓ－04	



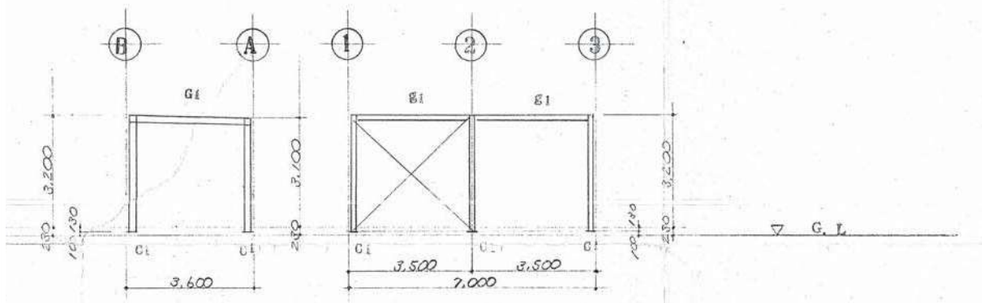
	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　配筋図	図番 保Ｓ－05

鉄骨部材リスト表

記号	部材リスト	備考
G1	H-200×100×5.5×8	
g1	H-175×90×5×8	
b	2C-100×50×20×2.3	PL-6 ABolt 2-M12
C1	H-200×100×5.5×8	
小屋ブレース	RB16φ	PL-6 HTB 1-M16
壁ブレース	L-65×65×6	

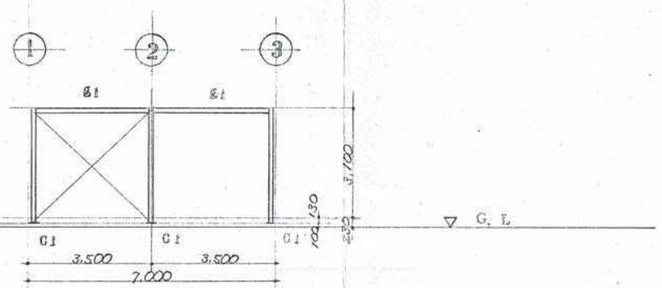


小屋伏図　縮尺 1:100

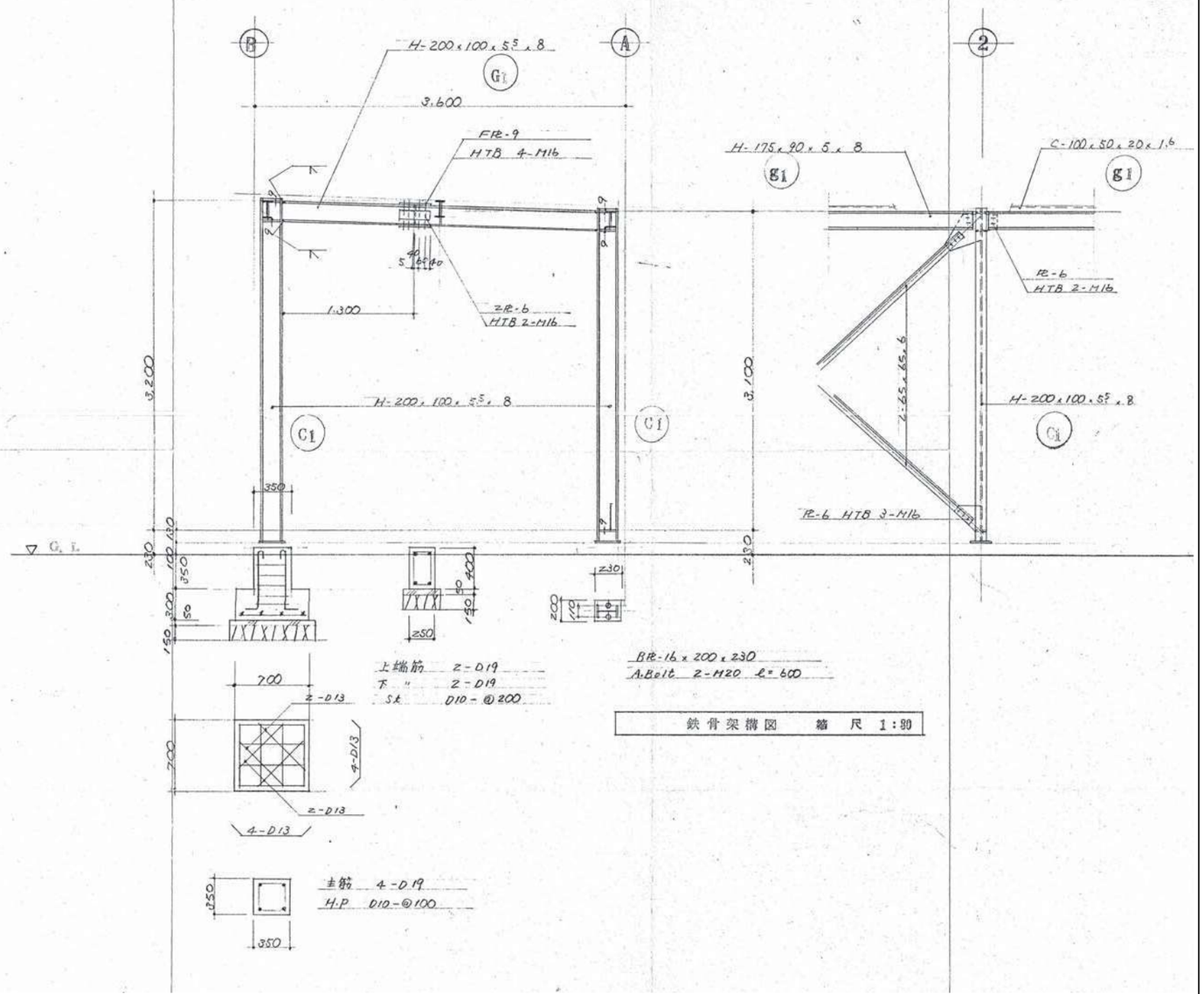


1~3通り軸組図　縮尺 1:100

B通り軸組図　縮尺 1:100



A通り軸組図　縮尺 1:100

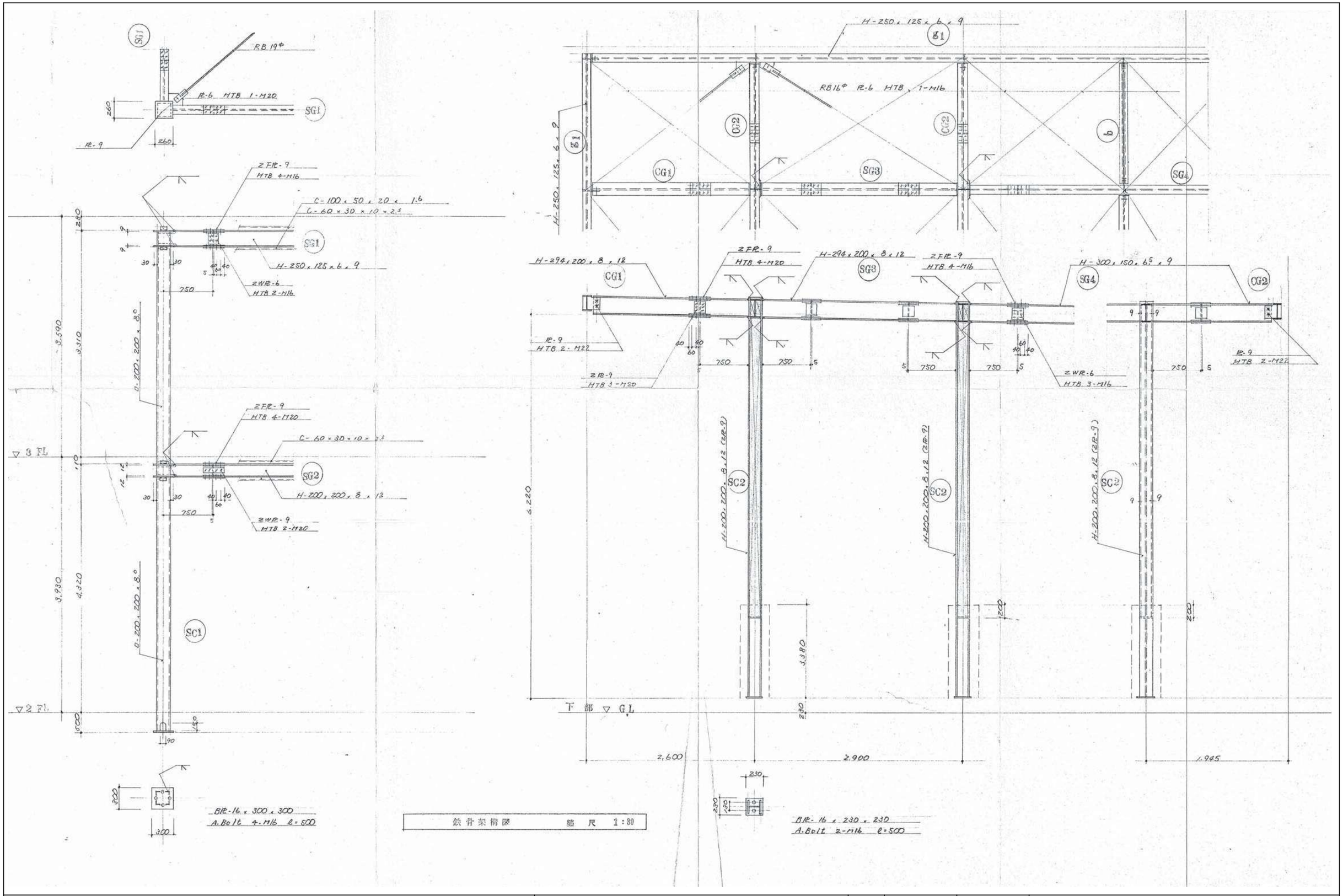


上端筋　2-D19
下〃　2-D19
St　D10-@200

主筋　4-D19
H.P　D10-@100

鉄骨架構図　縮尺 1:80

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体　小屋伏図・軸組図・鉄骨架構図	図番 保Ｓ－06



鉄骨架構図　　縮尺 1:80

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
				縮尺 NON	図面名 解体　鉄骨架構図	図番 保Ｓ－07	

田沢湖町保健センター　電気設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　秋田県仙北郡田沢湖町生保内
2. 建物概要　W. S. (RC) CB. 3階建
   延面積　　m²
3. 工事種目　建物毎に下表の種目別に区分する（●印適用）

工事種目	工事種別	備考
○ 受電設備		
○ 自家発電設備		
● 幹線設備		
● 電灯設備		
● 照明器具設備		
● 動力設備		
● 弱電設備		
● 火災報知設備		
○ 避雷針設備		
○ 電気暖房設備		
○ 屋外幹線設備		
○		
○		

註
弱電設備には、拡声設備、電話用配管設備、インターホン設備、テレビ共聴設備、電気設備等を含むものとする。

4. 工事範囲
5. 施　工　秋田県電気設備工事詳細図による。

Ⅱ 一般共通事項

一般事項

1. 適用範囲　本仕様書（●印のあるものを適用する）及び別添図面、現場説明事項に記載なき事項は建設省営繕部制定電気設備工事共通仕様書（昭和55年版）及び標準図（昭和48年版）による。
2. 機材選定　本工事に使用する機材は、製品選定に記載されているものはその中から選定し、記載されていないものは監督員の承認をうけること。尚契約後すみやかに主要使用資材報告書を提出し監督員の承認を受けること。
3. 提出図面及び書類
   (1) 施工図、製作図等
   本工事施工上必要な製作図、施工図、現場取付図、等は請負者が遅滞なく作成し監督員の承認を受けた後施工にかかること。
   (2) 完成図書
   本工事完成の上は、完成図（相互結線図含）決定図、承認図、官公署その他の許認可書、各種測定結果記録表、主要機器リスト及びご取扱説明書、主要使用資材のメーカーリスト、電気設備全体の取扱説明書、竣工図、（A－4版黒表紙金文字に製本）2部及びアパッチャカードにマイクロフィルムを添付し1部並にA－3コピー2部提出のこと。
   (3) 工事写真
   隠ぺい部を完成検査時に提出のこと。
   出来高検査及び完成検査に必要な工事写真は下記により提出のこと。尚施工後に検査の出来ない施工個所は、その過程において写真をとること。（写真撮影要領による。）
   工事中　1部（名刺版）
   完成時（カラー）1部（名刺版）
5. 附属品（予備品）　附属品（予備品を含む）、主要機器台帳は指定書式により、引継目録を添えて提出のこと。カギ等はプラスチック製名札（名前入）キーホルダー付きのこと。

共通事項

1. 電線の種別及び色別　電線の種別は、特に指示なき限り600Vビニール絶縁電線を使用し下表により色別配線する。

	赤	白	黒	青	黄	緑
高圧	R相	S相		T相		
電灯	電圧	接地	電圧			
動力	電圧	接地		電圧		
拡声		共通	放送		緊急	
火報	N	C	T	B	L	A
直流	＋			－		

2. 呼線の挿入　本工事で配線しない新設管路には、呼線を挿入すること。線種は1.6㎜ビニール電線以上とする。
3. 接地（第3種）　接地線は図示なき以外下記に示す太さのビニール電線を用いること。（原則として接地線は緑色とする）

開閉器の容量	電動機の容量	接地線太さ
50 A 以下	3.7kw以下	2.0㎜以上
100 A 〃	7.5 〃	5.5㎟ 〃
200 A 〃	15.0 〃	14 ㎟ 〃
400 A 〃	37.0 〃	22 ㎟ 〃
600 A 〃		38 ㎟ 〃

4. 接地標示板　各接地極の近くに接地標示板をつけること。（1種、2種、3種、電話　等）
5. 埋設標の設置　各埋設線路及び埋設管路には埋設帯及び埋設標（コンクリート製）を設置すること。（高低圧共）
6. プレートの種類　本工事に使用するプレート類は金属製とする。
7. プレートの用途別表示　器具を実装しないものについて下記要領で用途を明示する略標をつける。
   電話Ⓣ 時計Ⓚ 拡声Ⓢ 表示Ⓐ インターホンⒾ
   テレビⓋ 火報Ⓐ 電灯Ⓛ 動力Ⓜ 警報Ⓑ

8. ワイヤーマーク　マークプレート　幹線ブールボックス、盤の出入口、動力盤内、及びハンドホール内に取付けること。尚ケーブルマークは22φ以上とする。100㎜¶以上のワイヤーマークはケーブルマークにヒモ付きでも良い。又動力機器には機器Noを取付けること。マークはプラスチック製刻製とする。（刻印）各建物、幹線ブールボックスに、ネームプレートを取付けること。尚主要回路にも取付けること。
9. ネームプレート　の取付
10. ボックスの仮枠施工　コンクリート内に埋込む、ボックス類は、原則としてコンクリート打込時に仮枠を埋込み、仕上時にボックスを取付けること。ボックス内部は清掃後絶縁ワニスを塗布すること。
    ブッシングは原則として、絶縁ブッシングを使用すること。
11. ブッシング
12. 補強　開口部補強並に梁貫通部分補強は本工事に含む。尚施工要領については、建設大臣官房官庁営繕部監修、鉄筋コンクリート構造配筋基準（昭和48年版）による。
13. 標準色　秋田県標準色は下記による（配電盤、動力盤、分電盤、端子盤、プールボックス。その他監督員の指示するものマンセル記号2.5Y系 日本塗料工業会F 4－343
14. ハンドホールマンホール　○現場拵　○市販品　○組立式
    ○重耐　○中耐　○軽耐
    コンクリート厚120㎜以上鉄筋9φ@200寸法は内法寸法とする。
15. 電線管の支持間隔　電線管の支持間隔は下記による。

いんぺい配管	2 m以下	
露出配管	1.5 m以下	造営材に支持の場合
〃	2.0 m以下	支持金物使用の場合

16. 盤類　秋田県盤類製作基準による。
17. 電線管　薄肉電線管の使用も可（E種管）

Ⅲ 工事仕様

○受電設備

1. 電気方式　3相3線6000V 50Hz
2. 受電形式　○キュービクル式　○開放型
   ○屋内　○屋外
3. しゃ断器　○OCB　○SCB　○PF　○ACB
   定格電圧 7.2KV　電格電流　A　しゃ断電流　KA
4. 変圧器　動力　KVA　電灯　KVA
5. コンデンサー　3相 6000V　KVA

○自家発電設備

1. 発電機　相　線式　V　50Hz　KVA
2. 原動機　PS以上　始動方式
3. 燃料　○軽油　○A重油
4. 制御方式　○全自動式　○手動式
5. 盤形式　○防塵形　○一般形
6. 冷却方式　○水冷　○空冷

●幹線設備

1. 配線方式　●地中埋式　○架空引込式　○看板式　○架空線式　○フック入
2. 工事区分　各分電盤、動力盤、コンセント盤、各ハンドホールまでとする。

●電灯設備

1. 電気方式　幹線1φ3W100/200V 分岐1φ2W100V 1φ2W200V
2. 配線方法　○天井いんぺい及び床埋込金属管配線
   ●ケーブル配線（壁体内及び立上り、立下り部分は電線管保護とする）
3. 点滅回路　点滅器配線は電圧側とする。
4. スイッチコンセント　通用形　250V 10A
   通用形　250V 15A アース端子付（ナル式）も通用形とする。
5. 配線と灯具との接続　屋内配線と灯具との接続はFケーブル、又はキャブタイヤケーブルを使用すること。
6. 器具の吊ボルト　蛍光灯FL40×2相当以上の重量の器具は原則として90%以上の吊ボルトで支持すること。（鉄筋加工品でも可）
7. 図示なき配管配線　本工事において図示なき配管配線は下記による。

電灯回路	○	1.6×2 19　1.6×3 19
	●	F1.6×2　F1.6×3
差込回路	●	2.0×2 19
	○	F2.0×2

8. 子機配管　分電盤より各子機回路毎に19㎜1本立上げておくこと。
9. 非常用照明器具　●電池内蔵形　○電池別置形
10. 蛍光灯　FL40Wは省電力型、FL20Wはグロー高力とする。
11. 灯具の接地　灯具は100V、200V共接地工事を施すこと。

●動力設備

1. 電気方式　3φ3W200V
2. 配線方法　●天井いんぺい及び床埋込金属管配線
   ○ケーブル配線（壁体内及び立上り、立下り区分は電線管保護のこと）
3. 機器の接地　接地線による。
4. 工事範囲　電極棒、~~ケーブルラック、ハンガー等は本工事に含まない。~~ 本工事に含む。

●拡声設備

1. 増巾器　○卓上形　○ロッカー形　○テスク形　●壁掛形
   出力30W　ラジオ部　○AM　○FM　付
   ●防滅形　○一般形
2. 出力スイッチ　5回路　一斉緊急スイッチ付
3. スピーカー　○壁掛形　●天井埋込形　○吊下げ形
4. 音量調整器　●壁取付　○スピーカー組込
5. マイクホン　○ダイナミック形　○コンデンサー形
6. マイクスタンド　○卓上形　○床上形
7. 配線方法　●天井いんぺい及び床埋込金属管配線
   ○ケーブル配線
8. 図示なき配管配線　本工事において図示なき配管配線は下記による。
   ~~一般回路　1.2×2 19~~
   館内回路　HIV1.2×2 19
9. AM,FMアンテナ用配線　○アンテナ用配管配線　3C－2V（19）　○配管のみ

●電話用配管設備

1. 保安器箱　5局用　●屋内形　○屋外形
2. 接地　本工事に含む　100Ω以下
3. フロアボックス　ソウトレッドボックスとする。
4. ローテイション　○一般電話用　○ボタン電話用

●インターホン設備

1. 通話方式　○親子式　●相互式　○複合式
2. 形式　○卓上形　●壁掛形　○電話形
3. ドアホン　親器（○卓上形　○壁掛形
   子器（○埋込　○露出
4. 電源部　○電源アダプタ付　DC 24V
   ●　〃　なし　AC 100V

●テレビ共聴設備

1. アンテナ　○VHF 12素子　○UHF 22素子
2. ブースター　●本工事に含む　利得35db　○含まない
3. 共聴方式　○幹線分岐式　○直列ユニット式　●併用式
4. 出力端子　●両用形　○UHF形
5. 工事範囲　●共聴設備一式　○配管工事のみ

○電鈴設備

1. ベル　○露出形　○埋込形　径　㎜
2. ブザー　○露出形　○埋込形
   音量調整器　○あり　○なし
3. 動作電圧　AC　V、DV　V

●弱電設備

1. 受信機　P形2級5級同線　●壁掛形　○自立形
2. 副受信機　P形2級5級同線　●壁掛形　○埋込形
3. 発信機　P形2級5級同線　○埋込型　●壁掛型　●総合盤組込　○露出形
4. 電鈴　径150㎜　○埋込形　●総合盤組込　○露出形
5. 表示灯　AC 24V　○埋込形　●総合盤組込　○露出形
6. 感知器　●スポット形差動式　2種（確認ランプ付）
   ●スポット形定温式　1種
   ●スポット形補償式　2種（確認ランプ付）
   ○分布形差動式
7. 感知線　○空気管　○熱電対
8. 総合盤　●埋込形　○露出形　○消火栓箱（別途）組込
9. 端子の取付　総合盤内に機器取付板及び端子を取付け配線をすること。
10. 配線方法　○天井いんぺい及び床埋込金属管配線
    ●ケーブル配線
11. 図示なき配管配線　本工事において図示なき配線は下記による。
    ○1.2×2 19　及び1.2×4 19
    ●1.2×2c 共づ1.2×4c
12. 防火戸閉鎖装置　●本工事に含む
    制御装置　／回線
    閉鎖装置　DC24V
    煙感知器　3種
13. 防火区画図　アクリルプラスチック樹脂彫刻とする。
14. 防雷盤　総合防災盤（ベル内蔵）　○埋込型　○自立型

○避雷針設備

1. 突針部　○突針　○むね上導体
2. 引下げ導線　○銅より線　●鉄筋又は鉄骨
3. 接地極　○単独　●鉄筋又は鉄骨
4. 測定端子　○屋内　○屋外
5. 接地標示板　接地極の近くに取付けること。

○電気暖房設備

1. 電気方式　○3φ3W　200V　○1φ2W200V
2. 暖房器　○床置形　○壁掛型　○天吊形
3. 暖房方式　○自然対流型　○強制対流形

Ⅳ 配線用図記号

記号	名称	摘要	備考
●	蛍光灯	非常照明	建基法によるもの
⊠	〃	誘導灯	消防法によるもの
●	白熱灯	非常照明	建基法によるもの
▬●	配線用しゃ断器	非常用MCB	盤類製作基準による
◢	分電盤	電灯用	
⊠	〃	動力用	
⊠	〃	電熱用，	
●n	点滅器	n は個数	
●2 ●4	〃	3路、4路	
●WP	〃	防水形	
○	パイロットランプ	通用形	
●T	自動点滅器		
●R	リモコンスイッチ	ランプ付	
●	調光器		
●S	セレクタスイッチ	n は回路数、Lはランプ付	
▲R	リモコンリレー	n はリレー数	
Ⓣ	リモコントランス		
⊖	コンセント	抜け止め型	換気扇、テレビ用
⊖	コンセント	n は個数	天井付
⊖n	〃	〃	壁付
⊖E	〃	〃　アース端子付	〃
⊖WP	〃	防水形	〃
⊖n	〃	n は個数	床付
⊖	〃	引掛形	
⊛	換気扇		別途
⊛	〃	タクト形	〃
M	電動機		〃
C	コンデンサー		低圧用
S	開閉器		図は電磁計付
B	配線用しゃ断器		
⊙	圧力スイッチ		別途
⊙F	フロートスイッチ		〃
⊙L	フロートレススイッチ		〃
ZCT	漏電火災警報器	ZCT　A	消防法によるもの
▨	埋設標		コンクリート製
◉	避雷針突針		
⊗	接地抵抗測定端子		
⊙	電話用アウトレット	ノズルプレート付	壁付
⊙	〃	ローテンション付	床付
日	保安器箱	n は個数	
▭n	端子盤	n は対数	端子付
◷	子時計		
◎	親時計		
◎	時報時計		
⊗	スピーカー	両面型	壁付
◐	スピーカー	サラン張り	壁付
◔	〃	サラン張り　金属枠	埋込
◁	〃	ホーン形	
⊸	アッテネータ		埋込
⊛	ジャック		
⊛			床付
Ⓘ	インターホン	子器（電話形）	
◎	〃	親器（　〃　）	複合式
◎	〃	子器（拡声形）	
◎	〃	親器（　〃　）	
AMP	増巾器		
⊡	押ボタン		壁付
□	ブザー		
8	ベル		
♩	チャイム		
⊤	アンテナ	VHF　UHF	
▷	増巾器		
◁	分岐器		
◁	分配器		
◎	直列ユニット	75Ω	電流通過型
□	機器収容箱		寸法は図示による
▣	総合防災盤	火報L断線　L	ベル内蔵
▣	受信機	級　L　窓	
▣	副受信機	級　窓	ベル内蔵
◎	発信機	級	
◎	ベル	150㎜	
◐	表示灯		
▭	スポット型感知器	差動式	天井ウラ設置
▽	〃	定温式	防水型 防爆型
▭	煙感知器		
═	空気管		
⊠	分布形感知器	差動式	
◪	標識板		
◎	回路試験器		
▭	総合盤	取付板、端子付	
Ⓢ	煙感知器	3種	
⊖	自動閉鎖装置		
▤	連動制御盤		
◎	電鈴	150㎜	埋込
□	フロアーボックス	ケーブル引出し用ローテンション付	AC用
□	〃	ケーブル引出し用ローテンション付	DC用

Ⅴ 製品選定

本工事に使用する資材は、下記に記載されている製造者の中から選定すること。同等品については、事前に書類を添えて監督員の承認を求めること。（順不同）

1. 電線管	松下、東芝、日本パイプ、柏原、拱陽	
2. 同上附属品	上記の他ライン、外山、寺田、電成、ネグロス、大共電材、ユニ工作左右、古河、日立、藤倉、大日日本、昭和、東日本、西日本、京三、北日本、矢崎、三和	
3. 電線	同上	
4. 電力ケーブル	上記他 神	
5. 通信ケーブル	消防庁の承認を受けたもの	
6. 耐火電線	消防庁の承認を受けたもの	
7. 耐熱電線	日富、日本圧着端子、日本端子、日本ネー、エム、ピー	
8. 圧着端子	日立、東芝、松下、三菱、岩崎、新日本、山田	
9. 蛍光灯器具	上記の他 山際、大光	
10. 白熱灯器具	松下、日立、東芝、三菱、岩崎、小糸、金門、日本電池、新日本	
11. 水銀灯器具	松下、岩崎、森、伊東、東芝	
12. 防爆機器	東芝、日立、三菱、松下、富士、大崎、川崎	
13. 分電盤端子盤	古川、東和、山形、宮城、東北電機　電製	
14. 動力制御盤	上記の他 安川、日動、太平工業	
15. ホーム分電盤	松下、東芝、ヤエコン	
16. 配電盤	日立、東芝、三菱、松下、富士、大崎、川崎、古川、東和、山形、宮城、東北電製、高岳、愛知明電	
17. 配線用しゃ断器	東芝、日立、三菱、松下、日幸、日動、大崎、富士、岩崎、テンパール、	
18. 配線器具	松下、東芝、神保、明工舎	
19. 電磁開閉器	東芝、日立、三菱、松下、富士、戸上、安川	
20. 計器	三菱、東芝、富士、日立、横河、日新、東洋	
	松下、第一	
21. 継電器	日立、東芝、三菱、富士、明電、立石、日新	
	松下、光商工	
22. 水位検電器	立石、松下、日立、三菱、幹	
23. 高圧コンデンサー	三菱、日立、松下、東芝、日新、日本、マルコン、指月	
24. 低圧コンデンサー	JIS一つ又は同品	
25. 火災報知装置	ニッタン、神、ホーチキ、能美、日本信号、松下、東芝	
26. 防排煙装置	能美、ホーチキ、ニッタン、松下、東芝	
27. 拡声機器	東芝、日本電気、富士通、神、コロンビア、ビクター、松下通信、東亜、日本無線	
28. 変圧器	日立、東芝、三菱、松下、富士、明電、高岳、大崇、北芝、愛知、	
29. 気中開閉器	富士、戸上、弾、日本高圧、高岳	
30. 避雷火災警報器	松下、東芝、日立、日動、立石、光商工	
31. テレビ共聴機器	マスプロ、八木、DX、松下通信、東芝	
32. インターホン	アイホン、松下通信、東芝、岩通、日本インターホン	
33. 配電函	東芝、松下、因光	
34. 高圧しゃ断器	三菱、日立、東芝、富士、日新、高岳、明電、愛知、中立、井上	
35. 換気扇	三菱、日立、東芝、松下、栗田、坂田、富士	
36. 蓄電池	日本電池、古河、松下、東芝、湯浅、新神戸	
37. 発電機	三菱、日立、富士、東芝、明電、安川、神鋼、東洋	
38. ディーゼル機関	久保田、三菱重工、川崎重工、ヤンマー、富士ディーゼル、神鋼、ダイハツ	
39. 防災形発電機	三菱、富士、明電、東芝、ヤンマー、日立	
40. 避雷突針	ライマン、村田、東京避雷針、日本避雷針、大阪避雷針	
41. 時計	神、松下、東芝、セイコー、TICシチズン	
42. カバー付タイプスイッチ	松下、東芝、日東	
43. 避雷器	日立、三菱、東芝、富士、	
44. 電気暖房器		
45. 鋳鉄製マンホール	長谷川、伊藤鉄工、明和、第一機械、小島、小林（鋳）	
46. 舞台照明器具		

Ⅵ 機器取付高さ

機器取付高さは、下記を標準とする。但し監督員の指示により機器取付高さを変更することがある。

	名称	測点	取付高（mm）
壁	取引用計器	地上　窓中心	1,800
	引込開閉器	〃　中心	2,100
	引込線引留め高さ	地上	2,500以上
	分電盤	床上～中心	1,500
	スイッチ	〃　〃	1,300
	コンセント（一般）	〃　〃	300
	〃　（和室）	〃　〃	200
	〃　（台上）	〃　〃	150
	電話用アウトレット（一般）	〃　〃	300
	〃　（和室）	〃　〃	200
	端子盤	床上～下端	300
	壁掛形スピーカー	天井下～中心	300
	壁付アッテネーター	床上～中心	1,300
	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	インターホン（一般）	床上～中心	300
	〃　（和室）	〃　～　〃	200
	テレビ端子（一般）	〃　～　〃	300
	〃　（和室）	〃　～　〃	200
別	受信機	床上～中心	1,500
	発信機	〃　～　〃	1,400
	テレビ端子、テレビ用コンセント（一般教室、特別教室）（職員室、事務室、その他）	天井取付	

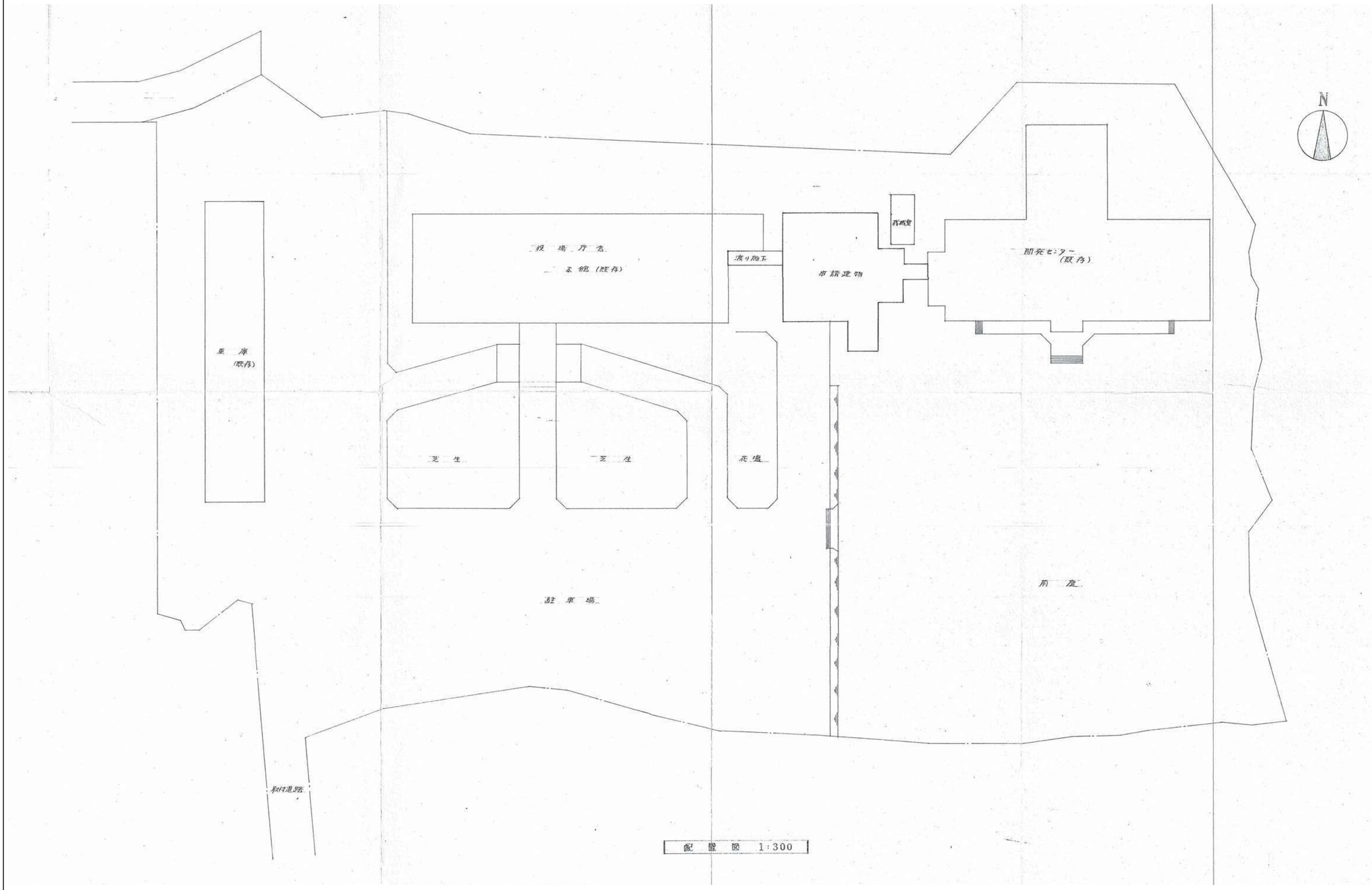
Ⅶ 照明器具表

（形式は秋田県照明器具標準による）

記号	形式	備考

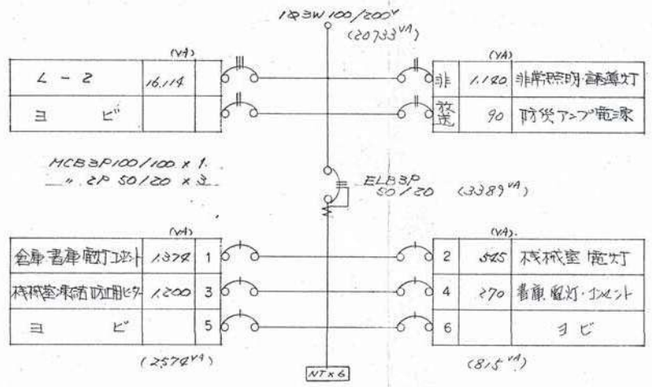
註　－Aーの特記は備考欄のみ適用

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第24－10A－0895号 一級建築士（大臣）登録第207893号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月 縮尺 NON	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事 図面名 解体（電気設備）仕様書 図番 保E－01

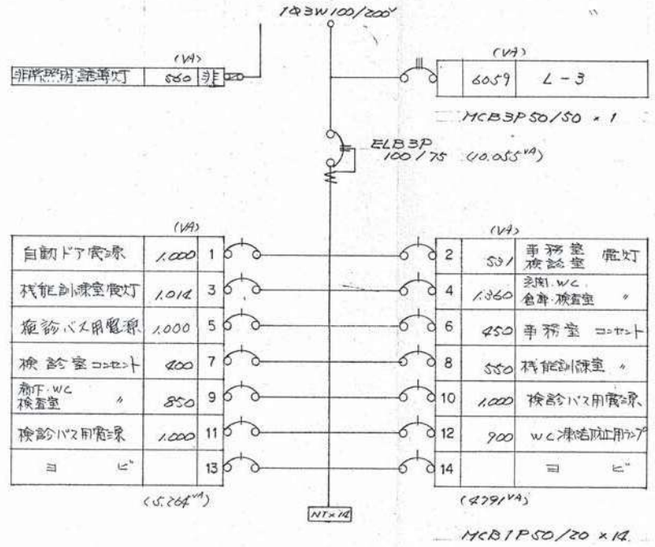


	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名	
				縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）配置図	図番 保Ｅ－02

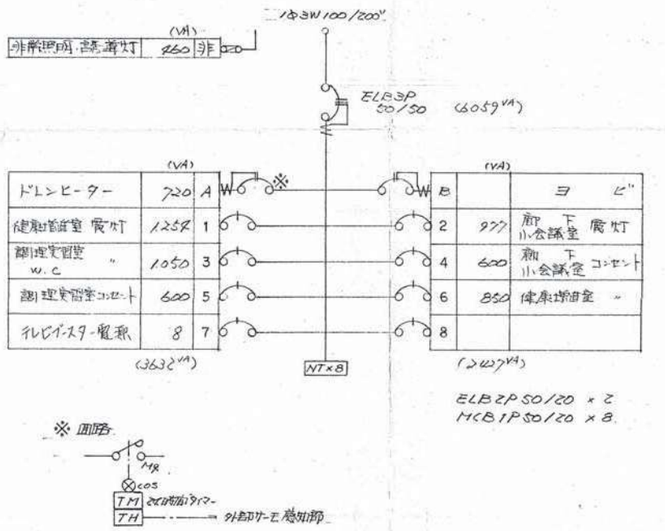
1L － 1



2L － 1



3L － 1



	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
				縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）盤 結線図	図番 保Ｅ－03	

照明器具姿図

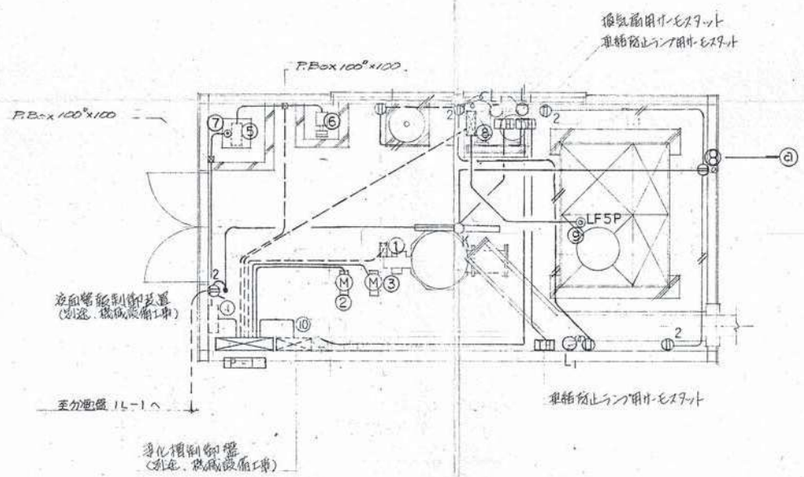
K	FL 40W x 1	L_1	凍結防止用ランプ 300W（壁付型）
		L_2	〃 300W（埋込型）





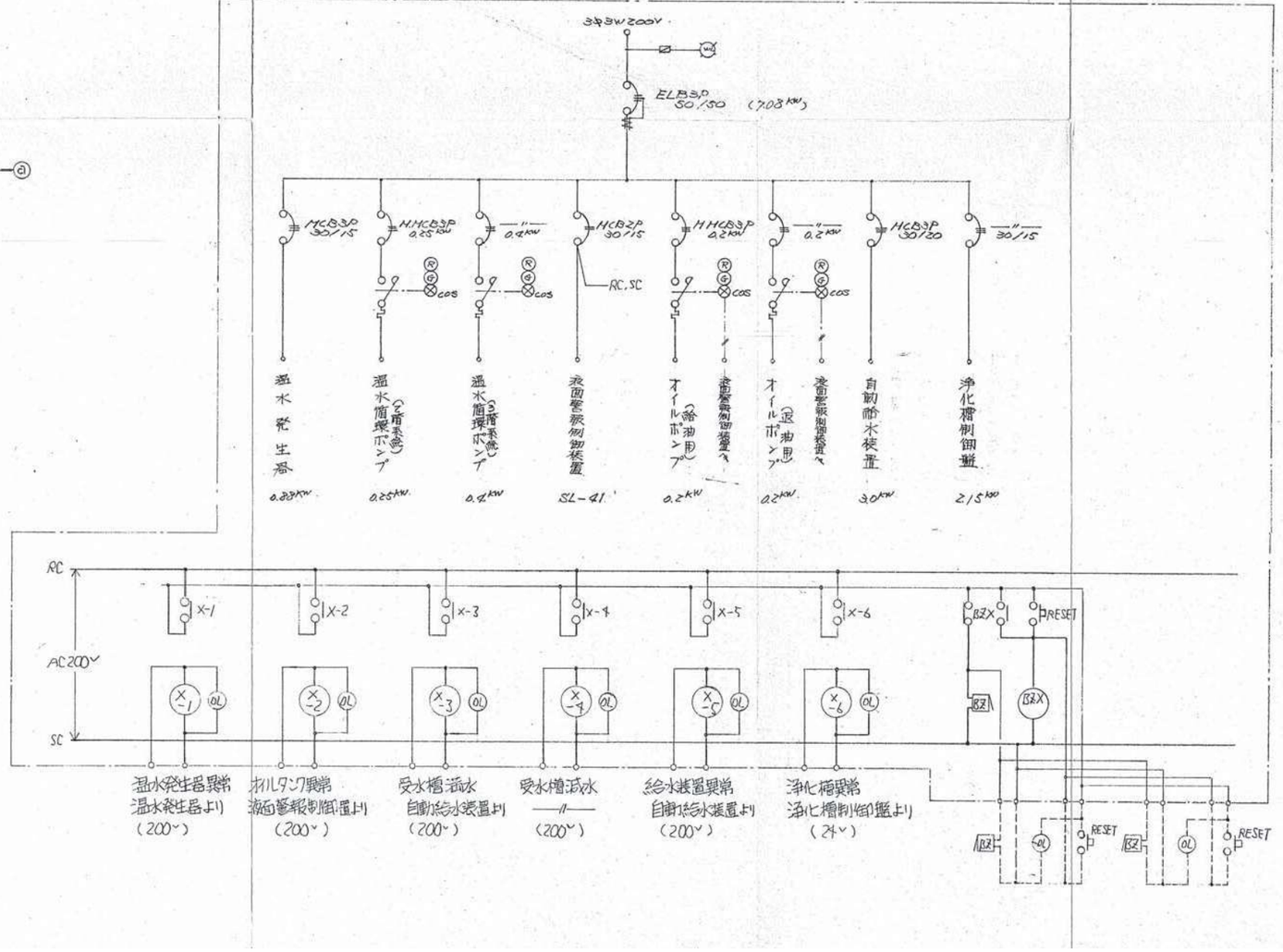
機械室配線内訳

番号	負荷名称	負荷容量	配線内訳	備考
①	温水発生器	3φ200V 0.88KW	2.0×3.E2.0（25） 2"×2（19）	温水発生器異常警報
②	温水循環ポンプ	〃 0.25KW	2.0×3.E2.0（25）	2番系統
③	〃 〃	〃 0.4KW	2.0×3.E2.0（25）	3番系統
④	液面警報制御装置	〃	2"×5.E2.0（25） 2"×2（19）	電源・給油ポンプ運転ポンプ制御、異常警報
⑤	オイルポンプ	〃 0.2KW	2.0×3.E2.0（25）	給油用
⑥	〃 〃	〃 0.2KW	2.0×3.E2.0（25）	返油用
⑦	フロートスイッチ		2" × 5 （25）	オイルサービスタンク用
⑧	自動給水装置	3φ200V 3.0KW	2.0×3.E2.0（25） 2"×6（25）	15KVA自動遮断器 受水槽満減、給水装置異常警報
⑨	フロートレススイッチ		2" × 5 （25）	底面保洗器、SP電極棒共（本工事）
⑩	浄化槽制御盤	3φ200V 2.15KW	2.0×3.E2.0（25） 2"×2（19）	浄化槽異常警報

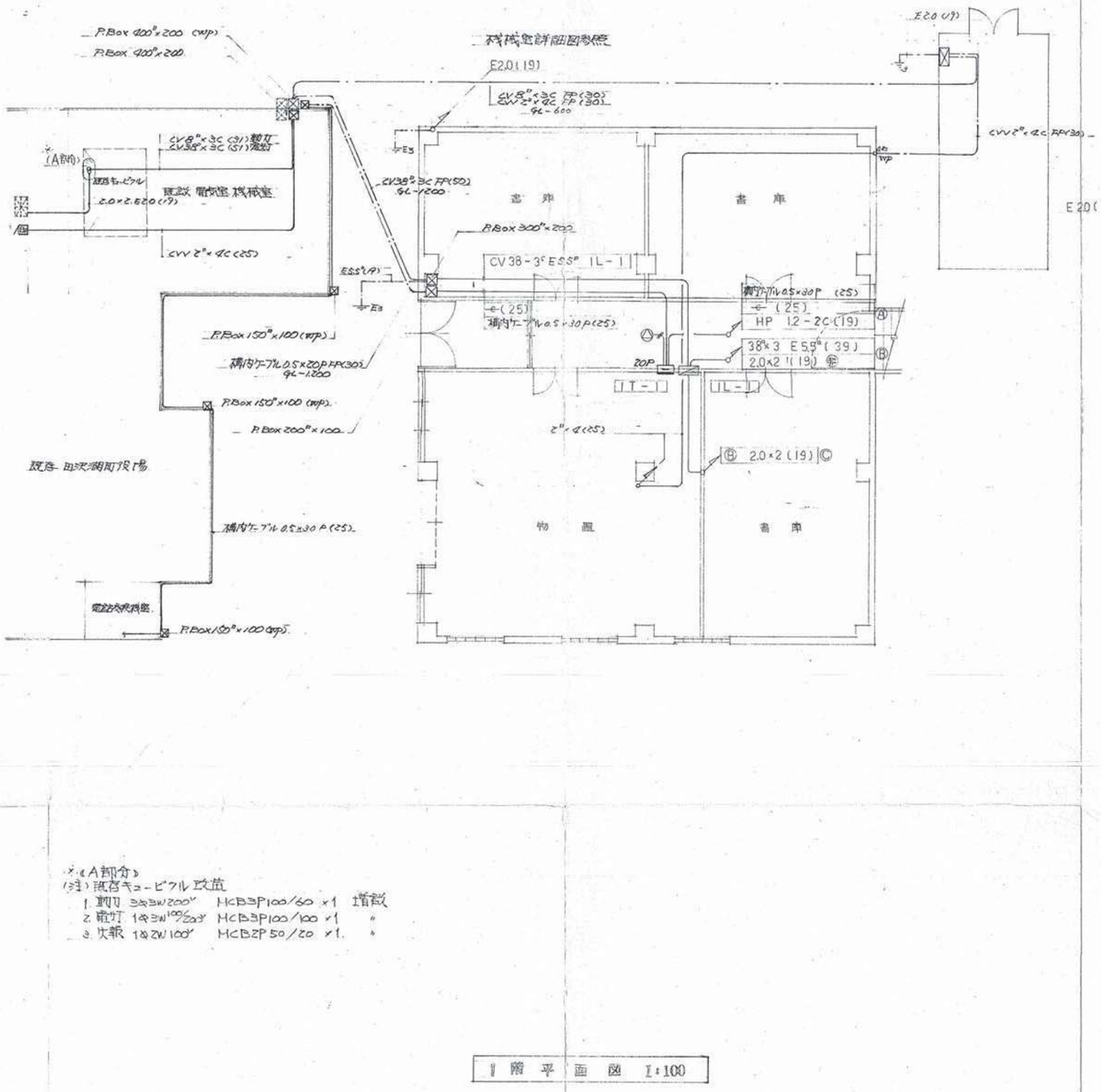


機械室詳細図 1/50

P－1

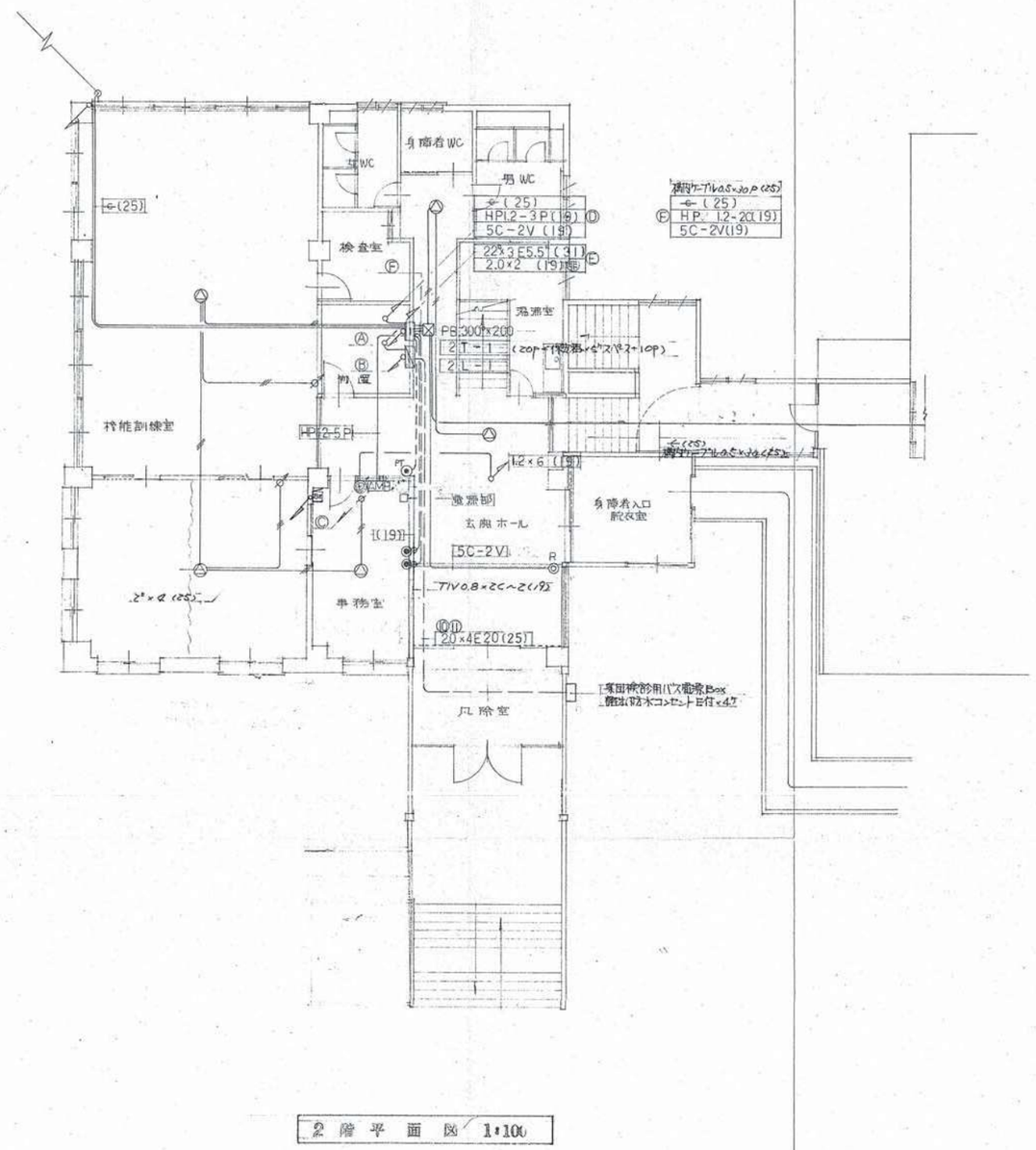


MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号 小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
			縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）機械室詳細図・盤 結線図	図番 保Ｅ－04	



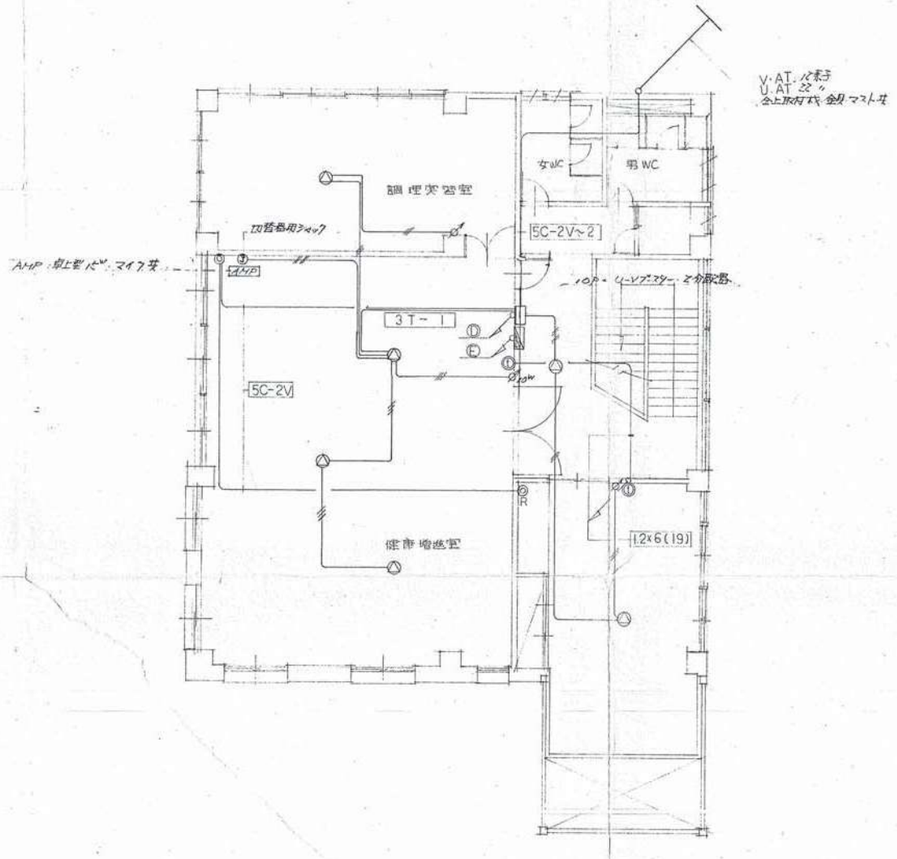
※《A部分》
(注) 既存キュービクル改造
1. 動力 3φ3W200V HCB3P100/60 ×1 増設
2. 電灯 1φ3W100/200V HCB3P100/100 ×1 〃
3. 火報 1φ2W100V HCB2P50/20 ×1. 〃

1階平面図 1:100



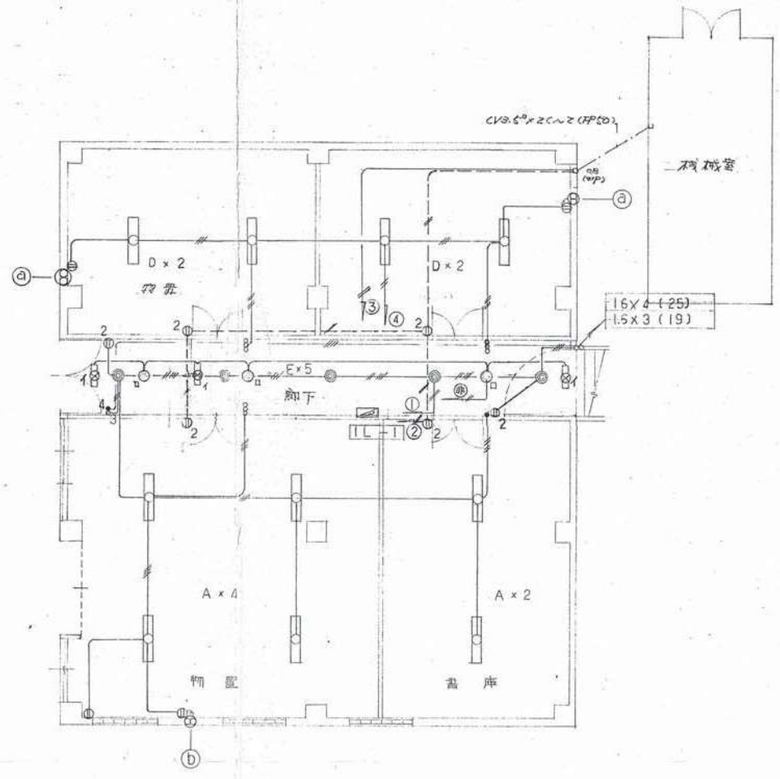
2階平面図 1:100

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
				縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）幹線動力・弱電設備工事	図番 保Ｅ－05	

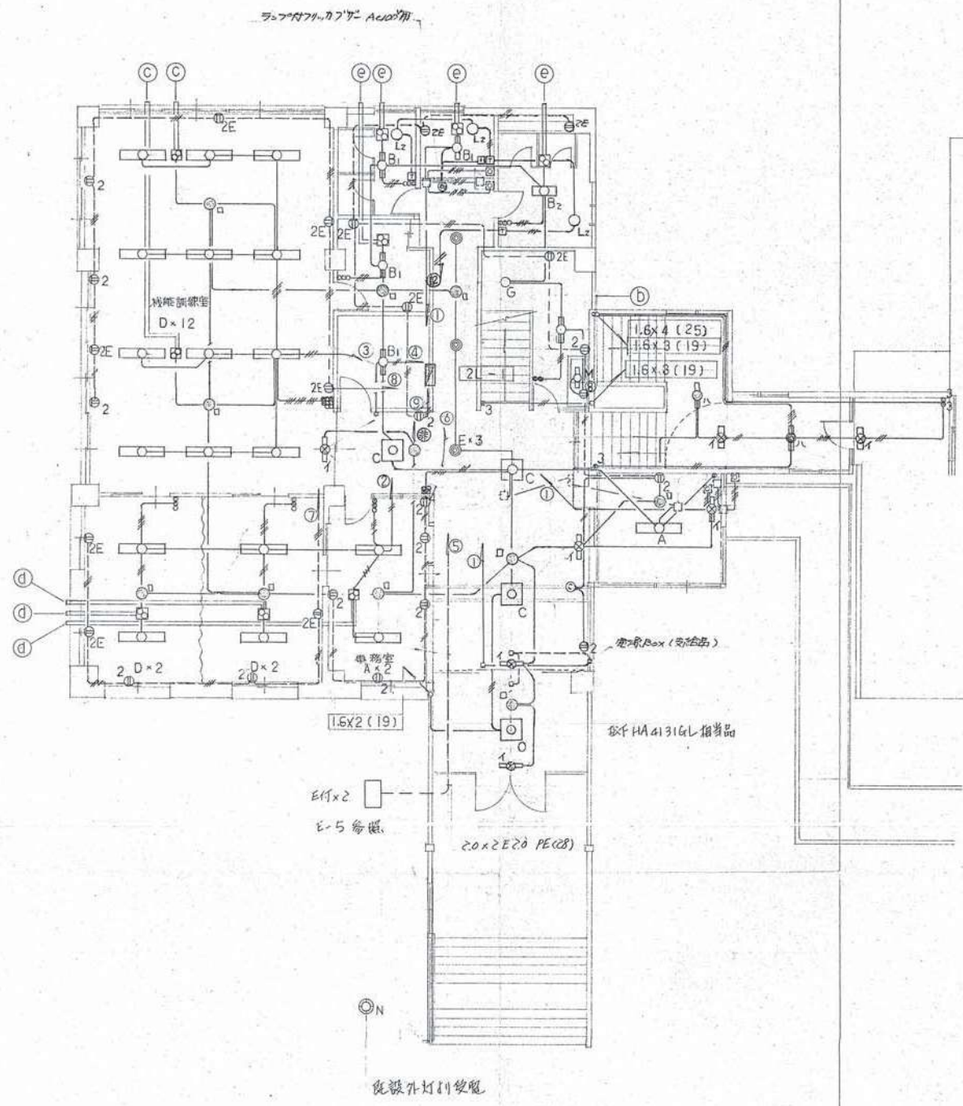


2階平面図 1:100

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）幹線動力・弱電設備工事	図番 保Ｅ－06

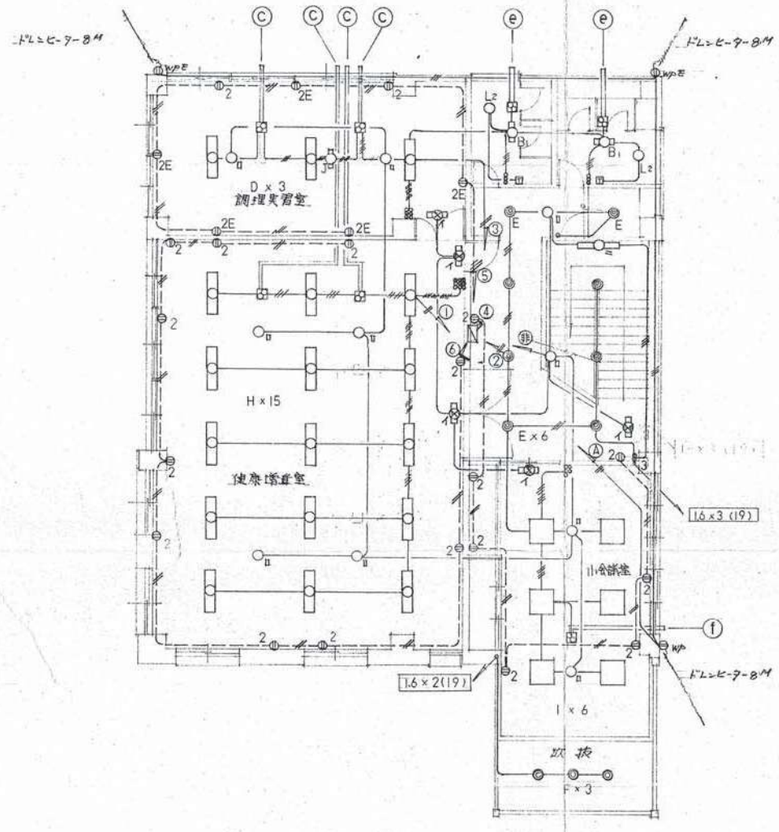


1階平面図 1:100



2階平面図 1:100

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）電灯設備工事	図番 保Ｅ－07



2階平面図 1:100

照明器具姿図

A FL40W×2	B1 FL20W×1 B2 FL20W×2	C FCL40W×1	D FL40W×2
E IL 60W	F NL58111	G IL 60W	H FL 40W×2 プラスチックルーバー
I FL 20W×4	J 誘導灯 15W	イ FL 20W×1 バッテリー内蔵	ロ IL 20W ロ′ 〃 (直付型) バッテリー内蔵
ハ FL 20W×1 バッテリー内蔵	ニ FL 40W×1 バッテリー内蔵	N HF 100W ポール地上3.5M	M FL 15W×1
			O FL 20W×2

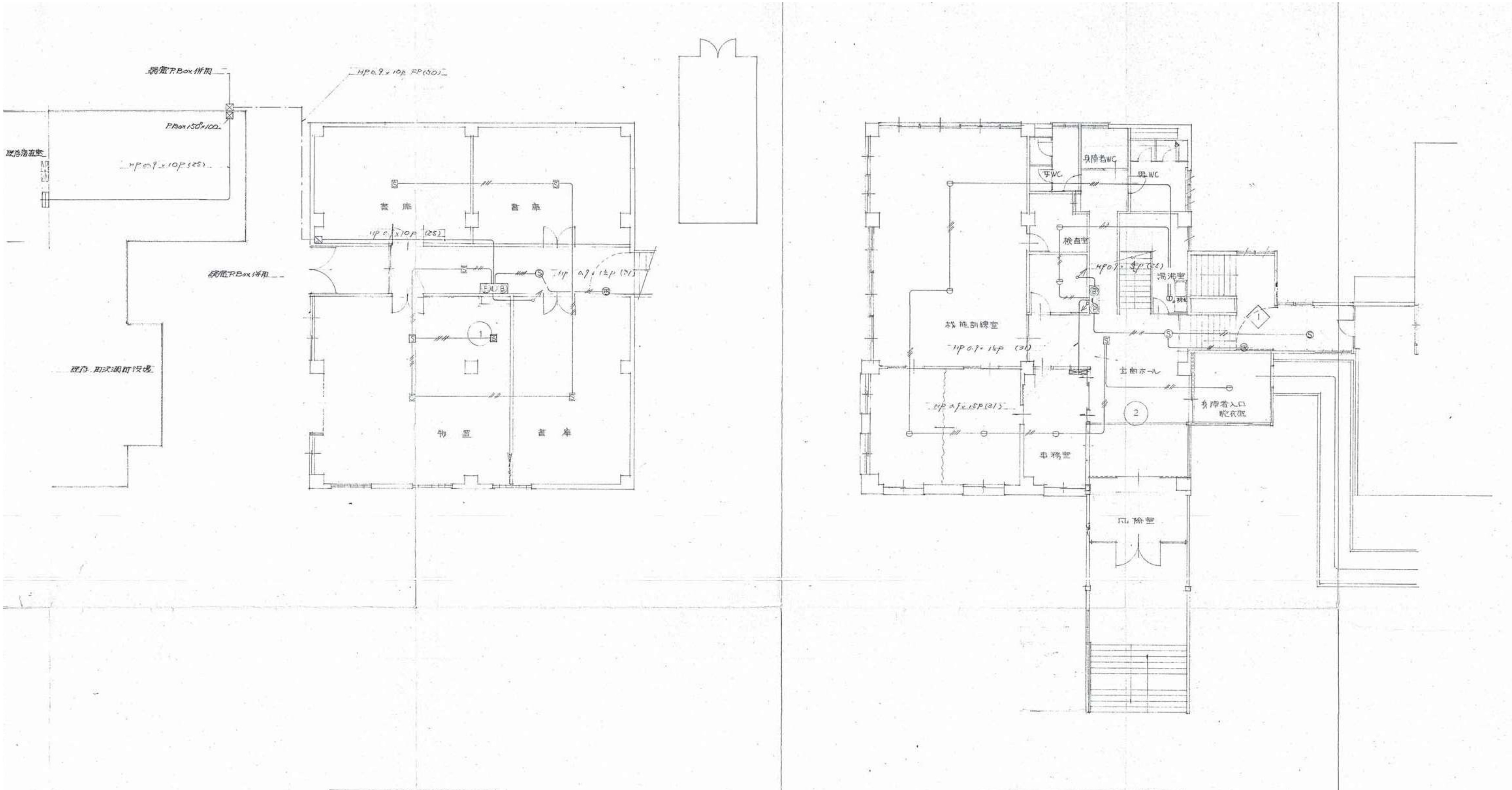
換気扇表

記号	形式	仕様
a	電動換気扇	250φ 木枠防火ダンパー付ウェザーカバー付
b	〃	250φ 木枠 ウェザーカバー付
c	天井ダクト式	180φ アルミウェザーカバー付
d	〃	140φ 〃
e	〃	100φ 〃
f	〃	180φ 〃

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計

一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦

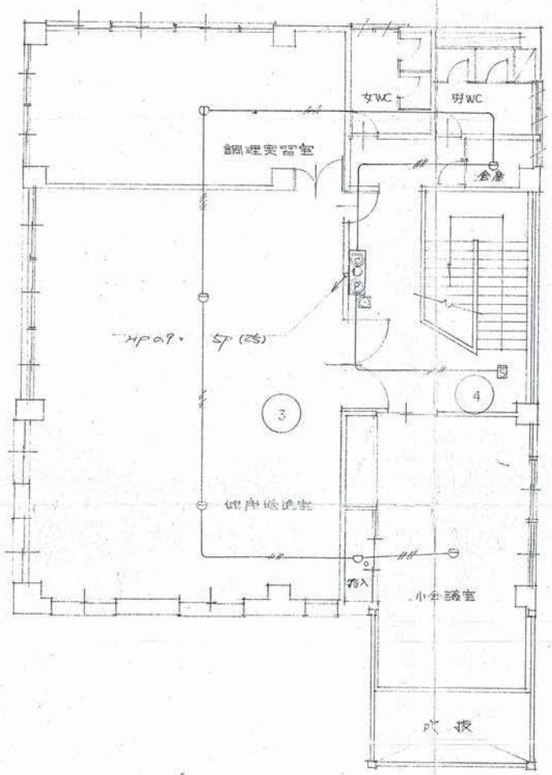
検印	担当印	日付	件名	
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事	
		縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）電灯設備 照明器具姿図	図番 保Ｅ－08



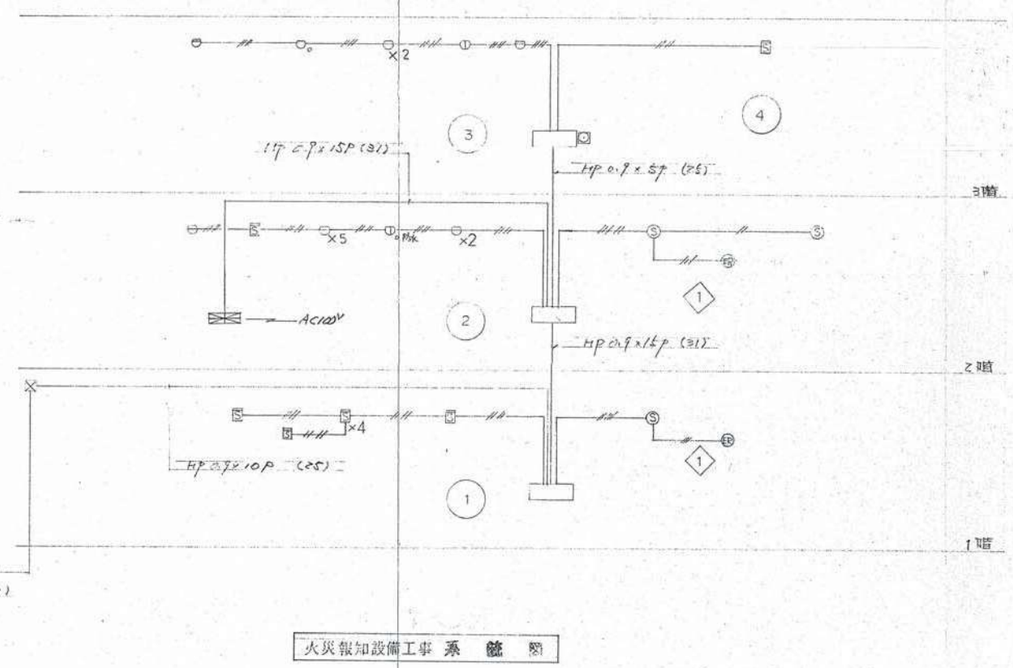
1階 平 面 図 1:100

2階 平 面 図 1:100

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４−１０Ａ−０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小 林 康 彦	検 印	担当印	日 付 2026.8月
件 名	旧田沢湖保健センター等解体工事	縮 尺	NON
図面名	解体（電気設備）1·2階火災報知設備工事	図 番	保Ｅ－09



3階平面図 1:100



火災報知設備工事 系統図

凡例

記号	名称	備考
	複合盤	火報5L、防災7L
P	発信機	P型2級
○	表示灯	AC-30V 20mA
B	音響	DC-24V 150mA
S	スポット感知器	差動式 2種・特種
S 熱	〃 上	定温式(防水)1種・特種
S	煙感知器	イオン式 2種
T	試験用押釦	
	総合盤	埋込型
	副受信機	ヒロ線
S	煙感知器	イオン式 3種
RM	リーズ	
NO	警戒巻号	火報用
NO	〃 上	防火戸用

特記なき配線は
— // — HP 0.9×2C、
— /// — HP 0.9×2C、
— //// — HP 0.9×3C、
— //// — HP 0.9×3C、OP 0.9×2C、

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（電気設備）3階火災報知設備・系統図	図番 保Ｅ－10

田沢湖町保健センター 機械設備工事仕様書

I 工事概要

1 工事場所 秋田県仙北郡田沢湖町生保内
2 構造規模 W. S. (RC). CB. 3 階建
延面積 ㎡

II 工事種目（建物毎に下表の種目順に区分する。●印適用）

種目	施工区分 屋内	施工区分 屋外	数量	備考
●衛生設備	屋内	屋外		
衛生器具設備	●		1 式	
給水設備	●	●	〃	
給湯設備	○		〃	
消火設備	○	○	〃	
排水通気設備	●	●	〃	
ガス設備	●	●	〃	
厨房設備	○	○	〃	
浄化槽設備	●		〃	
換気設備	○		〃	
●暖房設備	屋内	屋外		
機器設備	●		1 式	
放熱器設備	●		〃	
配管設備	●	●	〃	
ダクト設備	○		〃	
自動制御設備	○		〃	
貯油槽設備		○	〃	
換気設備	○		〃	
○換気設備	屋内	屋外		
機器設備	○		1 式	
ダクト設備	○		〃	

III 一般共通事項

1 一般事項	本仕様書（●印のあるものは選択特記事項とする。）及び別添図面、現場説明事項に記載なき事項は、建設大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事共通仕様書（昭和 年版）第1編第1章第5節（施工）、同第6節（記録）第2編第2章施工（衛生）第3編第2章施工（空調）第4編第3章第2節施工（ガス）、同標準図（昭和56年版）各該当事項並びに建設省告示第1597号による。
2 機器及び材料の選定	使用機材は製品名簿に記載されてあるものの中から選定し、契約後すみやかに、主要資材報告書を提出のこと。尚製品名簿に記載されていない資材は、監督員の承諾を得た後に使用すること。
3 提出図面及び書類	(1)施工図。本工事において施工上必要な製作図、施工図、現場取付図等は請負者が遅滞なく作成し、監督員の承諾を受けた後施工にかかること。 (2)完成図。本工事完成の時は官公署、その他の許認可書、機器取扱説明書、完成図（A4版に製本）2部、 [illegible] を添付した [illegible] [illegible] すること。 なお、各届書に必要な部数は1部であるが詳細は監督員の指示により提出のこと。
5 附属品（予備品）	附属品、（予備品を含む）保守工具は引継ぎ目録を添えて提出のこと。又弁、弁等に取付する名称札はプラスチック製（白）とし、堀込文字（黒）とする。
6 スリーブ及び木枠	(1)特記がなければスリーブ材は、紙スリーブとし、本工事とする。 (2)便器用箱入れ、消火栓箱、換気扇、ダクト、吸込口、吹出口、フード等の木枠、及び木造壁内陶器取付用受木は本工事とする。
7 開口部の補強筋	特記のある場合を除き建築工事とする。
8 技能士	(1)配管・保温・ダクト・溶接の施工には技能士が自ら作業をすると共に他の技能者の作業指導を行なうものとする。 (2)技能士は職業訓練法による1級又は2級技能士の資格を有する者で合格証明書を監督員に提出して承諾を受けた者。 (3)各該当作業が軽易な時は監督員の承諾を受けて省略することができる。この場合は当該工事の主任技術者（管工事施工管理技士）が施工の作業指導を行なうこと。

IV 衛生設備

●衛生器具設備

1 一般事項	陶器の各型番に対する附属品の組合せ仕様は図示による。尚型番はJIS記号によるがJIS記号に該当しないものについては、便宜上東陶機器の記号による。
2 衛生陶器色別	○白色品 ●着色品（色別は監督員の指示による。）
3 衛生器具取付高さ(標準寸法)	小便器（床面より前縁上端まで）530 ㎜ 手洗器（〃）760 ㎜ 洗面器（〃）720 ㎜ 料理流し（〃）800 ㎜ 水呑器（〃）760 ㎜ 水栓（流し）（流し底面より吐水口まで）300 ㎜ 水栓（浴槽）（浴槽縁より吐水口まで）150 ㎜ 水栓（浴室洗場）（浴室床面より吐水口まで）300 ㎜ 化粧鏡（床面より鏡の中心まで）1,500 ㎜ 化粧棚（床面より棚の上端まで）1,100 ㎜ (注) 身障者用器具の取付寸法は設計図による。
4 器具の取付	陶器は直接コンクリートに埋設しないこと。

●給水設備

1 給水源	●上水道 ○井水
2 給水方式	上水道直結 ○重力給水 ●加圧給水 飲料水、雑用水分離給水
3 水道加入金	本工事に含む ●別途
4 屋外給水配管材料	塩化ビニールライニング鋼管（JWWAK 116 白管） ●水道用硬質塩化ビニール管（JISK 6742） ポリエチレン管（軟質）（JISK 6762）
5 屋内給水配管材料	●塩化ビニールライニング鋼管（JWWAK 116 白管） ○水道用硬質塩化ビニール管（JISK 6742） ○ポリエチレン管（JISK 6762）
6 配管	[illegible]
7 水槽	[illegible]
8 受水槽	●FRP製 [illegible]
9 高置(架)水槽	○FRP製 [illegible]
10 ポンプ	[illegible]
11 弁	[illegible]
12 可撓継手 防振	[illegible]
13 給水管	[illegible]
14 土中配管埋設深さ	(1)一般敷地 450 ㎜ (2)構内通路 600 ㎜ (3)公道、重車輌通路 1,200 ㎜
15 埋設標	[illegible]
16 埋設管の防錆	[illegible]
17 防火区画内配管	[illegible]
18 系統の表示	[illegible]
19 試験	[illegible]
20 保温工事（各設備共通）	[illegible]

●給水設備（続）

21 保温材	[illegible]
22 防露の措置	[illegible]

給湯設備

1 給湯方式	○局所式給湯法 ○中央式給湯法
2 給湯配管材料	○銅管（JISH3300 Mタイプ） ○ステンレス鋼管（JIS G3448、SUS304 TPP）
3 機器の据付	[illegible]
4 温水循環ポンプ	[illegible]
5 ガス湯沸器	[illegible]
6 排気筒	[illegible]
7 弁類	給水設備の項（11）による。
8 管の支持間隔	給水設備の項（13）による。
9 施工法その他	給水設備の項（12、14、17、18、19）、暖房設備の配管による。
10 保温工事	給水設備の項（20、21）による。

消火設備

1 一般事項	[illegible]
2 配管材料	[illegible]
3 弁類	[illegible]
4 ポンプ	[illegible]
5 [illegible]	[illegible]
6 管の支持間隔	[illegible]
7 保温工事	給水設備の項（20、21）による。

排水通気設備

1 屋内排水通気配管材料	[illegible]
2 汚水、雑排水用	[illegible]
3 屋外配管材料	[illegible]

記号	内法寸法	埋設深さ	防臭蓋
SC-1 RC-1	300×360 A（耐圧蓋）B（簡易蓋）	450未満	MHA350 MHB350
SC-2 RC-2	450×450 A（耐圧蓋）B（簡易蓋）	450以上 600未満	MHA450 MHB450
SC-3 RC-3	600×600 A（耐圧蓋）B（簡易蓋）	600以上 1,200未満	MHA600 MHB600
SC-4 RC-4	900φ A（公道内）	1,200以上	MHA900 MHB900 MHF600（公道内）
PP-1	400φ	600未満	レジコン

4 施工	[illegible]
5 配管	[illegible]
6 管の支持間隔	[illegible]
7 施工法その他	給水設備の項（16、17、18）による。
8 水試験	[illegible]
9 保温工事	給水設備の項（20、21）による。
10 保温区分	ハイブリッド内部 ●要 ○不要 床下ピット内部 ●要 ○不要

浄化槽設備

1 一般事項	本工事は建築基準法施行令第32条及び昭和55年建設省告示第1292号による。 (2)浄化槽設置の届出等は法令及び地方条例に従い請負者が速やかに行うこと。
2 構造及び形式	[illegible]
3 設計条件	(1)処理対象 し尿及び一般生活排水 (2)計画汚水量 10 ㎥/D (3)流入水質 BOD. 70 PPM. SS. 72 PPM. (4)流入管底 GL-700 (5)放流方法 ○自然放流 ●ポンプアップ放流 (6)構造 ○RC造 ○CB造 注）機械室の仕上詳細は特記による。
4 現場施工形し尿浄化槽	[illegible]
5 ユニット形し尿浄化槽	[illegible]
6 施工処理	[illegible]
7 放流	[illegible]
8 電気工事	[illegible]
9 水質試験	[illegible]

ガス設備

1 一般事項	[illegible]
2 ガス配管材料	●配管用炭素鋼鋼管（白管）（JISG3452） ○ポリエチレン被覆鋼管（JISG3469）
3 ガス栓	[illegible]
4 ガスメーター	[illegible]
5 調整器	[illegible]
6 弁類	[illegible]
7 ガス栓取付高さ	[illegible]
8 管の支持間隔	給水設備の項（13）による。
9 施工法その他	給水設備の項（14、15、16、17、18）による。
10 配管漏えい試験	[illegible]

V 暖房設備

1 暖房方式	○蒸気暖房 ●温水暖房
2 機器の据付	[illegible]
3 煙道	[illegible]
4 ポンプ	[illegible]
5 ヘッダー	[illegible]
6 保温工事	[illegible]
7 電気工事	[illegible]

●放熱器設備

1 器具取付	[illegible]

●配管

1 配管材料	[illegible]
2 配管	[illegible]
3 配管貫通部の取付	[illegible]
4 管の保温	[illegible]
5 管の支持間隔	[illegible]
6 施工法その他	[illegible]
7 試験	[illegible]
8 保温工事	[illegible]
9 保温材	給水設備の項（21）による。

○貯油槽設備

1 地下貯油槽	[illegible]
2 標識板	[illegible]
3 施工法その他	[illegible]
4 漏え検査	[illegible]
5 埋設深さ	[illegible]
6 計量口	[illegible]
7 消火器	[illegible]

○自動制御設備

1 一般事項	自動制御の電気計装工事は、秋田県電気設備工事仕様書による。
2 機器類の取付	機器の取付は点検可能な位置で、かつ使用目的に応じた検知制御体の温度、湿度、圧力等が正確に検出できる場所を選定し、原則的に次の場所は避ける。 (1)水蒸、しんあい、振動を発生する場所。 (2)温、湿度にあって、吹出口からの気流、すきま風、 あるいは日射など直接うける場所。 (3)空気、水などの被制御体の正常な循環を妨げられる場所。 (4)その他は特記がなければ建設省仕様書による。
3 総合調整	総合調整は工事完了時期などから所定の条件設定が得られない場合は基本動作の確認を行ない、所定の条件が得られた時期に要求機能の確認を行なう。

VI 換気設備

◎ダクト設備

1 ダクト材料	特記がなければ亜鉛鍍鉄板を用いること。
2 板厚及補強	（下表）

板厚 \ 種別	角ダクト長辺長さ（スパイラルダクト）	ダクト補強 補強材寸法	ダクト補強 間隔	接合フランジ アングル寸法	接合フランジ 間隔	吊り金具間隔
0.5（#26）	450以下（200φ以下）			25×25×3	1820	3640
0.6（#24）	450～750（200～600φ）			25×25×3	1820	3640
0.8（#22）	750～1,500	30×30×3	910	30×30×3	1820	3640
1.0（#20）	1,500～2,200	40×40×3	910	40×40×3	1820	3640

注）長辺450㎜を越える保温を施さない風道にはダイヤモンドブレーキ又は間隔300㎜以下のピッチで補強リブを入れる。

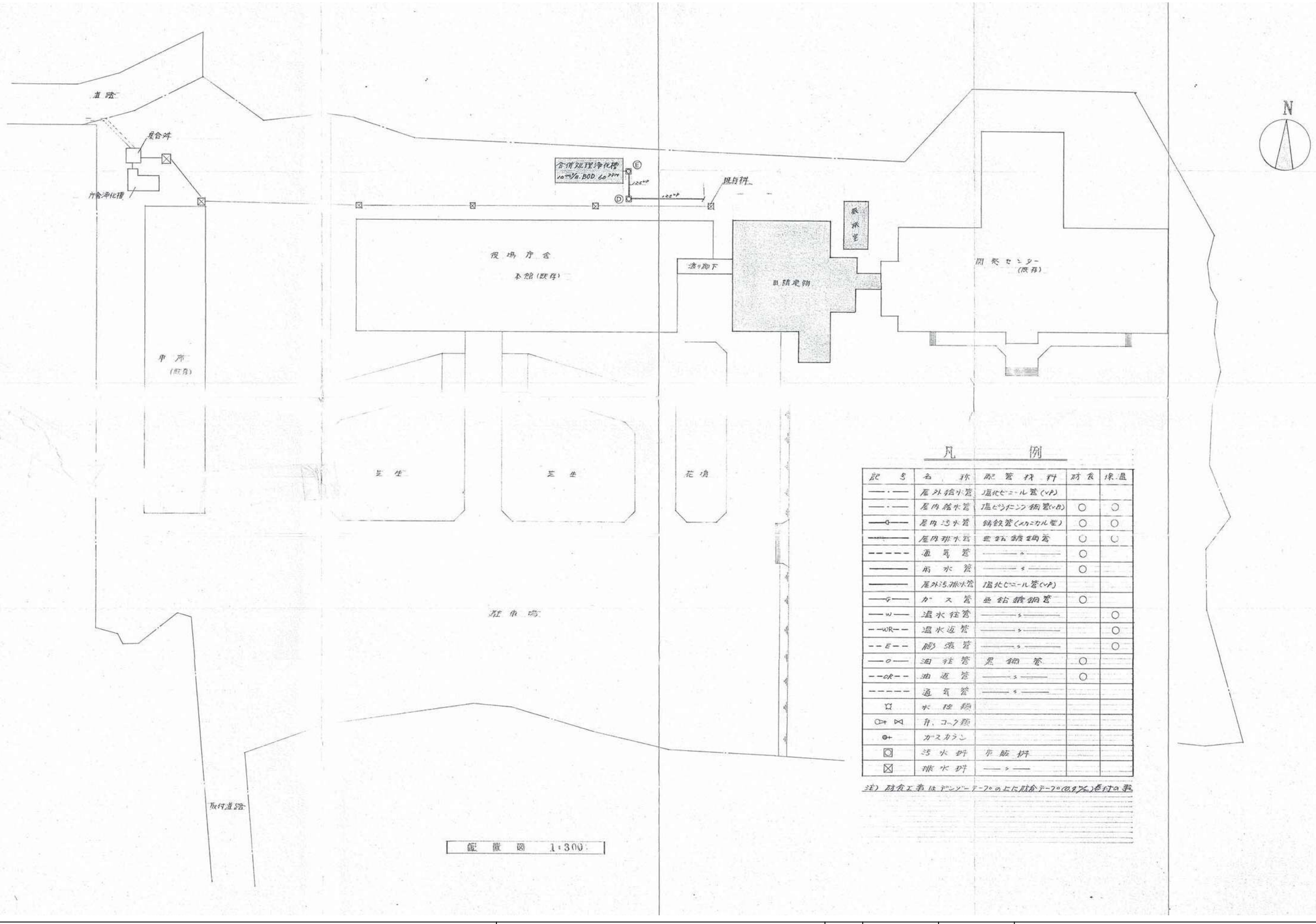
3 フード	板厚は角ダクトに準ずる。
4 塗装	見えがかりのダクト内面は黒ワニス2回塗りとする。
5 ガラリー及びフードの取付	(1)厨房、食堂等の外部フードには防虫網取付けのこと。 (2)防水に充分留意し、外部よりコーキングを行うこと。
6 ダンパ	各階立上り及び防火区画にダンパを取付ける場合は、可動羽根が容易に調整できるようにして風道に気密に取付ける。又防火区画・防火壁等貫通する風道はそのすき間をロックウール保温材で埋めること。
7 外気取入れ用風道	外気取入れ用風道は下記の仕様により保温を施す。 (1)露出 グラスウール50㎜（40K） アルミガラスクロス 全 覆 (2)インペイ グラスウール 25㎜（32K） アルミガラスクロス
8 排煙風道	排煙風道は建設省仕様書（施工）による。

VII 製品名簿

この工事に使用する材料は、下記に記載されている範囲の製造業者の中から選定すること。但し記載されていない品目、及び同等品については、事前に書類を添えて監督員の承諾を求めることとする。

●管類	JIS表示認可工場
●継手類	JIS表示認可工場
●弁類	JIS表示認可工場
●衛生陶器、附属品	東陶機器、伊奈製陶、ジャニス
●ポンプ	日立製作所、荏原製作所、川本製作所、極東機械、増田鉄工場、新明和工業、鶴見製作所、大東工業
○消火機器	消防法で定める表示を附したもの。
●ガス湯沸器	イナリ工業、[illegible]山熱器、パロマ
●FRP水槽	三菱樹脂、東陶機器、積水工事、伊奈製陶、日立化成、ブリヂストンタイヤ(株)
○貯湯槽	島田鉄工所、亀山鉄工所、[illegible]部工業、日本精機
●鋳鉄製マンホール	長谷川鋳工所、伊藤鉄工、名和鋳造所、第一機材、大嶽鋳工所、大阪ドレネージ
●排水金具類	長谷川鋳工所、伊藤鉄工、東陶機器、第一機材、大嶽鋳工所、大阪ドレネージ
○鋳鉄製ボイラー	前田鉄工所、昭和鉄工、川崎重工業、
○温水ボイラー（暖房用、給湯用）	巴商会、昭和鉄工、ネポン、加熱工業、ダイキン工業、日本無煙工業、愛知電機工業
○[illegible]	[illegible] 播磨重工業
●給湯、温水器	大見工場、タクマ、巴商会、昭和鉄工、川崎重工業、前田鉄工所
○真空給水ポンプ	前田鉄工所、荏原製作所
○空気調和器（パッケージ型）	日立製作所、ダイキン工業、三菱電機、東芝電気、三洋電機、松下空調工業、東洋キャリア工業
○空気調和器（ハンドリングユニット型）	新晃工業、東洋キャリア工業、立石管工、暖冷工業、増島製作所、日立製作所、ダイキン工業、三菱電機
○冷凍機	三洋電機、三菱電機、ダイキン工業、荏原製作所、日立製作所、松下空調工業
○冷却塔	三菱樹脂、日立製作所、信和産業、BAC、空研工業、日本スピンドル製造
○送風機	日立製作所、荏原製作所、極東機械、ミツヤ製作所、増島製作所、松下精工
○吹出口、吸込口	新晃工業、丸光産業、相模工業、不二工、協同工業
○ダンパー類	不二工、協同工業、両津工業
●ファンコイルユニット	新晃工業、暖冷工業、立石管工、ダイキン工業、前田鉄工所、松下空調工業、東芝電気、三洋電機、日立製作所、昭和鉄工、三菱電機、東洋キャリア
●コンベクター	新晃工業、暖冷工業、立石管工、前田鉄工、昭和鉄工、木村工機
●パネルヒーター類	ピーエス工業、森永エンジニアリング、川崎エンジニアリング、タクマ、古川電工
○ラジエター	JIS表示認可工場
○伸縮継手	日本ベロー工業、大和バルブ工業、ベン、本山製作所
●放熱器弁類	日本ベロー工業、ベン、本山製作所、ヤーウエイ
○計装機器	山武ハネウエル、鷺宮ジョンソン、東京計器、日本ダンフォス製造
●密閉膨脹タンク	フラムコ、ピーエス工業、日本アムトロール、森永エンジニアリング
○換気扇類	三菱電機、東芝電気、日立製作所、松下精工
○厨房器具	サンウェーブ工業、日本調理器、富士厨房、タカラスタンダード、ナスステンレス
○焼却炉	インシナー工業、矢崎総業、大東インシナレータ工業、ダストハイ、トシマ
○浄化槽（単独処理）	JIS表示認定品
●浄化槽（合併処理）	仙台霊場工業、西原ネオ工業、フジフリーン工業、藤吉工業、ベスト工業、日立化成、信濃工機、ユニチカ、ドリコ工業、誠和

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第24－10A－0895号 一級建築士（大臣）登録第207893号 小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名	旧田沢湖保健センター等解体工事
			縮尺 NON	図面名	解体（機械設備）仕様書
				図番	保M－01



配置図 1:300

凡例

記号	名称	配管材料	防食	保温
—·—	屋外給水管	塩化ビニール管(VP)		
—·—	屋内給水管	塩ビライニング鋼管(VB)	○	○
—0—	屋内汚水管	鋳鉄管(メカニカル型)	○	○
———	屋内排水管	亜鉛鍍鋼管	○	○
- - - - -	通気管	——s——	○	
———	雨水管	——s——	○	
———	屋外汚排水管	塩化ビニール管(VP)		
—G—	ガス管	亜鉛鍍鋼管	○	
—W—	温水往管	——s——		○
--WR--	温水返管	——s——		○
--E--	膨張管	——s——		○
—O—	油往管	黒鋼管	○	
--OR--	油返管	——s——	○	
- - - - -	通気管	——s——		
⊡	水栓類			
⊳⋈	弁,コック類			
⊛	ガスカラン			
▣	汚水桝	市販桝		
⊠	排水桝	——s——		

注) 防食工事はデンソーテープのうえに粘着テープ(0.2%)巻付の事。

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）配置図・凡例	図番 保Ｍ－02

以降配置図

既存給水管より分岐
(既存雨水管の枝より分岐)

駐車場

書庫

物置

ガス警報装置 (自動切替)
50kg×2本組 ガス-5k
圧力調整器 5m³/H
ガスメーター 8m³/H

既存集会詳細図参照

以降敷地へ接続

2直便所詳細図参照

機能訓練室

物置

診療室

男子便

玄関

身障者用トイレ及更衣室

円除室

自由勾配 ≒2

健康センター

汚水桝表

記号	寸法	GL-管底	蓋形状
A	450 × 450	300	MHB
B	〃	310	〃
C	〃	440	〃
D	600 × 600	750	〃
E	〃	800	〃

注) 市販桝としインバート加工の事。

雨水桝表

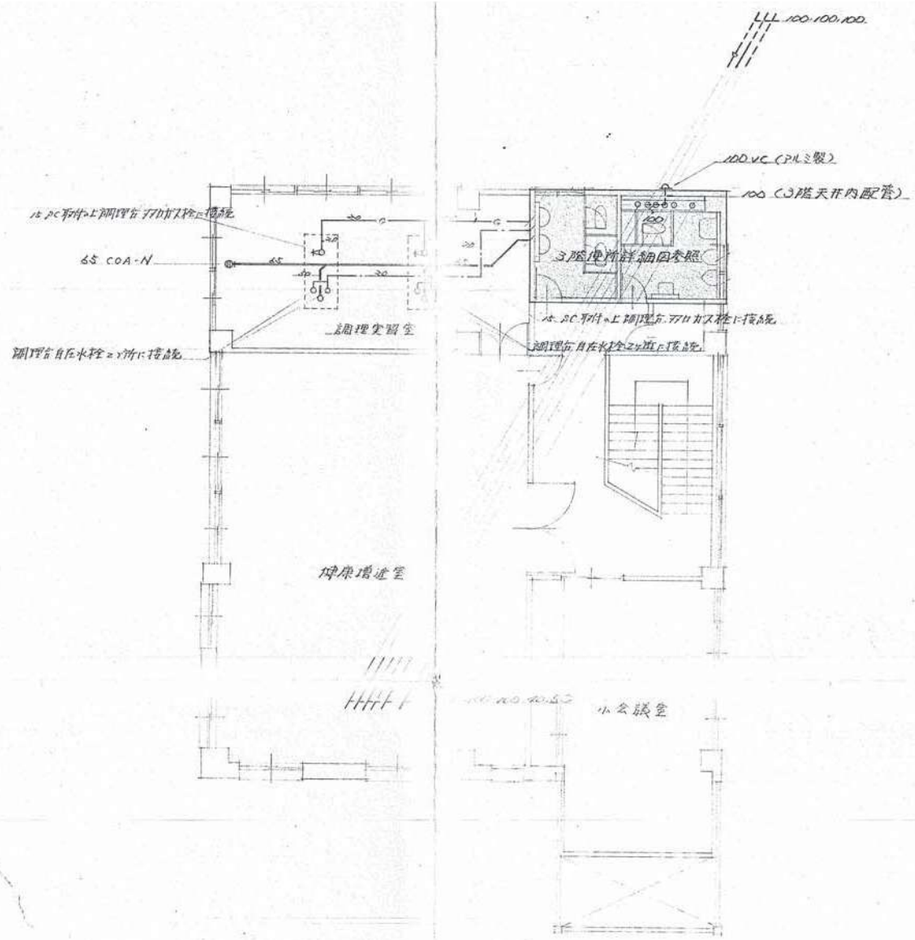
記号	寸法	GL-管底	蓋形状
1	〃 × 450	400	MHB
2	〃	300	〃
3	〃	330	〃
4	〃	380	〃
5	〃	440	〃
6	600 × 600	600	〃
7	〃	300	〃
8	〃	370	〃
9	〃	410	〃

注) 市販桝とする

1階平面図 1:100

2階平面図 1:100

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林 康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）1・2階平面図	図番 保Ｍ－03



注) 調理室器具(ガス)の配管接続は本工事とする。

3階 平面図 1:100

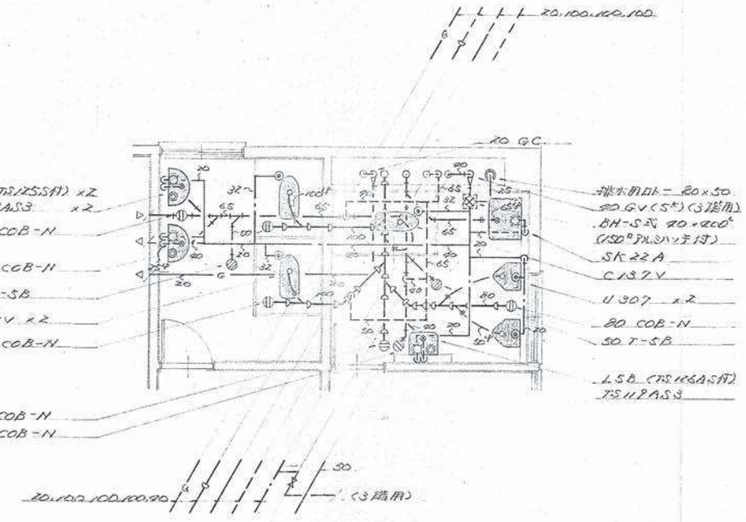
主要機器表

記号	名称	参考型番	仕様	電源	出力	数量	備考
FRW	受水槽	FRP製 保温型	公称寸法 1500×2000×1500, 有効容量 4.0㎥ 耐震強度 3.0G, 600ℓ/min, マンホール, ラッチ共 架台(L-125×65×6, L-65×65×6)共 コンクリート基礎 1,800×900×450H ×2本	—	—	1	
PU	自動給水装置	40 UDP F 51.5	DTタンク方式, 並列運転方式 40Φ×450ℓ/min×25.5m³/min, 起動圧力0.5kg/cm² 圧力タンク, フロースイッチ, 制御盤(特注2L型) フランジピーラー 40Φ(FH-40)×2組 コンクリート基礎 900×800×150H	3Φ×200V	3.0kW (1.5kW×2)	1	

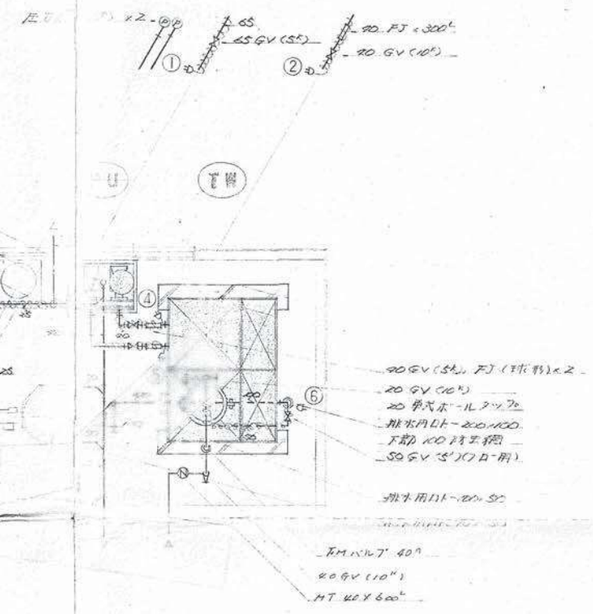
衛生器具表

和風大便器	C137V	TV150NCM, T82C32, TS116RAT	6	
身障者用便器	C98A	TEF31.5, TES1P, TS253AR, YC101(暖房便座) TS32QSAT TS3WQNTS, TS116RAT, T110SAV5, T110SCV1, T110SAV4 T110SAV2	1	
ストール小便器	U307	T60PF, T62-16, T62FWN	5	
身障者用先両器	L103D	T205Q, TL340C, TL103BG, TL220DAT, TS126AS	1	
手洗器	L58	T205, T9A, T22P, TS25AT, TS126AS	3	
〃	L39	T205, T9A, T22P, TS25AT, TS125S	8	
化粧鏡	TS119AS3		7	
〃	LM980		1	
標記板	A21		12	
掃除流し	SK22A	T23AE20, T37SN, TK32, T9RAT	2	
〃	SK7	T130AR13, TK18P, T8WF380, T9RAT	2	
汚物流し	SK33	S31, TK133AR13, T54SR, T51S, TK33WN100, TS31VSN, TS3DAT	1	
洗浄自弁水栓	T130AR13		2	
散水栓	T27-13	B-3付	2	
不能ボール水栓	T200ES-13		1	
洗濯パン	PW30-A		1	

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事		
				縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）3階平面図	図番 保Ｍ－04	



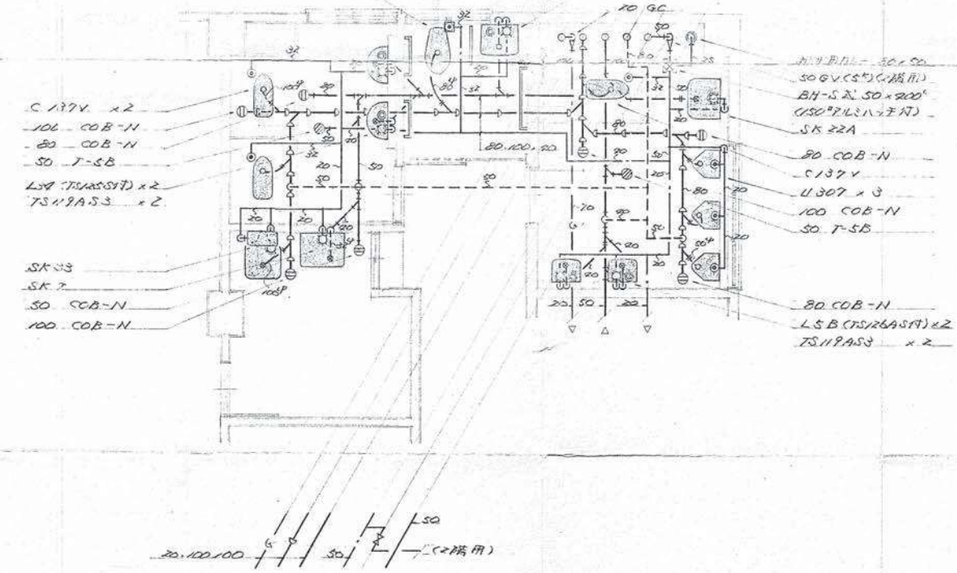
3 浦 庭 所 詳 細 図 1:50



ヒーター表

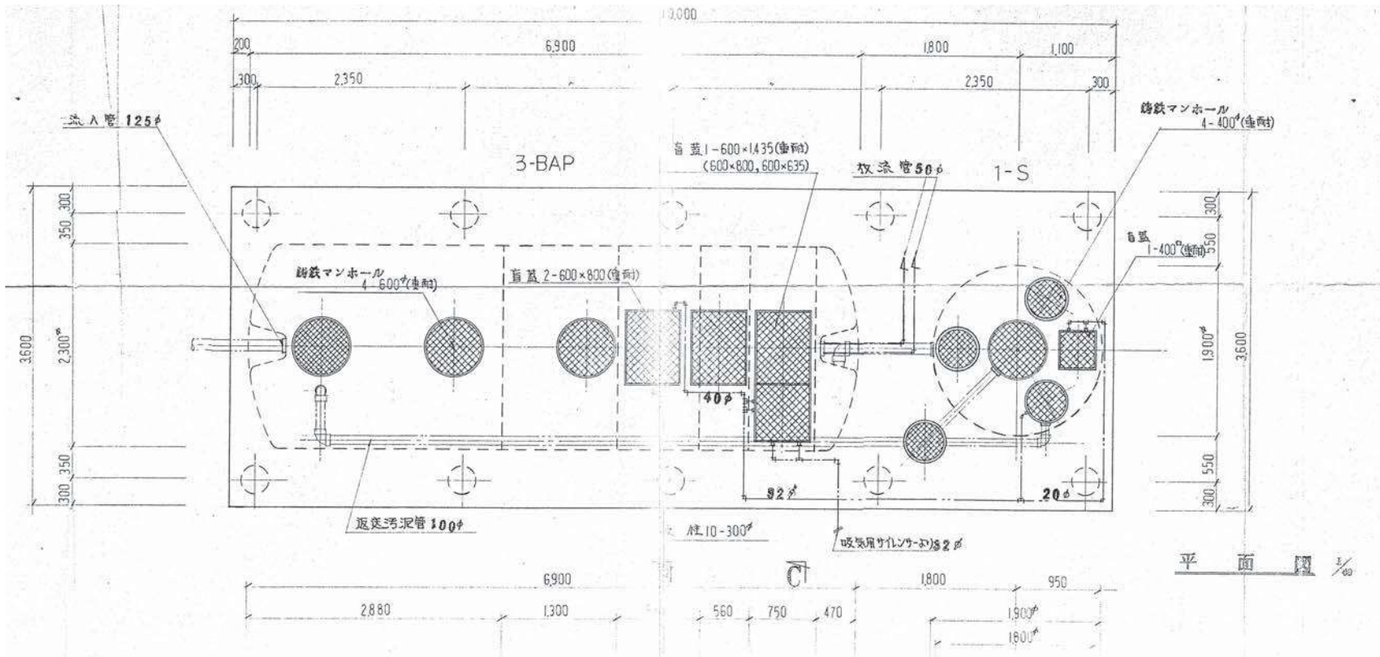
記号	長さ	電力	角度	備考
1	4m	1kW	90°	ヒーター取付部ロックナット付
2	4m	1kW	30°	〃
3	4m	1kW	60°	〃
4	2m	1kW	30°	〃
5	2m	1kW	120°	〃
6	4m	1kW	90°	〃

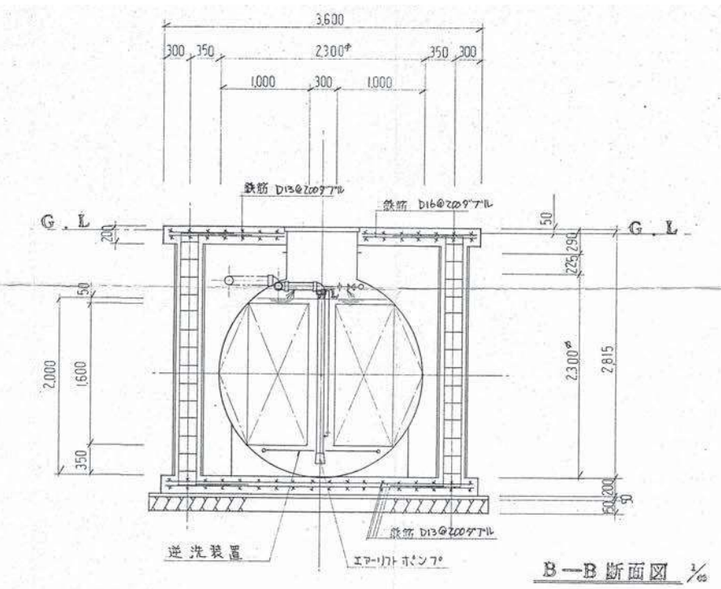
機 械 室 詳 図 1:50

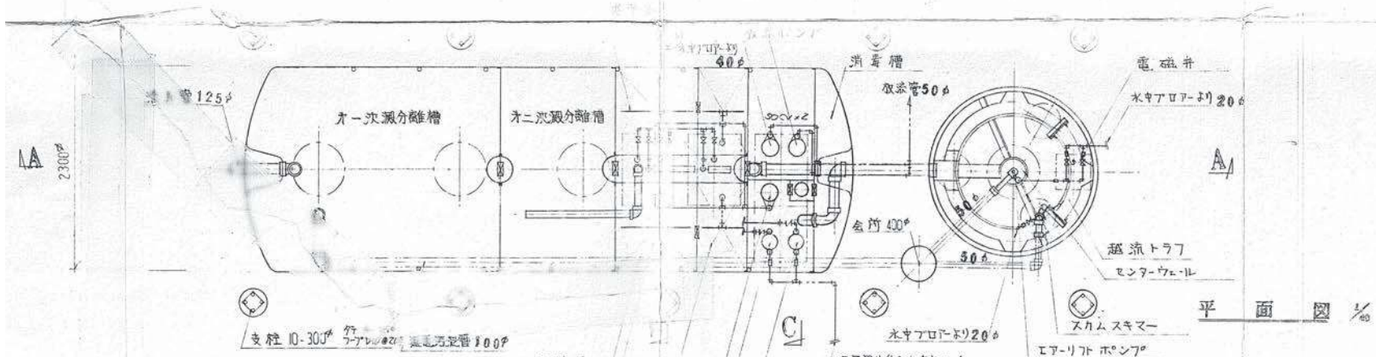


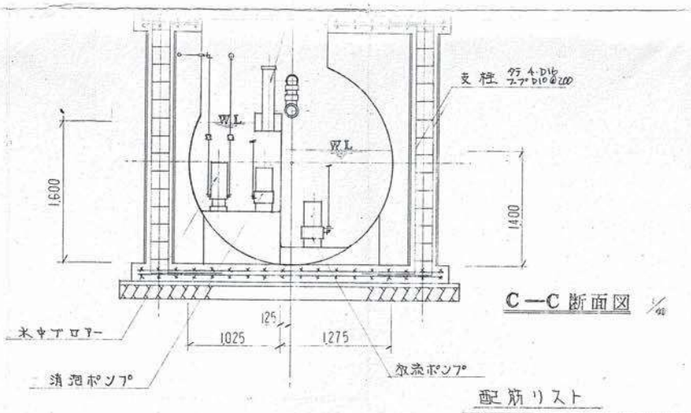
2 浴 解 所 詳 細 図 1:50

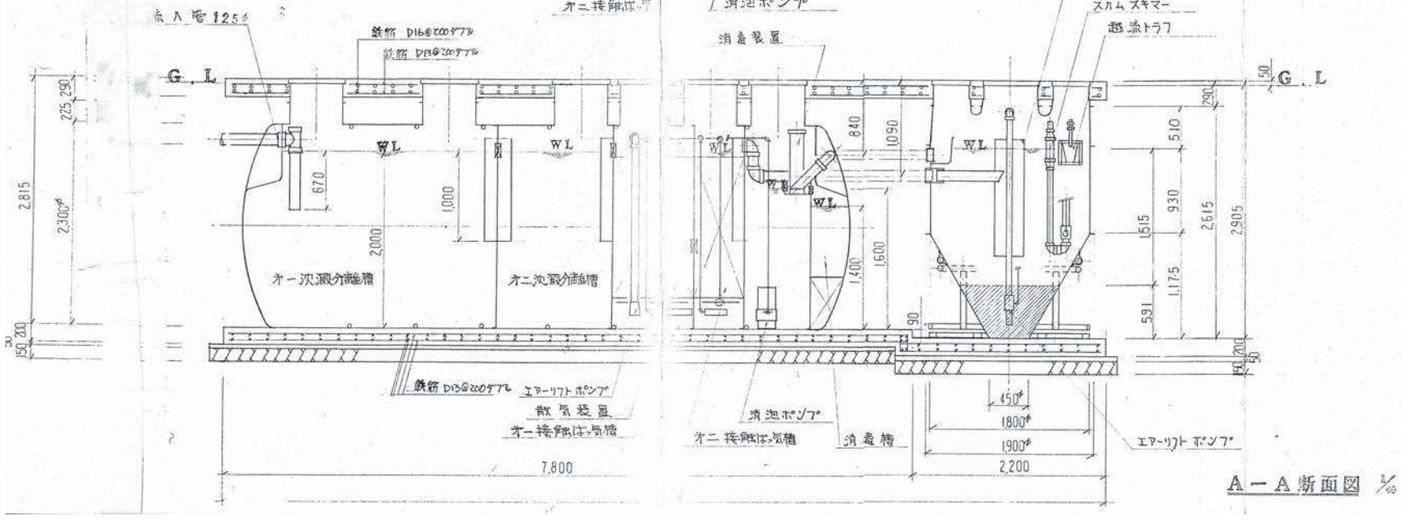
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名	旧田沢湖保健センター等解体工事
			縮尺 NON	図面名	解体（機械設備）詳細図
				図番	保Ｍ－05











容量表

接触ばっ気方式 10%-60ppm

名称		容量
沈澱分離槽	第一	10.466㎥
	第二	4.986㎥
	合計	15.452㎥
接触ばっ気槽	第一	3.605㎥
	第二	2.148㎥
	合計	5.753㎥
放流ポンプ槽	——	1.029㎥
消泡ポンプ槽	——	1.012㎥
消毒槽	——	0.795㎥
沈澱槽	——	3.366㎥

配筋リスト

規格	SD-30
底盤	厚200 D-13@200ダブル
スラブ	厚200 D-16@200ダブル, D-13@200ダブル
支柱	至300 4-D-16, D-10@200
開口部補強	2-D-13
継手・定着	ℓ=35D以上

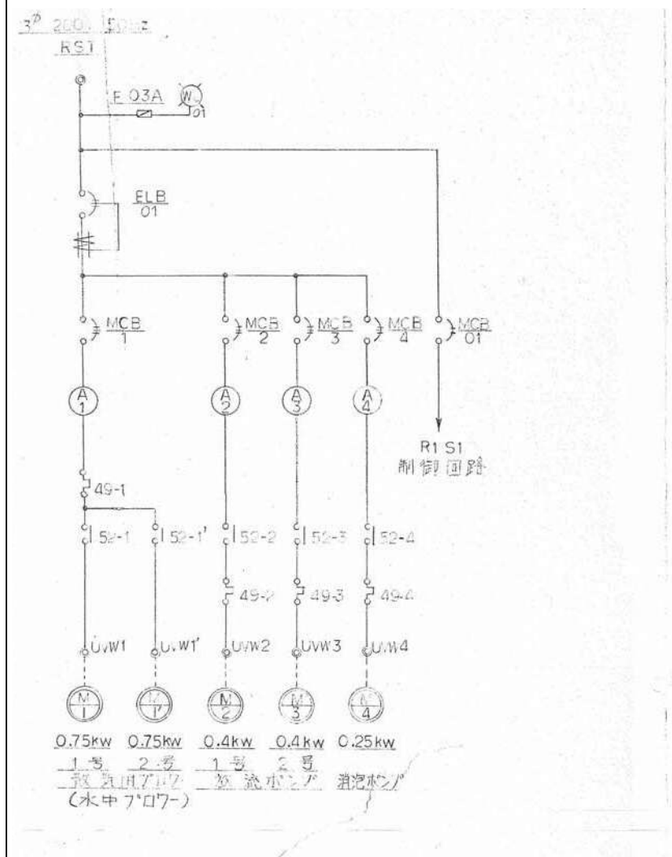
スラブ荷重　重耐
地耐力　6t/㎡以上
コンクリート　Fc=180kg/㎠以上

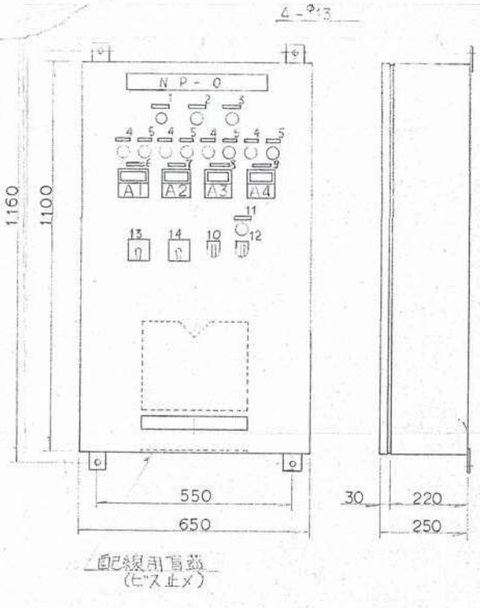
設備動力

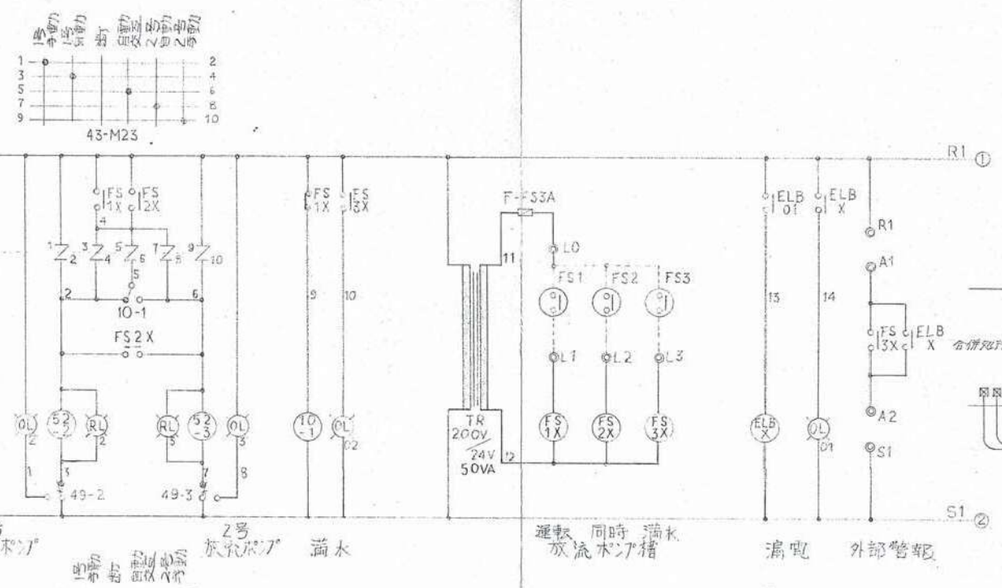
名称	定格仕様	台数
水中ブロアー	RB-32, 0.75kw, 0.2kg/cm², 0.55㎥/min, 32m	2
消泡ポンプ	WH-250, 0.25kw, 0.04㎥/min, 10m, 25%	1
放流ポンプ	A50T, 0.4kw, 0.22㎥/min, 3.8m, 50%	2

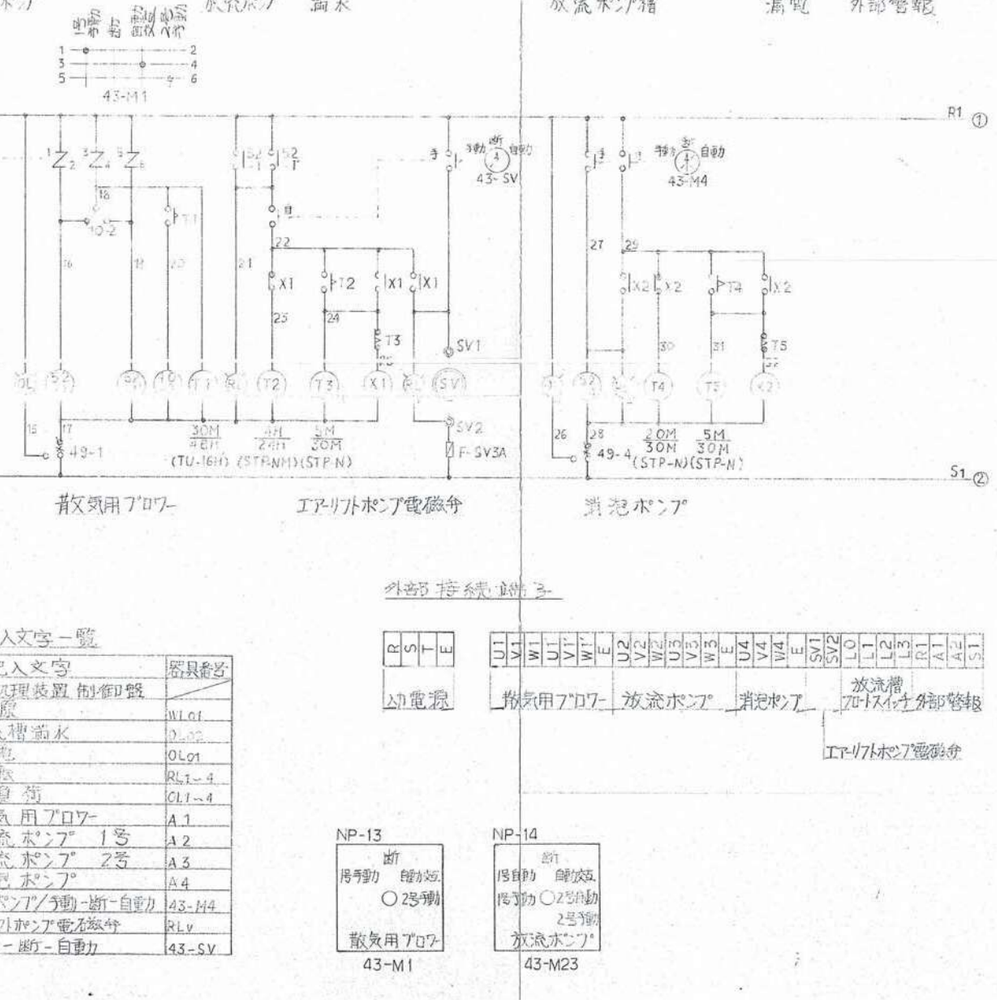
MCA 株式会社 エムシーエー建築設計
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

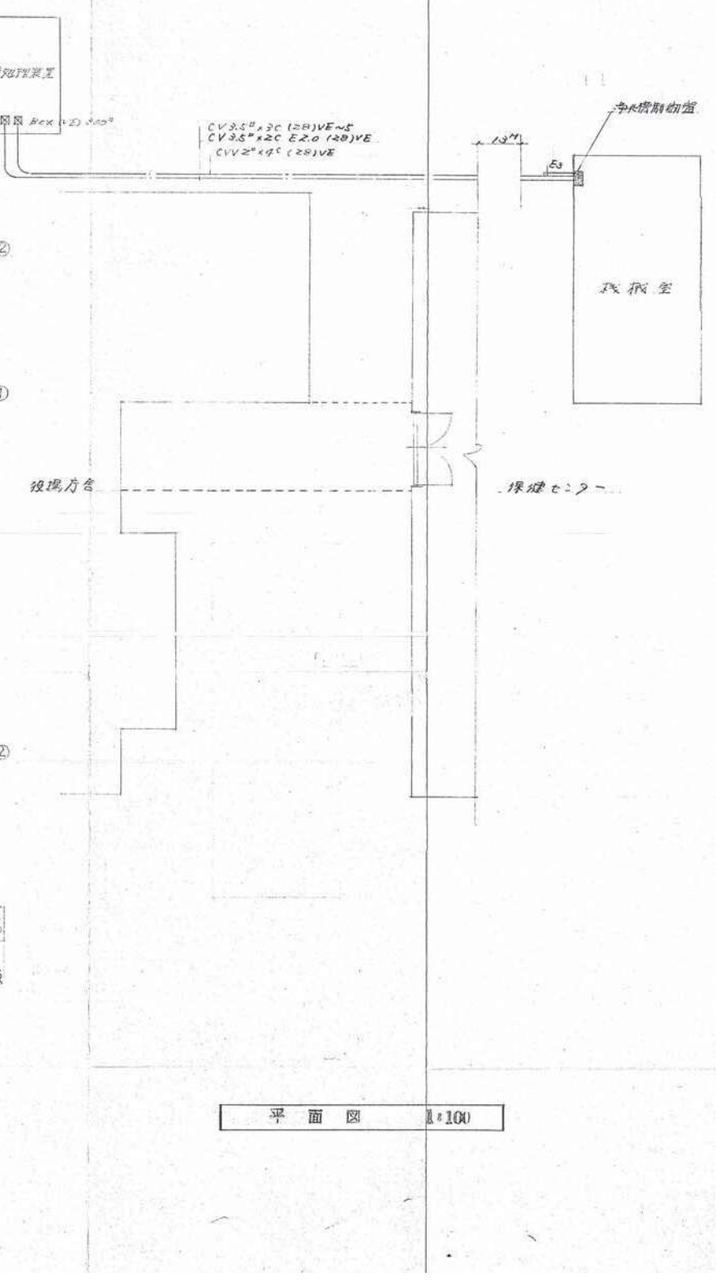
検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	旧田沢湖保健センター等解体工事
		縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）浄化槽設備図
			図番 保Ｍ－06











記入文字一覧

記入文字	器具番号
汚水処理装置制御盤	
電源	WL01
放流槽満水	D-02
漏電	OL01
電動	RL1~4
負荷	OL1~4
散気用ブロワー	A1
放流ポンプ 1号	A2
放流ポンプ 2号	A3
消泡ポンプ	A4
消泡ポンプ/手動-断-自動力	43-M4
エアーリフトポンプ電磁弁	RLv
手動-断-自動力	43-SV

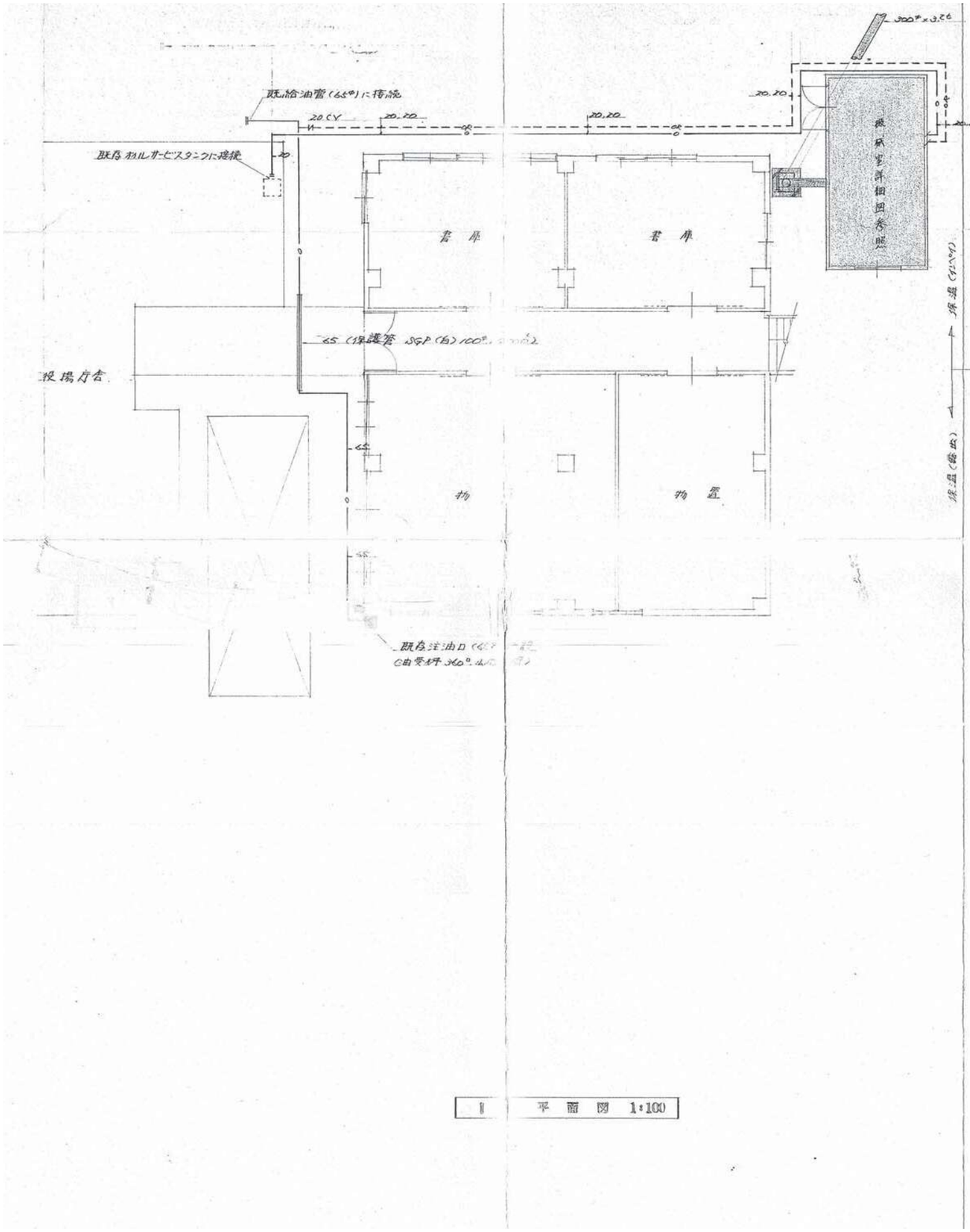
外部接続端子

R	S	T	E	U1	V1	W1	U1'	V1'	W1'	E	U2	V2	W2	U3	V3	W3	E	U4	V4	W4	E	SV1	SV2	L0	L1	L2	L3	R1	A1	A2	S1
3φ電源				散気用ブロワー							放流ポンプ							消泡ポンプ				エアーリフトポンプ電磁弁		放流槽 フロートスイッチ				外部警報			

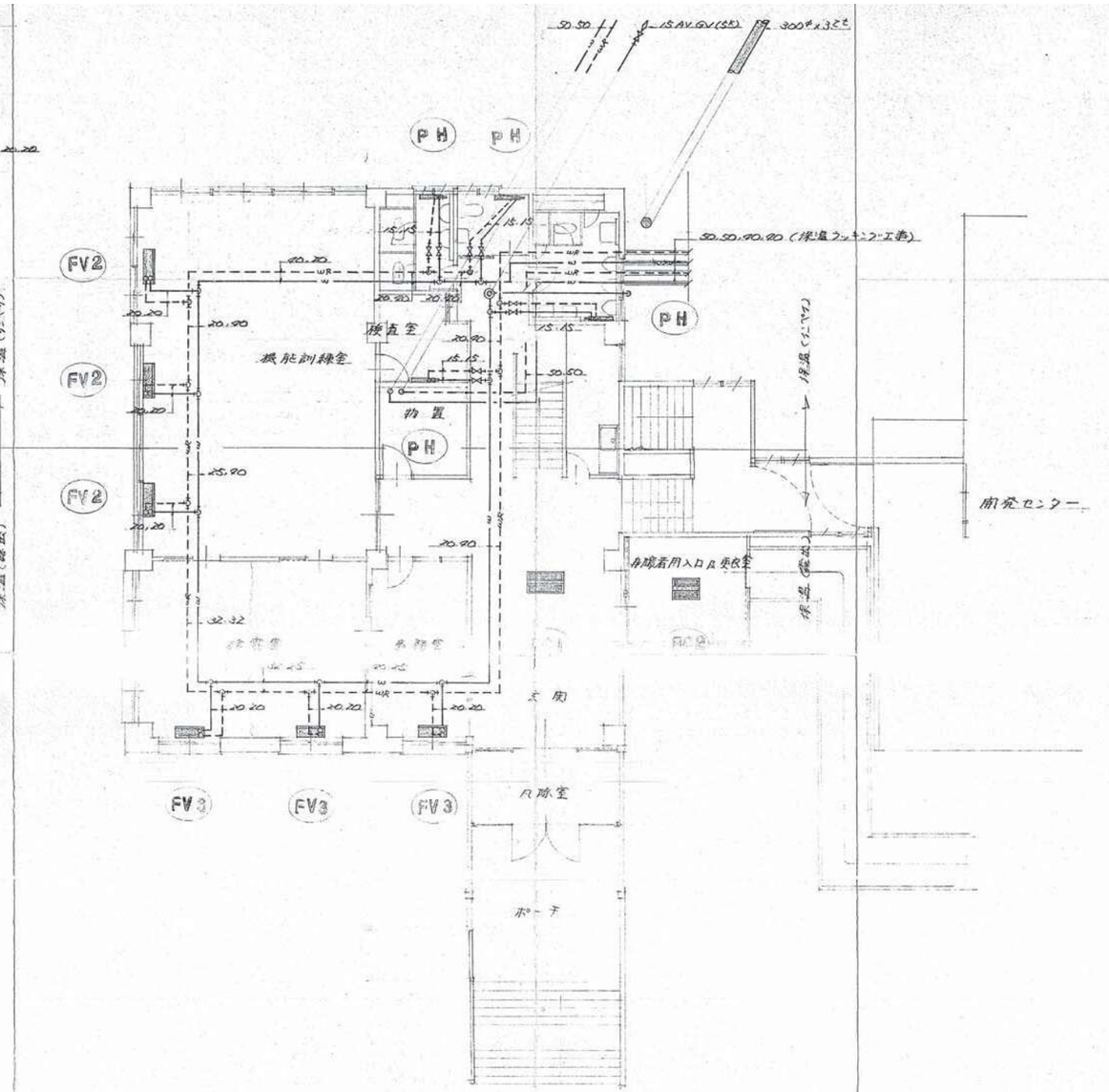
NP-13
断
手動 自動
○2号動
散気用ブロワ
43-M1

NP-14
断
手動 自動
手動 ○2号自動
2号運転
放流ポンプ
43-M23

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）浄化槽設備図	図番 保Ｍ－07



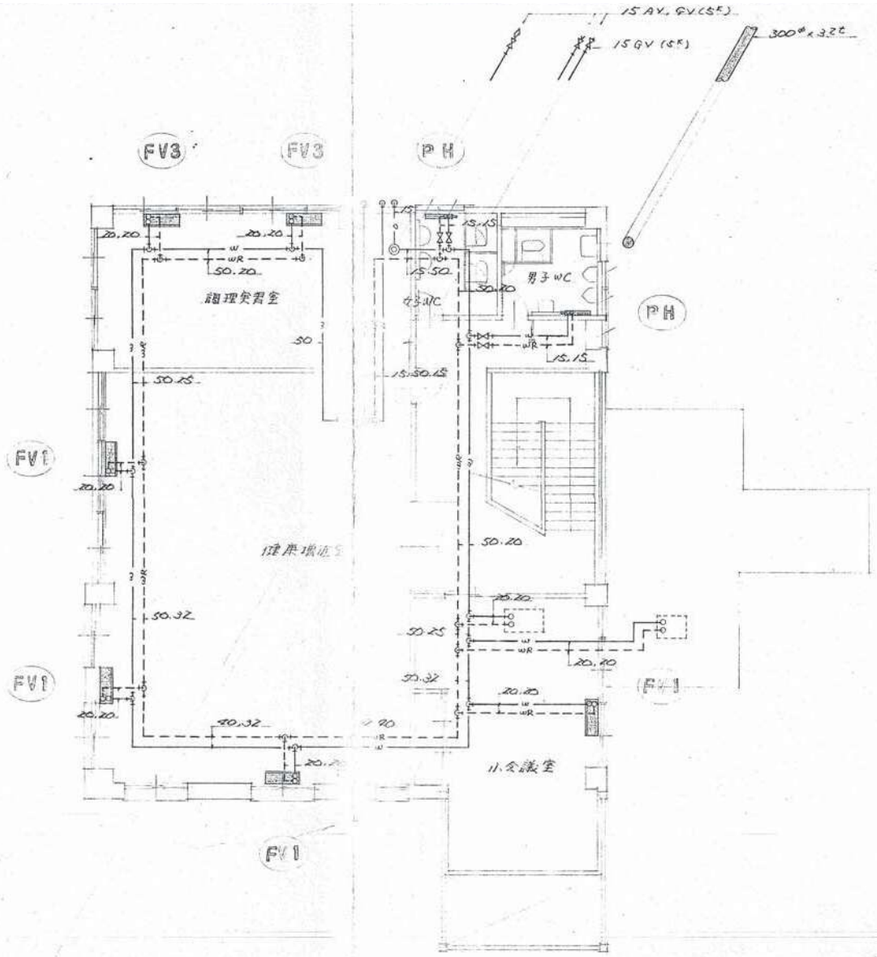
1 平面図 1:100



※1) パネルヒーターへの配管は屋水主管分岐後
ASGV(15A)×8個取付し、ソフトスチール管で配管。

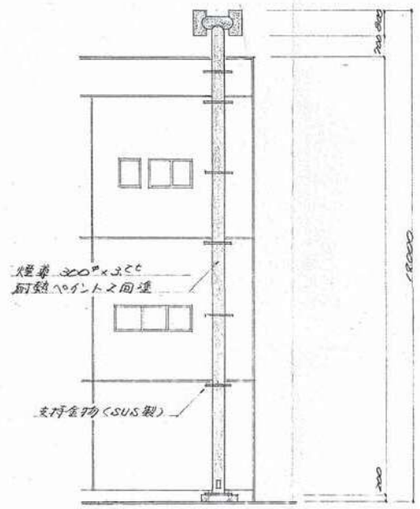
2 階平面図 1:100

	MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事	
				縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）1・2階平面図	図番 保Ｍ－08

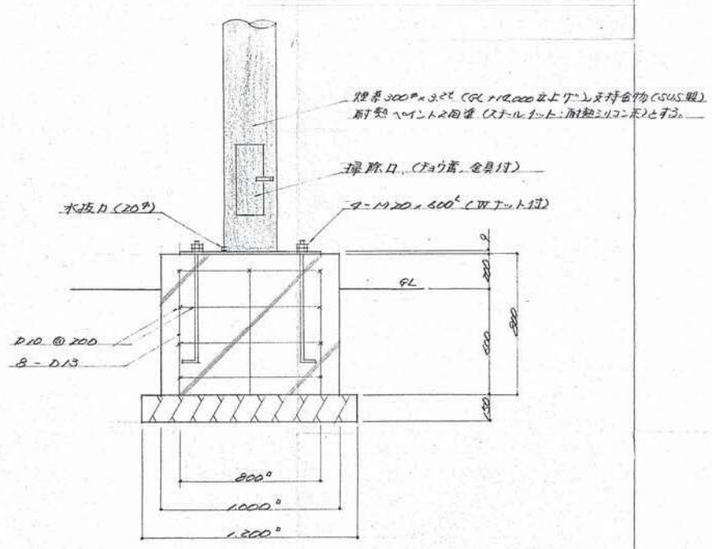


主パネルヒーターへの配管は…各引抜度、15GV(SE)
…メタ面取付し、ソフト…管による配管。

3階平面図 1:100



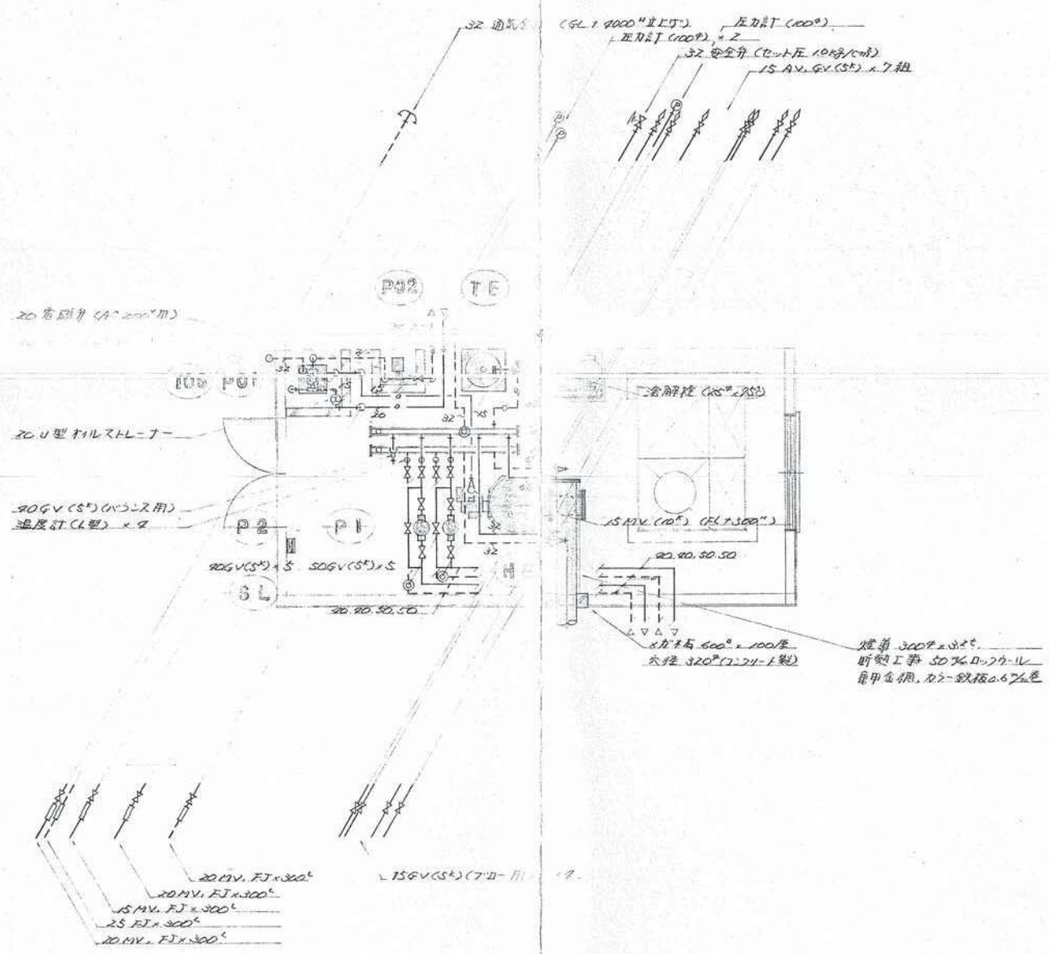
煙突取付立面図 1:100



煙突基礎詳細図 1:20

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計
一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号
一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦

検印	担当印	日付	件名
		2026.8月	
		縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）3階平面図
			図番 保Ｍ－09



機械室 詳細図 1:50

仕　生　器　具　表

記号	名称	参考型式	仕様	電源	出力	数量	備考
HE	温水発生器	KSA-130	真空式鋼板製Ⅱ型温水発生器, 定格出力130000 kcal/h, 2回路式 (給湯用給も暖房に使用). 伝熱面積 46 m², 熱交換器材質 (リン脱酸銅管) 燃料：A重油, 燃料消費量 13.8 ℓ/h, オイルヒーター付. バーナーモーター (0.2kW), オイルヒーター (0.25kW) 制御回路 (200VA), ON.OFF制御方式. 口径：65A, 32A, 外径寸法 1320×837×1760" 重量 600kg, 缶体水量 120 ℓ, 感電器共 コンクリート基礎 800×800×150"	3φ200	0.88kW	1	
P1	温水循環ポンプ	40LPDS-8	40φ×100ℓ/min×10.5m, ライン型, 圧力計付	3φ200	0.4kW	1	3階系統用
TE	膨張タンク	SX-60V	密閉式ダイヤフラム型, タンク容量 120 ℓ, 許容有効容量 74 ℓ, 横置用, 接続径 25φ×25ℓ コンクリート基礎 500×500×150"	—	—	1	
P01	オイルポンプ(給油用)	15 GPAM	15φ×11 ℓ/min×2kg/cm², モーター直結型, モーター(安全増防爆型),	3φ200	0.2kW	1	
P02	オイルポンプ(返油用)	15 GPAM	15φ×11 ℓ/min×2kg/cm², モーター直結型 モーター(安全増防爆型), 防油堤 500×500×300"	3φ200	0.2kW	1	
TOS	オイルサービスタンク	鋼板製	400×400×600", 容量 100ℓ, 油面計付 架台にモーター取付ベース付の事, 板厚 3.2t 底面堤 (内寸法) 800×800×300",	—	—	1	
SL	油量警報装置	ISL-41	警報制御盤 2回路付, (上上, 下, FF用) ポンプ制御 (運転, 停止)	3φ200	—	1	
							2階系統用

注) 温水配管 (システム容量 580 ℓ) 内には防錆不凍液 (ウエストンコクラに 20% 添加) 150 ℓ を入れる事。

放　熱　器　表

記号	名称	参考型番	暖房能力 kcal/h	流量 ℓ/h	タピア	外形寸法	電源	出力	数量	備考
FC1	カセット型ファンコイル	DCR-80CEV	2,580	520	20×20	1160×600×535"	1φ100	56W	1	温水用
FC2	〃	DCR-90CEV	3600	580	20×20	1460×600×535"	〃	37	1	〃
FV1	床置型ファンベクター	DFV-80SF	6.850	720	15×15	1,200×230×635"	〃	55	9	〃
FV2	〃	DFV-60SF	5000	720	15×15	1,000×230×635"	〃	37	3	〃
FV3	〃	DFV-50SF	4,150	600	15×15	900×230×635"	〃	36	5	〃
PH	パネルヒーター	TP3-607	1065	71	15×15	700×100×600"	—	—	5	〃
	〃	TP3-609	770	41	15×15	900×100×600"	—	—	1	〃

注) カセット型ファンコイルの能力は, 温水温度 (70℃), 入口空気温度 (20℃) の場合である。配管接続にはステンレスフレキ式配管セットを使用する事。速度調節式速度調節器付。

注) 床置型ファンベクターの能力は, 温水温度 (70℃), 入口空気温度 (20℃) の場合である。配管接続にはステンレスフレキ式配管セットを使用する事。

注) パネルヒーターの能力はパネル平均温度 (72.5～62.5℃), 室温 (20℃) の場合である。又, サーモスタットバルブ, レギュレーティングバルブを2個1台取付の事。又パネルヒーターの塗装はステールイット (耐熱シリコン系) 塗装仕上とする。

MCA 株式会社 エムシーエー建築設計 一級建築士事務所（秋田県知事）登録第２４－１０Ａ－０８９５号 一級建築士（大臣）登録第２０７８９３号　小林康彦	検印	担当印	日付 2026.8月	件名 旧田沢湖保健センター等解体工事			
			縮尺 NON	図面名 解体（機械設備）詳細図・機器表		図番 保Ｍ－10	